

フレックスハウス 共通仕様書

注) 特記なき場合は本仕様書に基づくこと。
なお、疑義ある場合は協議の上決定変更する。

1 使用材料

膜材 (外膜) ウルトラマックス タイプ C (W) 材料認定番号: MMEM-9035 (材料)
(色: 未定) 防火認定番号: UW-9018

鋼材 STK400, STKR400, SS400
KMAG-H400-K (認定番号: MSLT-0536)
溶接 特記なき場合は隅肉溶接とする
普通ボルト 中ボルト (材料区分: 鋼/強度区分4.8T) 1種N, Uナット、2W
/ ユニクロめっき品
高力ボルト F8T/溶融亜鉛めっき品 ※大臣認定品とする
アンカー 主架構材用アンカーボルト SS400
間柱材用アンカーボルト SS400
スソ止め部 オールプラグ (SPS-6×35S) その他 同等品
コンクリート FC-18N/mm² (4週強度)
鉄筋 SD295

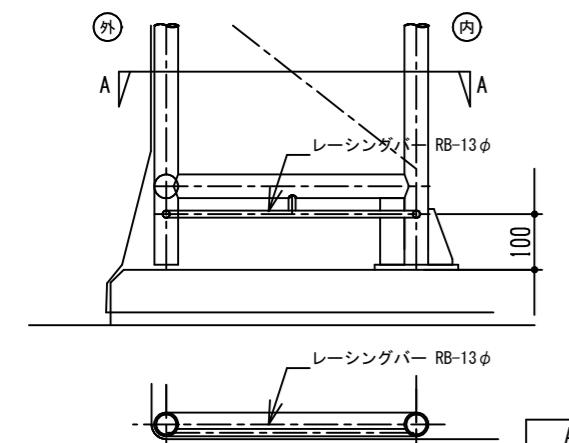
2 塗装

素地調整 振発油ぶき (シンナー脱脂) 後、からぶき
下塗 変性アルキド樹脂下塗り塗料 目標塗膜厚 30μ
上塗 アクリル変性アルキド樹脂塗料 目標塗膜厚 20μ
塗装色 日本塗料工業会 2015年度 H15-20B (太陽ブラウン)
めっき仕上 L-45×45×3 高耐食性溶融めっき品

3 ベースプレート

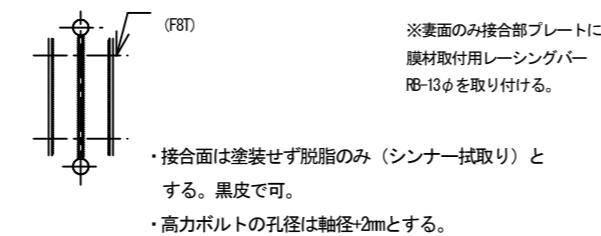


4 妻面膜材用引込みレーシングパイプ



5 高力ボルト接合部

高力ボルト/溶融亜鉛めっき品



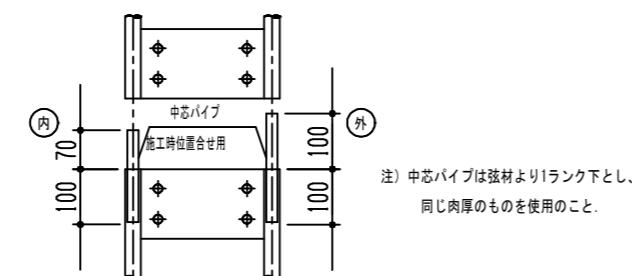
※妻面のみ接合部プレートに
膜材取付用レーシングバー
RB-13φを取り付ける。

- 接合面は塗装せず脱脂のみ (シンナー拭取り) とする。黒皮で可。
- 高力ボルトの孔径は軸径+2mmとする。

6 梁間、梁柱間ジョイント部 (全て共通)

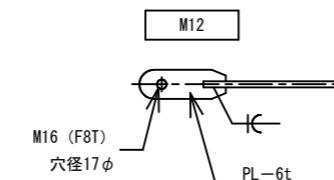
・片側に中芯パイプを取り付ける。

梁柱間ジョイント部は柱側に取り付けること。



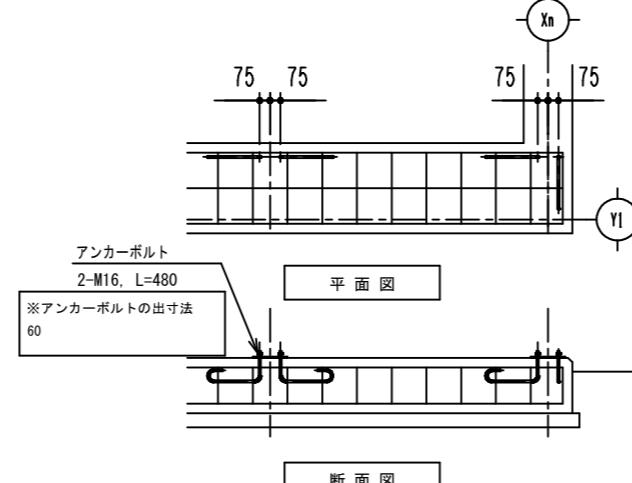
注) 中芯パイプは弦材より1ランク下とし、
同じ肉厚のものを使用のこと。

7 ブレース



※JIS-A-5540 規格品とする

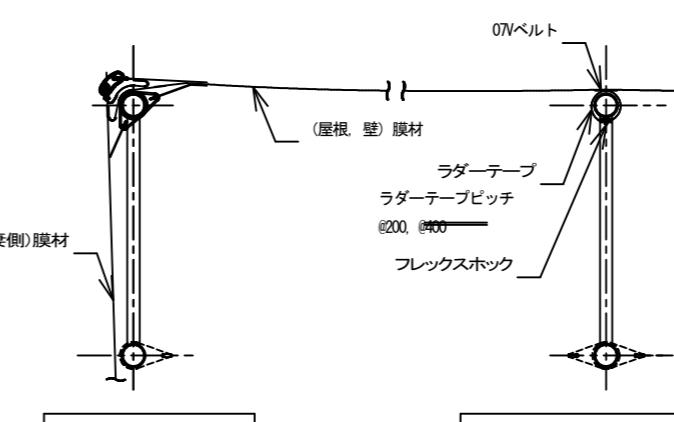
8 主架構材アンカーボルト納まり



※アンカーボルトは支給しますが
アンカーセットは基礎工事業者様でお願いします

9 膜材仕様について

※特記事項がある場合は、それに従う。



(屋根、壁) 膜材

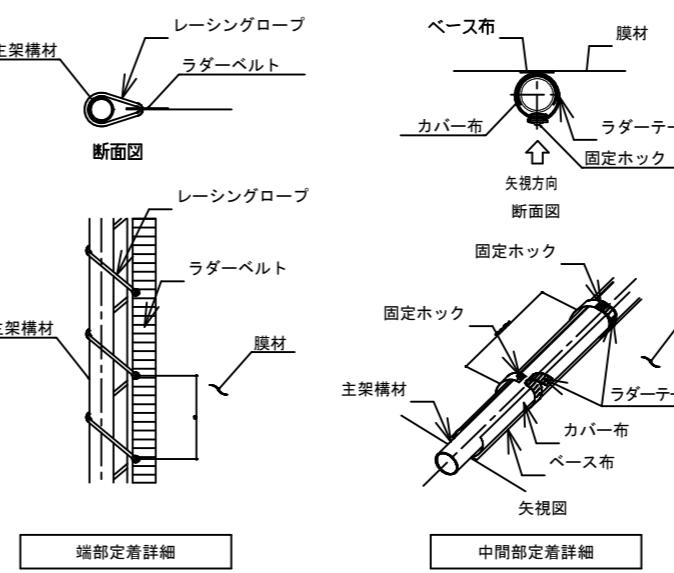
ラダーテープ
ラダーテーピッチ
@200. @400
フレックスホック

妻面 詳細図

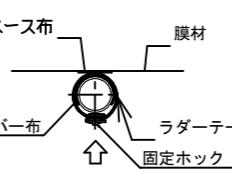
(屋根面、壁面) 詳細図

※膜材料の接合は 20-40 mm巾熱風溶着とする。

※外観でキズ、はがれ、ズレ、ひび割れ、しわのないこと。



断面図



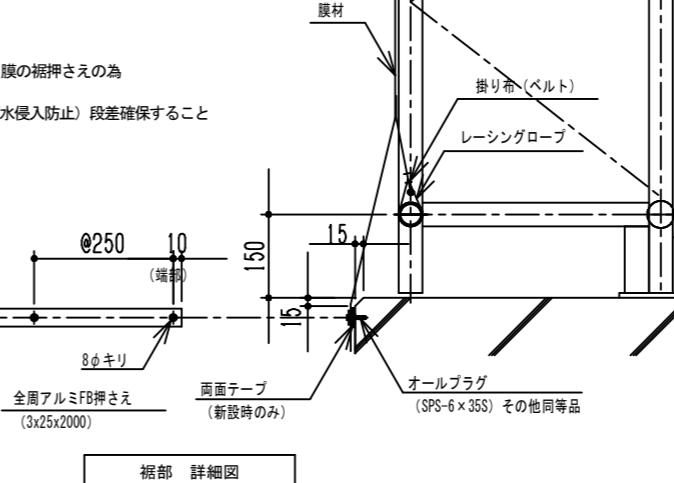
膜材

カバー布

ラダーテープ

固定ホック

矢視図

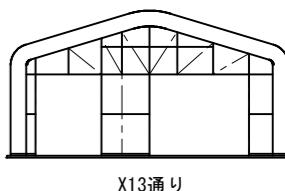


注) 膜の据押さえの為

(雨水侵入防止) 段差確保すること

10 妻面レーシング位置 (— 部)

WS-K-20

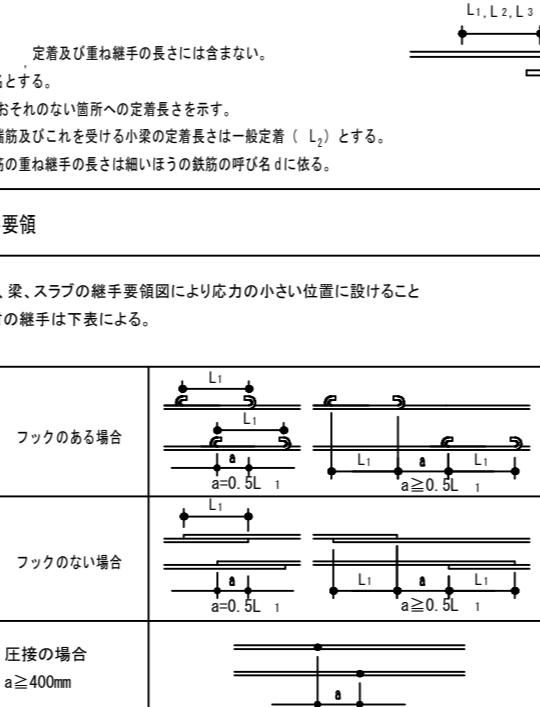
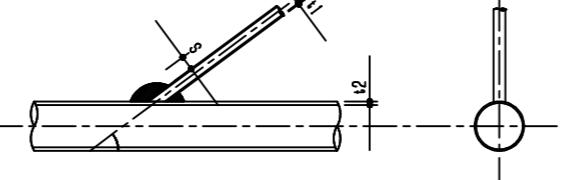


・本詳細図に示されない部分は従来のFIX標準製作図等に準ずる。

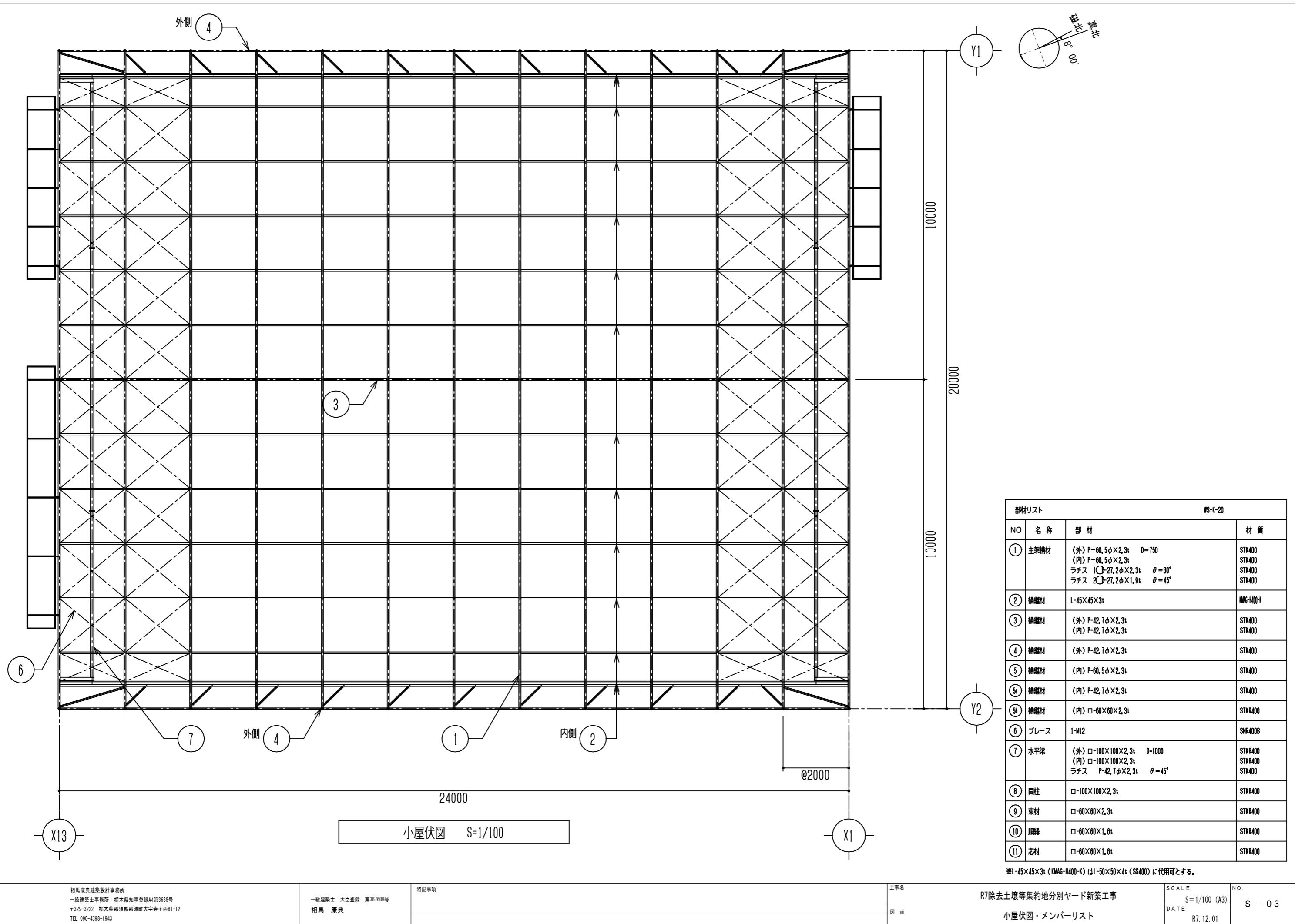
フレックスハウス 共通仕様書 (RC造, S造)

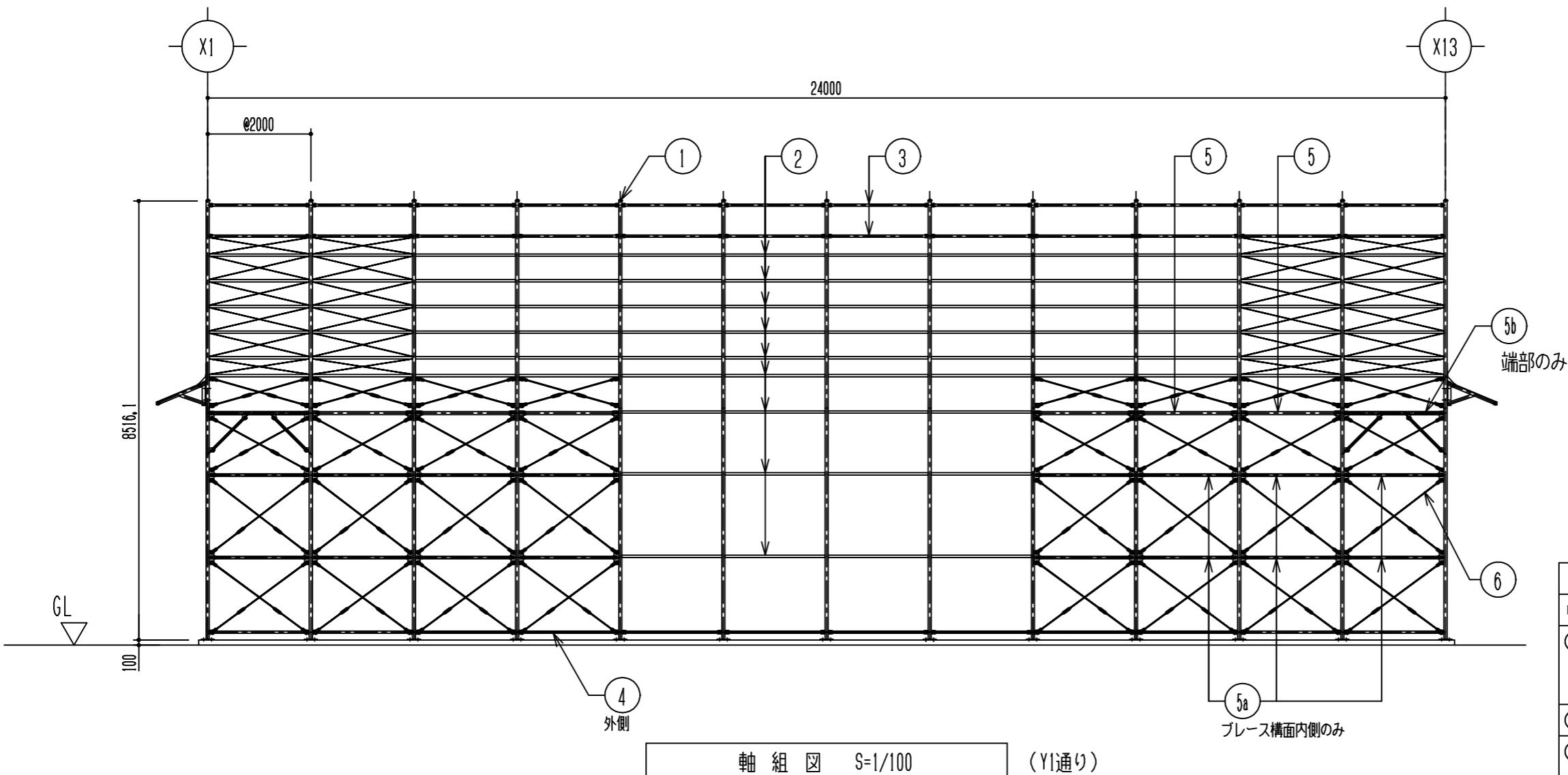
注) 特記なき場合は本仕様書に基づくこと。
なお、疑義ある場合は協議の上決定変更する。

2017年 10月 4日 改訂

コンクリート工事仕様		鉄筋の定着				鉄骨工事																																				
1. 一般事項	種類 普通コンクリート (レディーミキストコンクリート: JIS A 5308) 設計基準強度 18N/mm ² 耐久設計基準強度 短期 品質基準強度 18N/mm ² 粗骨材 砕石 細骨材 砂	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">鉄筋の種類</th> <th rowspan="2">コンクリート設計基準強度 (N/mm²)</th> <th rowspan="2">重ね継手の長さ (L₁)</th> <th colspan="3">定着の長さ</th> </tr> <tr> <th>一般 (L₂)</th> <th colspan="2">下端筋 (L₃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">SD295 (JIS G 3112)</td> <td>18</td> <td>45d または 35d フックつき</td> <td>40d または 30d フックつき</td> <td>小 梁</td> <td>床スラブ 屋根スラブ</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>40d または 35d フックつき</td> <td>35d または 25d フックつき</td> <td>25d または 15d フックつき</td> <td>10d かつ 150mm以上</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>30d フックつき</td> <td>25d フックつき</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>35d または 25d フックつき</td> <td>30d または 20d フックつき</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30 以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				鉄筋の種類	コンクリート設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手の長さ (L ₁)	定着の長さ			一般 (L ₂)	下端筋 (L ₃)		SD295 (JIS G 3112)	18	45d または 35d フックつき	40d または 30d フックつき	小 梁	床スラブ 屋根スラブ	21	40d または 35d フックつき	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 150mm以上	24	30d フックつき	25d フックつき			27	35d または 25d フックつき	30d または 20d フックつき			30 以上					1. 使用材料	
鉄筋の種類	コンクリート設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手の長さ (L ₁)	定着の長さ																																							
			一般 (L ₂)	下端筋 (L ₃)																																						
SD295 (JIS G 3112)	18	45d または 35d フックつき	40d または 30d フックつき	小 梁	床スラブ 屋根スラブ																																					
	21	40d または 35d フックつき	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 150mm以上																																					
	24	30d フックつき	25d フックつき																																							
	27	35d または 25d フックつき	30d または 20d フックつき																																							
30 以上																																										
2. 試験	試験の回数は、各層またはコンクリート量約150m ³ 毎に1回とする。 試験体の回数は1回につき3個とする。 1週、4週強度試験を行う。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼材</th> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>使用場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼管</td> <td>STK400</td> <td>架構全般</td> <td>JIS G 3444</td> <td></td> </tr> <tr> <td>角形鋼管</td> <td>STKR400</td> <td>間柱・脇縁・束材</td> <td>JIS G 3466</td> <td></td> </tr> <tr> <td>形鋼・鋼板</td> <td>SS400</td> <td>縫材</td> <td>JIS G 3101</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレース</td> <td>SNR400B</td> <td>プレース</td> <td>JIS A 5540</td> <td></td> </tr> <tr> <td>形鋼 (L-45×45×3)</td> <td>KMAG-H400-K</td> <td>横縫材</td> <td>認定番号MSTL-0536</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		鋼材	種別	材質	使用場所	備考	鋼管	STK400	架構全般	JIS G 3444		角形鋼管	STKR400	間柱・脇縁・束材	JIS G 3466		形鋼・鋼板	SS400	縫材	JIS G 3101		プレース	SNR400B	プレース	JIS A 5540		形鋼 (L-45×45×3)	KMAG-H400-K	横縫材	認定番号MSTL-0536						
鋼材	種別	材質	使用場所	備考																																						
鋼管	STK400	架構全般	JIS G 3444																																							
角形鋼管	STKR400	間柱・脇縁・束材	JIS G 3466																																							
形鋼・鋼板	SS400	縫材	JIS G 3101																																							
プレース	SNR400B	プレース	JIS A 5540																																							
形鋼 (L-45×45×3)	KMAG-H400-K	横縫材	認定番号MSTL-0536																																							
3. 土間コンクリート	設計基準強度18N/mm ²					高力ボルト																																				
4. 塩分対策	必要					<table border="1"> <thead> <tr> <th>高力ボルト</th> <th>ボルトの材質</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>F8T</td> <td>M16</td> <td>大臣認定品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	高力ボルト	ボルトの材質	呼び径	備考	●	F8T	M16	大臣認定品																												
高力ボルト	ボルトの材質	呼び径	備考																																							
●	F8T	M16	大臣認定品																																							
5. 温度補正	必要					アンカーボルト・中ボルト																																				
6. 型枠	存置期間建設省告示第110号による。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>アンカーボルト</th> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>アンカーボルト</td> <td>SS400</td> <td>M16</td> <td>JIS G 3101</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アンカーボルト	種別	材質	呼び径	備考	●	アンカーボルト	SS400	M16	JIS G 3101																										
アンカーボルト	種別	材質	呼び径	備考																																						
●	アンカーボルト	SS400	M16	JIS G 3101																																						
7. 材料及び調合の条件	コンクリートの耐久性を確保するための材料及び調合の条件は、次による。					鉄骨の溶接要領																																				
(1) 単位水量の最大値は、185kg/m ³ とする。 (2) 単位セメント量の最小値は、270kg/m ³ とする。 (3) 水セメント比最大値は、普通ポルトランドセメント及び混合セメントのA種の場合は65%とし、高炉セメントB種の場合は60%とする。 (4) AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤を用いるコンクリートの所要空気量の目標値は、4.5%とする。 (5) コンクリートに含まれる塩化物質は、塩化物イオン (Cl ⁻) 量で0.30kg/m ³ 以下とする。 (6) コンクリートは、アルカリ骨材反応を生じるおそれのないものとする。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>t</th> <th>1.6</th> <th>1.9</th> <th>2.3</th> <th>2.8</th> <th>3.2</th> <th>4.5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		t	1.6	1.9	2.3	2.8	3.2	4.5	S	2	3	3	4	4.5	6																						
t	1.6	1.9	2.3	2.8	3.2	4.5																																				
S	2	3	3	4	4.5	6																																				
8. 混和材料	(a) 混和材の使用量 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の使用量は、所定のスランプ及び空気量が得られるように定める。 (b) 普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートで、圧送が困難な場合には、フライアッシュⅠ種又はⅡ種を混合することができる。ただし、この場合は、単位セメント量を減じる。 (c) 普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートで、水セメント比の制限等により、強度上必要なセメント量を超えてセメントを使用する場合は、その超えた部分を、セメント全量の10%の範囲で、フライアッシュⅡ種に置き換えることができる。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>t</th> <th>6</th> <th>9</th> <th>12</th> <th>16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		t	6	9	12	16	S	6	7	9	12																									
t	6	9	12	16																																						
S	6	7	9	12																																						
9. 養生	【養生温度】 (a) 寒冷期においては、コンクリートを冷気から保護し、打込み後は5日間以上は、コンクリート温度を2°C以上に保つ。 (b) コンクリート打込み後、初期冷害を受けるおそれのある場合は、初期養生を行う。(公共建築工事標準仕様書に従う) (c) コンクリート打込み後、セメントの水和熱により部材断面の中心部温度が外気温より25°C以上高くなるおそれがある場合は、急激に冷却しないよう保温等の養生を行う。					1) 鋼管溶接 鋼管(角鋼)と鋼管の基準溶接サイズ(溶接方法=手溶接、炭酸ガス半自動溶接)																																				
【表面の乾燥防止】	打込み後のコンクリートは、普通ポルトランドセメントで5日間以上、散水その他の方法で保湿に保つ。																																									
【振動及び外力からの保護】	硬化初期のコンクリートが、有害な振動や外力による悪影響を受けないようにする。					2) プレート部隅肉溶接 脚長 (S) 0 ≤ S' - S ≤ 3 S = 設計サイズ S' = 実際サイズ 余盛 (0.1S+1) 以下																																				
10. 試験方法	試験項目 試験方法 スランプ JIS A 1101 (コンクリートのスランプ試験方法) 空気量 JIS A 1128 (フレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験方法-空気室圧力方法) 塩化物量 (財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた塩化物量測定器により、試験値は同一試料における3回の測定の平均値とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準かぶり厚さ</th> <th>最小かぶり厚さ</th> </tr> <tr> <th colspan="2">コンクリートの種類</th> </tr> <tr> <th>構造部分の種別</th> <th>普通コンクリート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土に接しない部分</td> <td>床スラブ、屋根スラブ、耐力壁以外の壁</td> <td>屋外 仕上げあり 20 屋外 仕上げなし 30</td> </tr> <tr> <td>柱</td> <td>屋内 仕上げあり 30 屋内 仕上げなし 30</td> </tr> <tr> <td>梁</td> <td>屋外 仕上げあり 30 屋外 仕上げなし 40</td> </tr> <tr> <td>擁</td> <td>壁 40</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">土に接する部分</td> <td>柱・はり・床スラブ・耐力壁</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>基礎・擁壁</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td colspan="2">煙突など高熱を受ける部分</td><td>60</td> </tr> </tbody> </table>				基準かぶり厚さ	最小かぶり厚さ	コンクリートの種類		構造部分の種別	普通コンクリート	土に接しない部分	床スラブ、屋根スラブ、耐力壁以外の壁	屋外 仕上げあり 20 屋外 仕上げなし 30	柱	屋内 仕上げあり 30 屋内 仕上げなし 30	梁	屋外 仕上げあり 30 屋外 仕上げなし 40	擁	壁 40	土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	40	基礎・擁壁	60	煙突など高熱を受ける部分		60	<p>● かぶり厚さの最小値は公共建築協会「公共建築工事標準仕様書」による。</p>													
基準かぶり厚さ	最小かぶり厚さ																																									
コンクリートの種類																																										
構造部分の種別	普通コンクリート																																									
土に接しない部分	床スラブ、屋根スラブ、耐力壁以外の壁	屋外 仕上げあり 20 屋外 仕上げなし 30																																								
	柱	屋内 仕上げあり 30 屋内 仕上げなし 30																																								
	梁	屋外 仕上げあり 30 屋外 仕上げなし 40																																								
	擁	壁 40																																								
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	40																																								
	基礎・擁壁	60																																								
煙突など高熱を受ける部分		60																																								
<p>※その他はJASS5(2009)の規定に従う</p>																																										

相馬康典建築設計事務所 一級建築士事務所 桜木町知事登録A/第3638号 〒329-3222 桜木町須町大字寺丙81-12 TEL 090-4398-1943	特記事項 相馬 康典	工事名 R7除去土壤等集約地分別ヤード新築工事 図面 RC造、S造標準図	SCALE S=NS (A3) DATE R7.12.01	NO. S-02
--	---------------	---	--	-------------

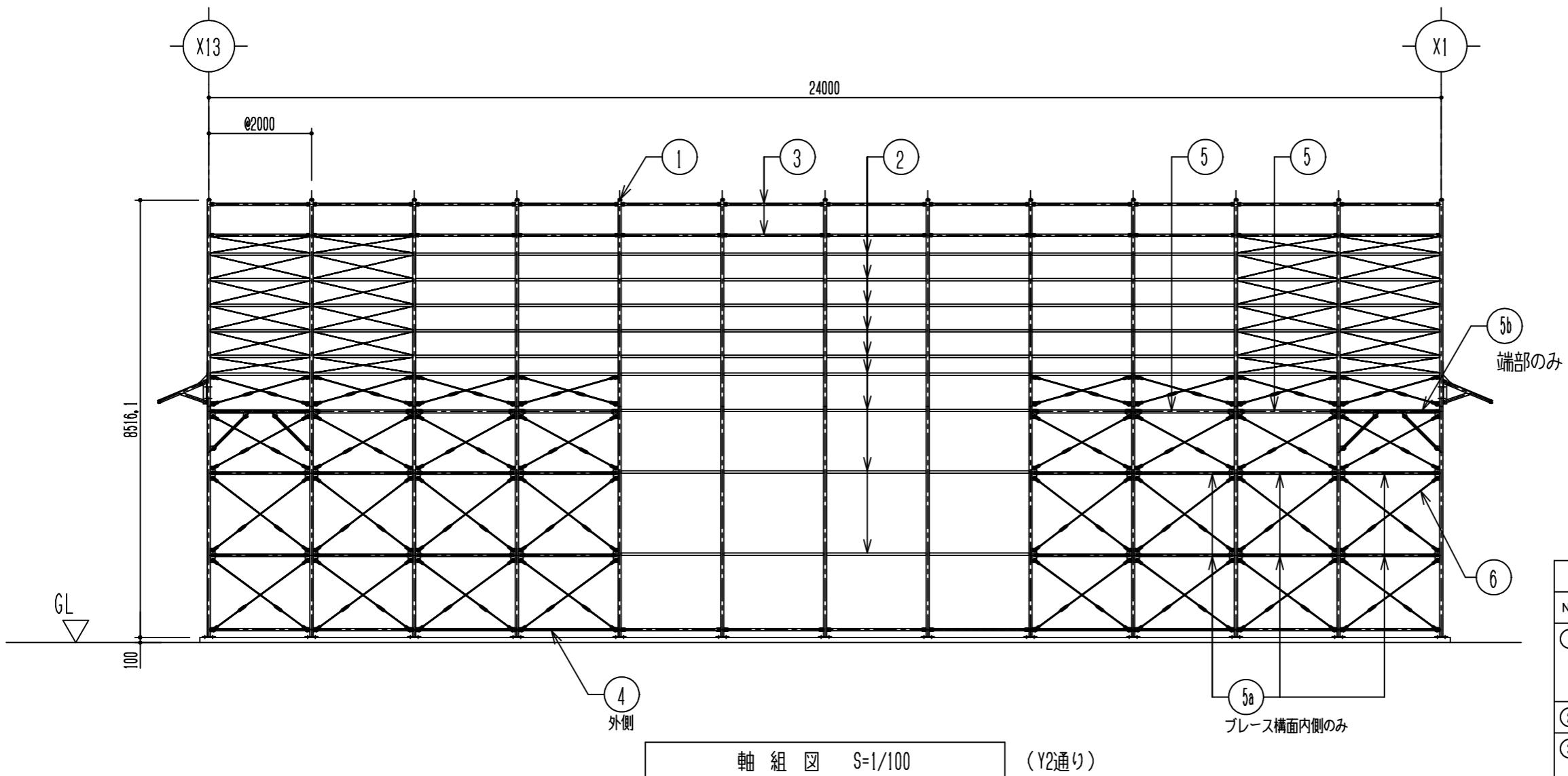




部材リスト WS-K-20			
NO	名 称	部 材	材 質
①	主架構材	(外) P-60,5φX2,3t D=750 (内) P-60,5φX2,3t ラチス 1C-27,2φX2,3t θ=30° ラチス 2C-27,2φX1,9t θ=45°	STK400 STK400 STK400 STK400
②	横継材	L-45X45X3t	KMG-H400-K
③	横継材	(外) P-42,7φX2,3t (内) P-42,7φX2,3t	STK400 STK400
④	横継材	(外) P-42,7φX2,3t	STK400
⑤	横継材	(内) P-60,5φX2,3t	STK400
⑤a	横継材	(内) P-42,7φX2,3t	STK400
⑤b	横継材	(内) P-60X60X2,3t	STKR400
⑥	プレース	I-W12	SNR400B
⑦	水平梁	(外) P-100X100X2,3t D=1000 (内) P-100X100X2,3t ラチス P-42,7φX2,3t θ=45°	STKR400 STKR400 STK400
⑧	間柱	P-100X100X2,3t	STKR400
⑨	束材	P-60X60X2,3t	STKR400
⑩	脚継	P-60X60X1,6t	STKR400
⑪	芯材	P-60X60X1,6t	STKR400

*L-45X45X3t (KMG-H400-K) はL-50X50X4t (SS400) に代用可とする。

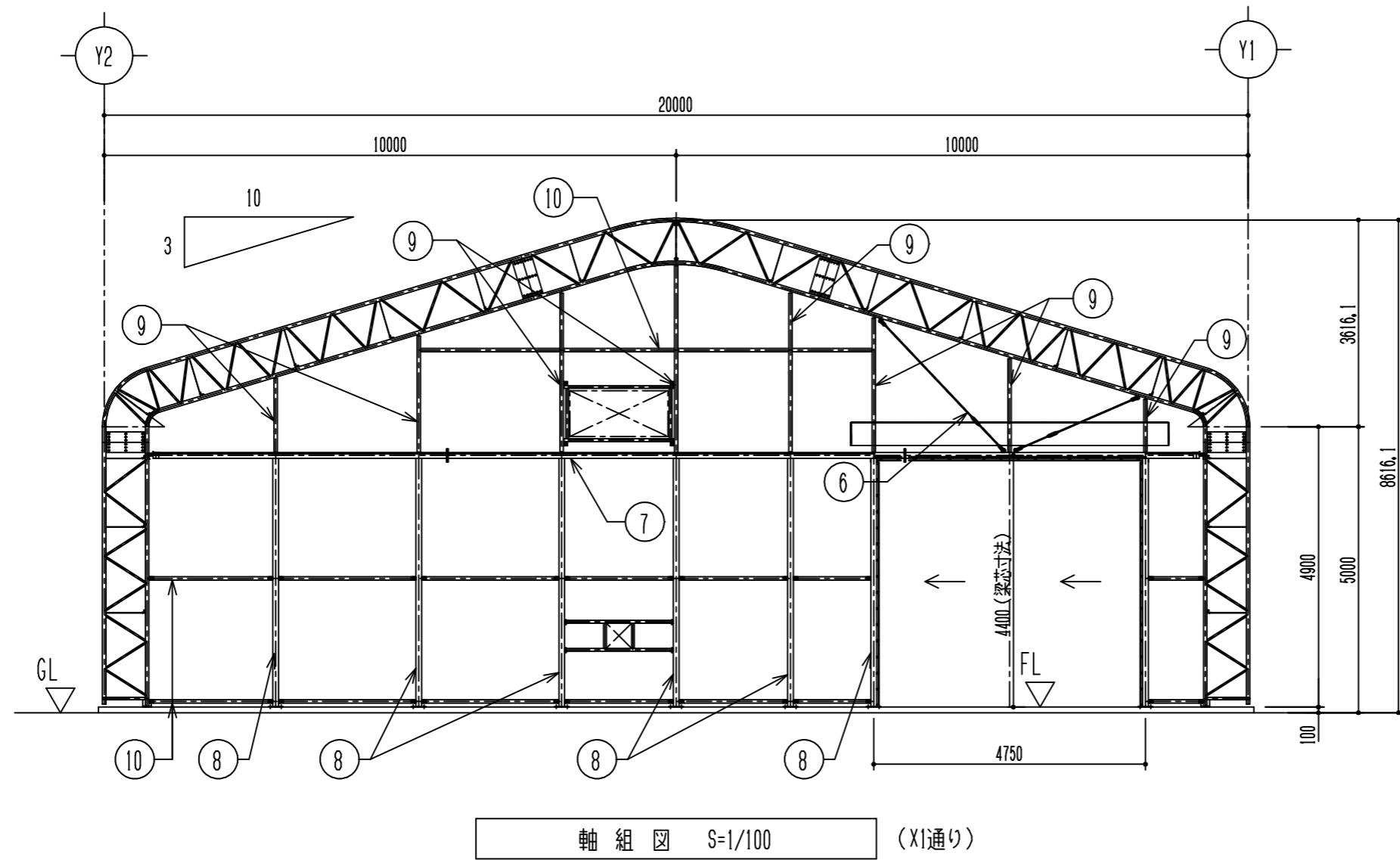
相馬康典建築設計事務所 一級建築士事務所 桜木県知事登録A/第3638号 〒329-3222 桜木県須須郡須須町大字寺子丙81-12 TEL 090-4398-1943	特記事項 一級建築士 大臣登録 第367608号 相馬 康典	工事名 R7除去土壤等集約地分別ヤード新築工事	SCALE S=1/100 (A3)	NO. S - 04
		図面 軸組図・メンバーリスト 1	DATE R7. 12. 01	



部材リスト			WS-K-20
NO	名 称	部 材	材 質
(1)	主架構材	(外) P-60, 5φ×2, 3t D=750 (内) P-60, 5φ×2, 3t ラチス 1O-27.2φ×2, 3t θ=30° ラチス 2O-27.2φ×1, 9t θ=45°	STK400 STK400 STK400 STK400
(2)	横縫材	L-45×45×3t	INAK-400-K
(3)	横縫材	(外) P-42, 7φ×2, 3t (内) P-42, 7φ×2, 3t	STK400 STK400
(4)	横縫材	(外) P-42, 7φ×2, 3t	STK400
(5)	横縫材	(内) P-60, 5φ×2, 3t	STK400
(6)	横縫材	(内) P-42, 7φ×2, 3t	STK400
(5b)	横縫材	(内) □-60×60×2, 3t	STKR400
(6)	プレース	I-M12	SNR400B
(7)	水平梁	(外) □-100×100×2, 3t D=1000 (内) □-100×100×2, 3t ラチス P-42, 7φ×2, 3t θ=45°	STKR400 STKR400 STK400
(8)	同柱	□-100×100×2, 3t	STKR400
(9)	束材	□-60×60×2, 3t	STKR400
(10)	脇材	□-60×60×1, 6t	STKR400
(11)	芯材	□-60×60×1, 6t	STKR400

※L-45×45×3t (KMAG-H400-K) はL-50×50×4t (SS400) に代用可とする。

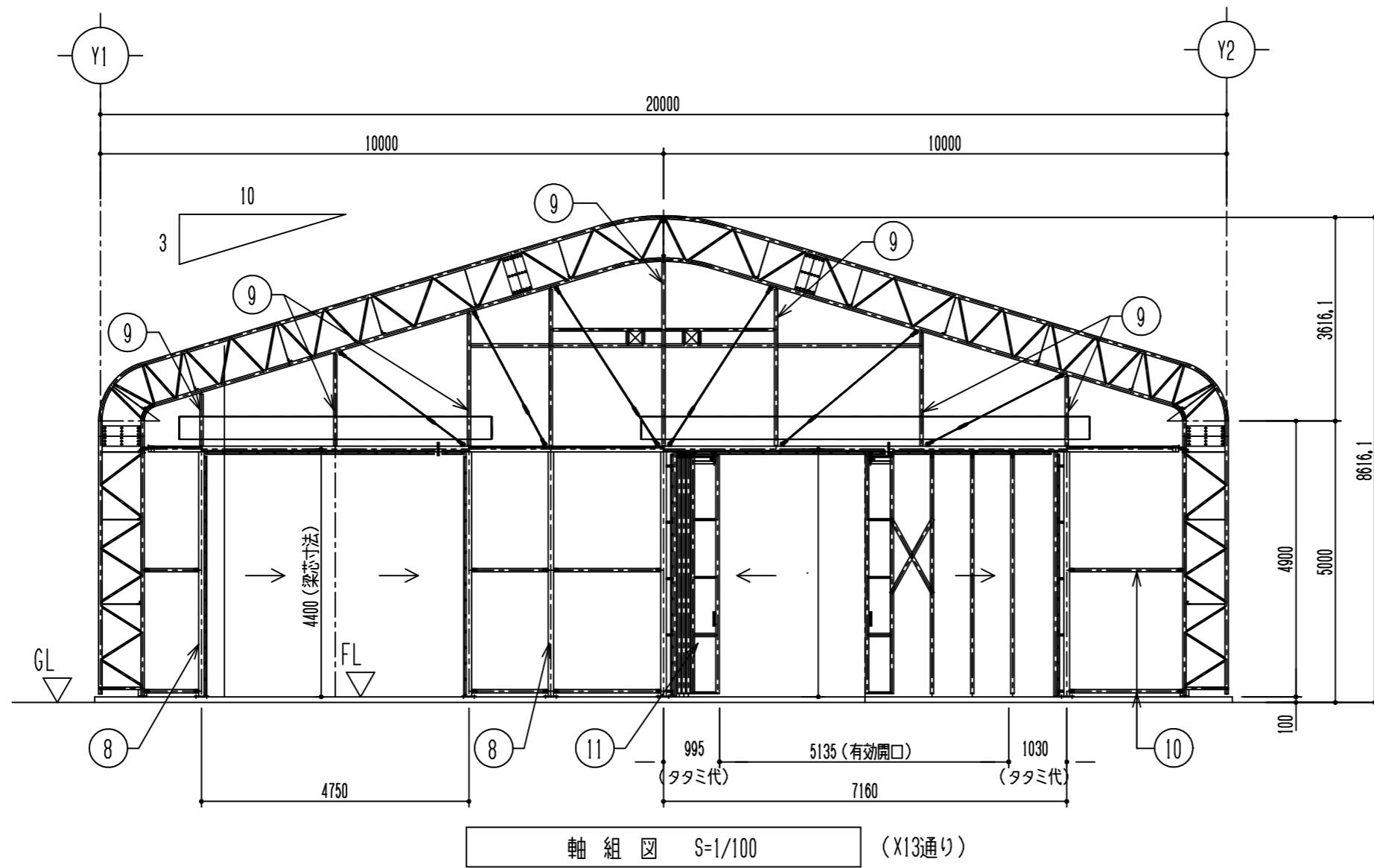
相馬康典建築設計事務所 一級建築士事務所 柏木県知事登録A第3638号 〒329-3222 柏木県那須郡那須町大字寺子丙81-12 TEL 090-4398-1943		特記事項 一級建築士 大臣登録 第367608号 相馬 康典	工事名 R7除去土壤等集約地分別ヤード新築工事	SCALE S=1/100 (A3)	NO. S - 05
			図面 軸組図・メンバーリスト 2	DATE R7.12.01	



部材リスト WS-K-20			
NO	名 称	部 材	材 質
①	主架構材	(外) P-60, 5φX2, 3t D=750 (内) P-60, 5φX2, 3t ラチス 1C-27, 2φX2, 3t θ=30° ラチス 2C-27, 2φX1, 9t θ=45°	STK400 STK400 STK400 STK400
②	横継材	L-45X45X3t	KMG-H400-K
③	横継材	(外) P-42, 7φX2, 3t (内) P-42, 7φX2, 3t	STK400 STK400
④	横継材	(外) P-42, 7φX2, 3t	STK400
⑤	横継材	(内) P-60, 5φX2, 3t	STK400
⑥	横継材	(内) P-42, 7φX2, 3t	STK400
⑦	横継材	(内) P-60X60X2, 3t	STK400
⑧	プレース	1-M12	SNR400B
⑨	水平梁	(外) P-100X100X2, 3t D=1000 (内) P-100X100X2, 3t ラチス P-42, 7φX2, 3t θ=45°	STK400 STK400 STK400
⑩	間柱	P-100X100X2, 3t	STK400
⑪	束材	P-60X60X2, 3t	STK400
⑫	脚継	P-60X60X1, 6t	STK400
⑬	芯材	P-60X60X1, 6t	STK400

*L-45X45X3t (KMG-H400-K) はL-50X50X4t (SS400) に代用可とする。

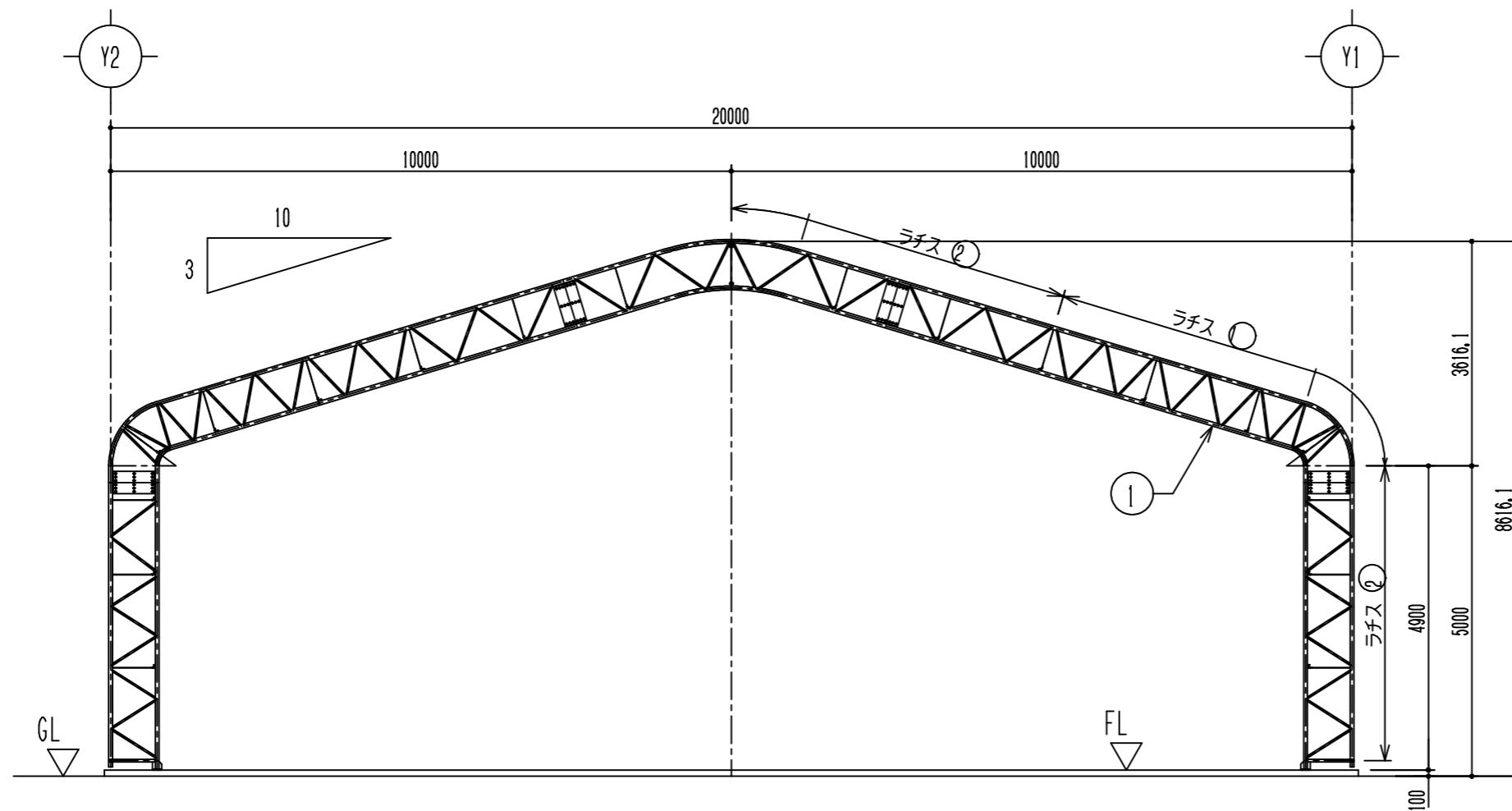
相馬康典建築設計事務所 一般建築士事務所 桜木県知事登録A/第3638号 〒329-3222 桜木県須須郡須須町大字寺子丙81-12 TEL 090-4398-1943	特記事項 相馬 康典	工事名 R7除去土壤等集約地分別ヤード新築工事	SCALE S=1/100 (A3)	NO. S - 0 6
		図面 軸組図・メンバーリスト 3	DATE R7. 12. 01	



部材リスト WS-K-20		
NO	名 称	部 材
①	主架構材	(外) P-60, 5φX2, 3t D=750 (内) P-60, 5φX2, 3t ラチス 1C-27, 2φX2, 3t θ=30° ラチス 2C-27, 2φX1, 9t θ=45°
②	横縫材	L-45X45X3t
③	横縫材	(外) P-42, 7φX2, 3t (内) P-42, 7φX2, 3t
④	横縫材	(外) P-42, 7φX2, 3t
⑤	横縫材	(内) P-60, 5φX2, 3t
⑥	横縫材	(内) P-42, 7φX2, 3t
⑦	横縫材	(内) □-60X60X2, 3t
⑧	プレース	1-W12
⑨	水平梁	(外) □-100X100X2, 3t D=1000 (内) □-100X100X2, 3t ラチス P-42, 7φX2, 3t θ=45°
⑩	間柱	□-100X100X2, 3t
⑪	束材	□-60X60X2, 3t
⑫	脚縫	□-60X60X1, 6t
⑬	芯材	□-60X60X1, 6t

*L-45X45X3t (KMA6-H400-K) はL-50X50X4t (SS400) に代用可とする。

相馬康典建築設計事務所 一級建築士事務所 桜木県知事登録A/第3638号 〒329-3222 桜木県須郡須町大字寺子丙81-12 TEL 090-4398-1943	特記事項 一級建築士 大臣登録 第36760号 相馬 康典	工事名 R7除去土壤等集約地分別ヤード新築工事	SCALE S=1/100 (A3)	NO. S - 07
		図面 軸組図・メンバーリスト 4	DATE R7. 12. 01	

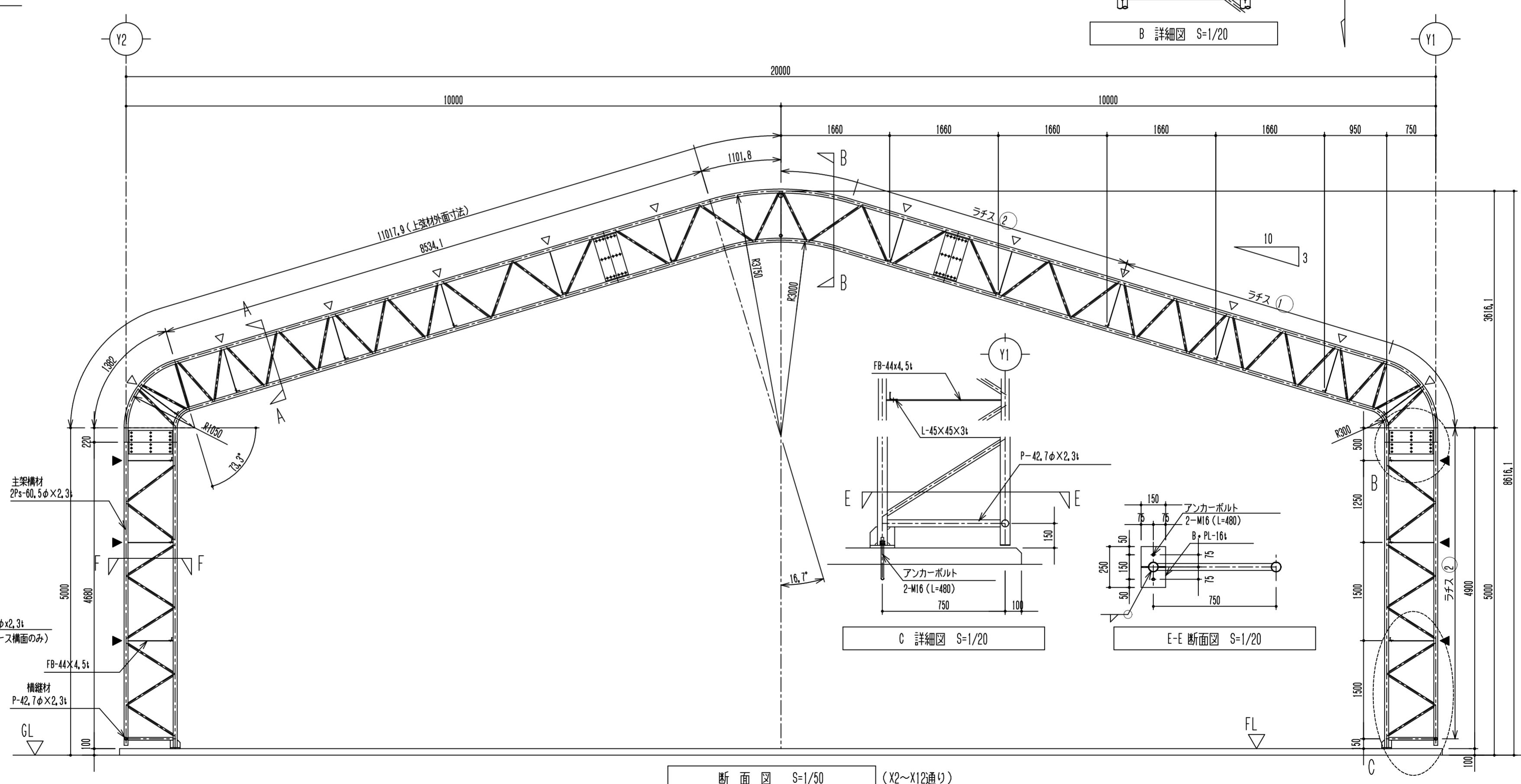
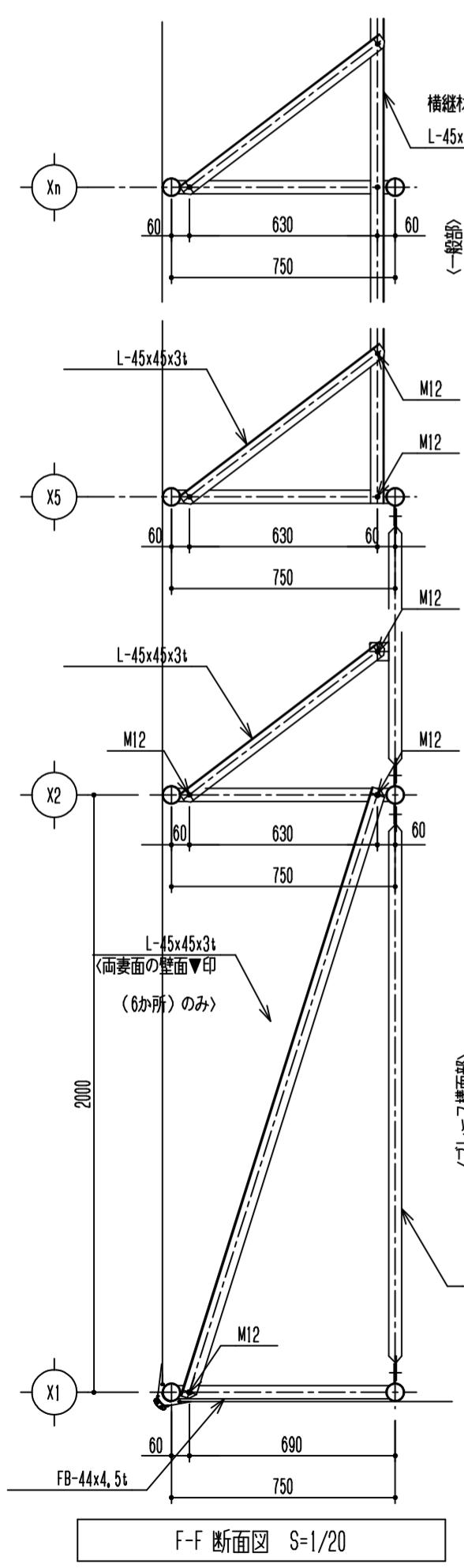
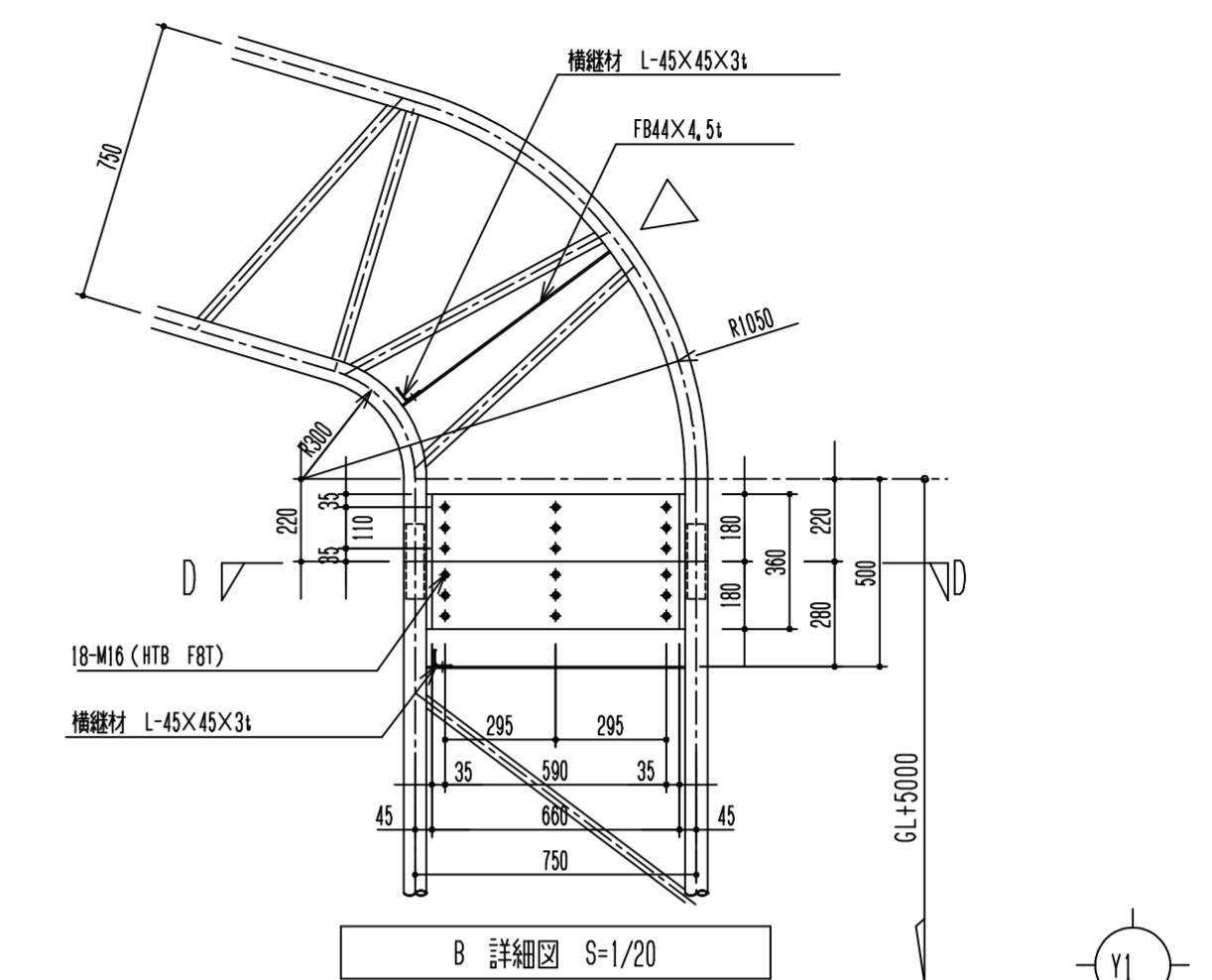
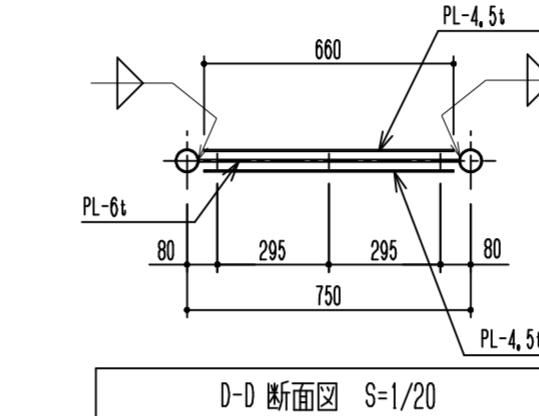
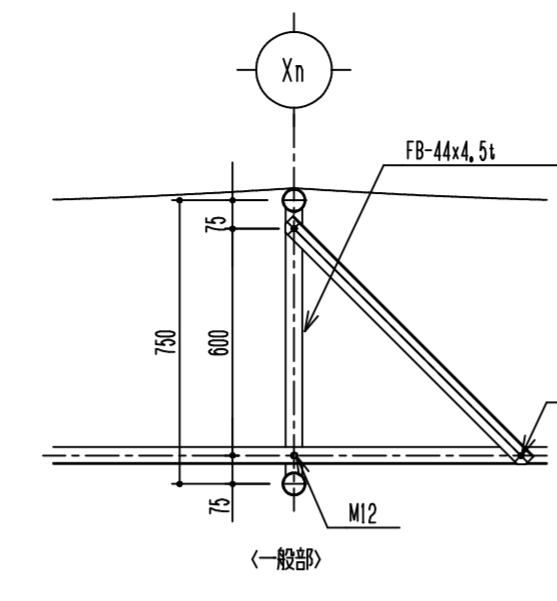
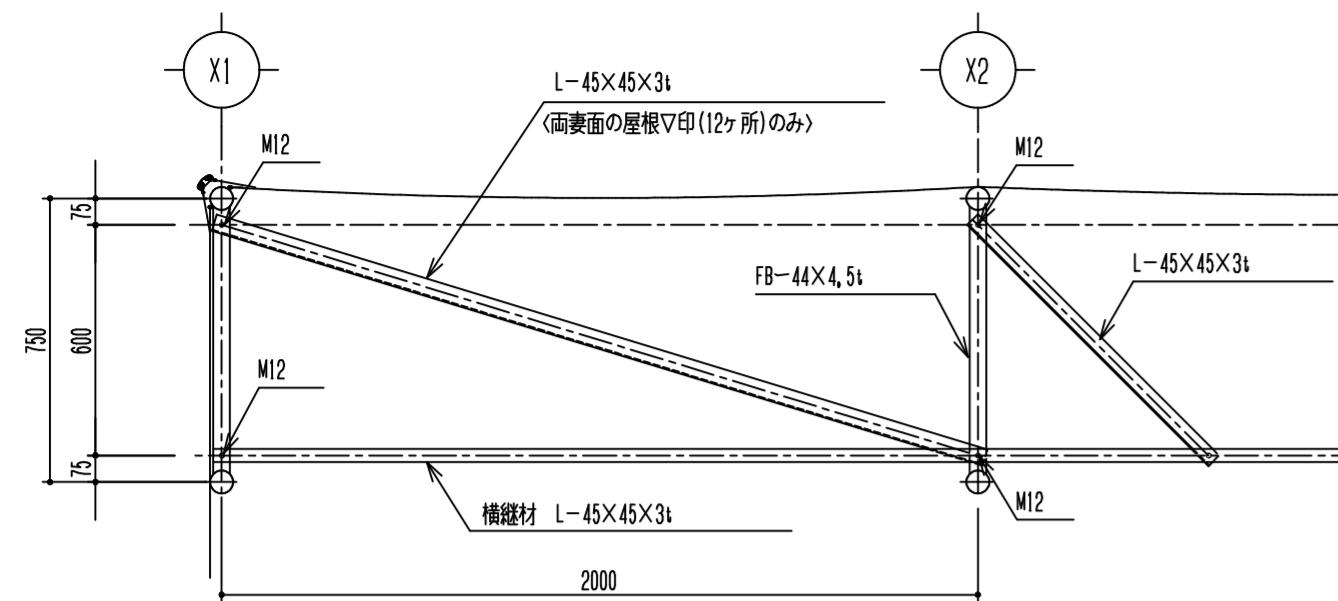


断面図 S=1/100 (X2~X12通り)

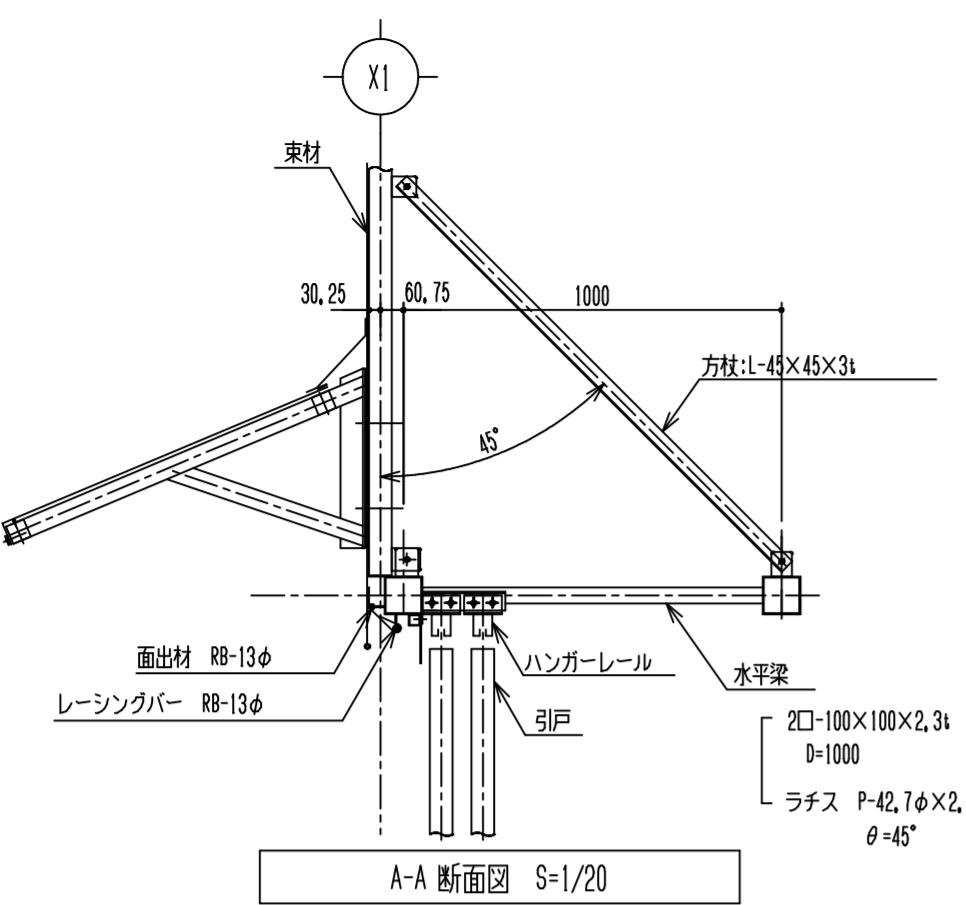
部材リスト WS-K-20			
NO	名 称	部 材	材 質
①	主架構材	(外) P-60,5φX2,3t D=750 (内) P-60,5φX2,3t ラチス 1C-27,2φX2,3t θ=30° ラチス 2C-27,2φX1,9t θ=45°	STK400 STK400 STK400 STK400
②	横縫材	L-45X45X3t	WAG-H400-K
③	横縫材	(外) P-42,7φX2,3t (内) P-42,7φX2,3t	STK400 STK400
④	横縫材	(外) P-42,7φX2,3t	STK400
⑤	横縫材	(内) P-60,5φX2,3t	STK400
⑥	横縫材	(内) P-42,7φX2,3t	STK400
⑦	横縫材	(内) □-60X60X2,3t	STK400
⑧	プレス	I-W12	SWR400B
⑨	水平梁	(外) □-100X100X2,3t D=1000 (内) □-100X100X2,3t ラチス P-42,7φX2,3t θ=45°	STKR400 STKR400 STK400
⑩	間柱	□-100X100X2,3t	STKR400
⑪	束材	□-60X60X2,3t	STKR400
⑫	脚縫	□-60X60X1,6t	STKR400
⑬	芯材	□-60X60X1,6t	STKR400

*L-45X45X3t (WAG-H400-K) はL-50X50X4t (SS400) に代用可とする。

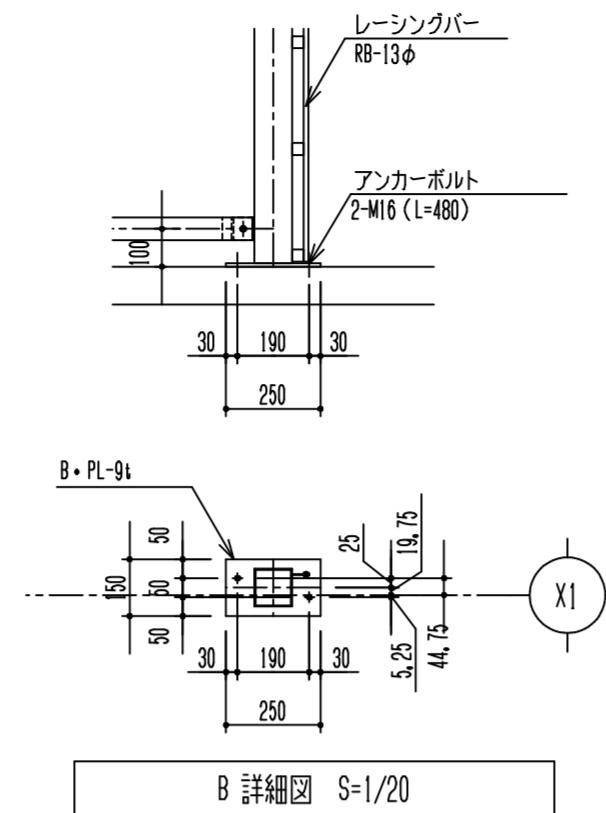
相馬康典建築設計事務所 一般建築士事務所 桜木県知事登録A/第3638号 〒329-3222 桜木県須須郡須須町大字寺子丙81-12 TEL 090-4398-1943	特記事項 相馬 康典	工事名 R7除去土壤等集約地分別ヤード新築工事	SCALE S=1/100 (A3)	N.O. S - 08
		図面 軸組図・メンバーリスト 5	DATE R7. 12. 01	



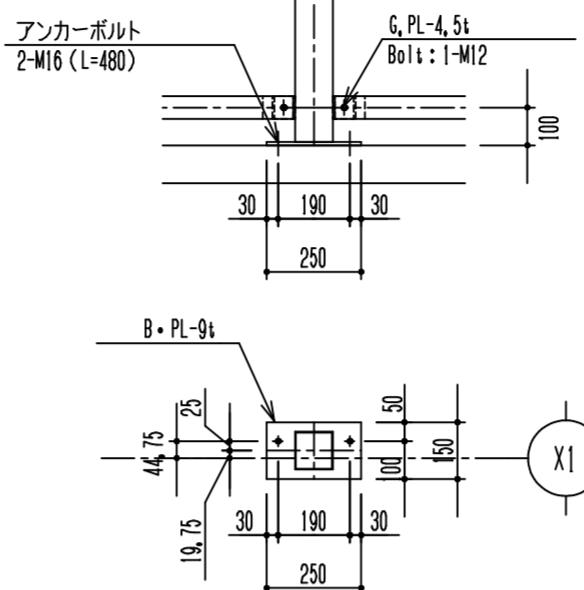
断面図 S=1/50 (X2~X12通り)



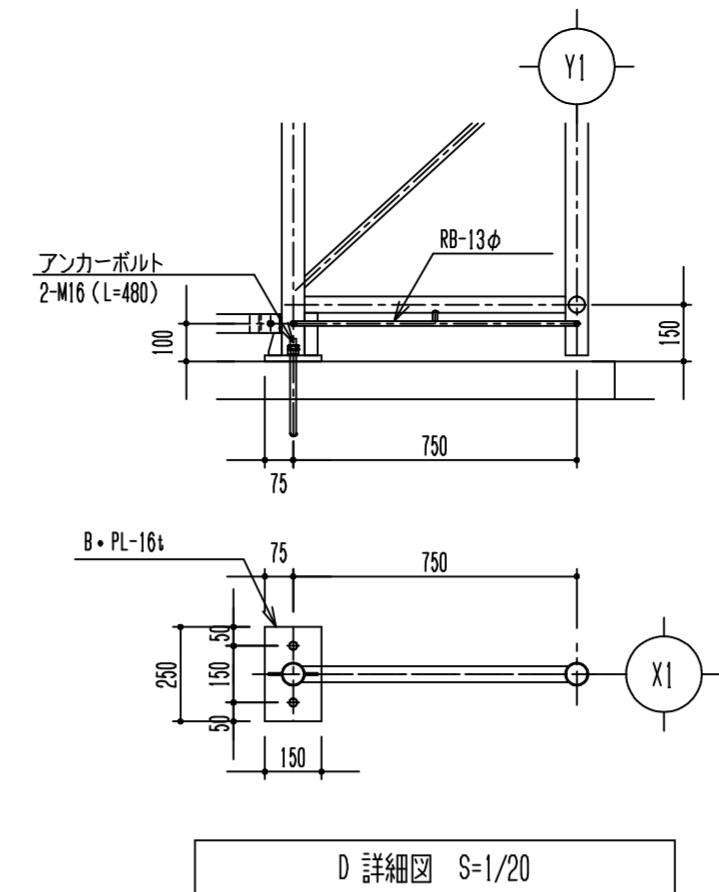
A-A 断面図 S=1/2



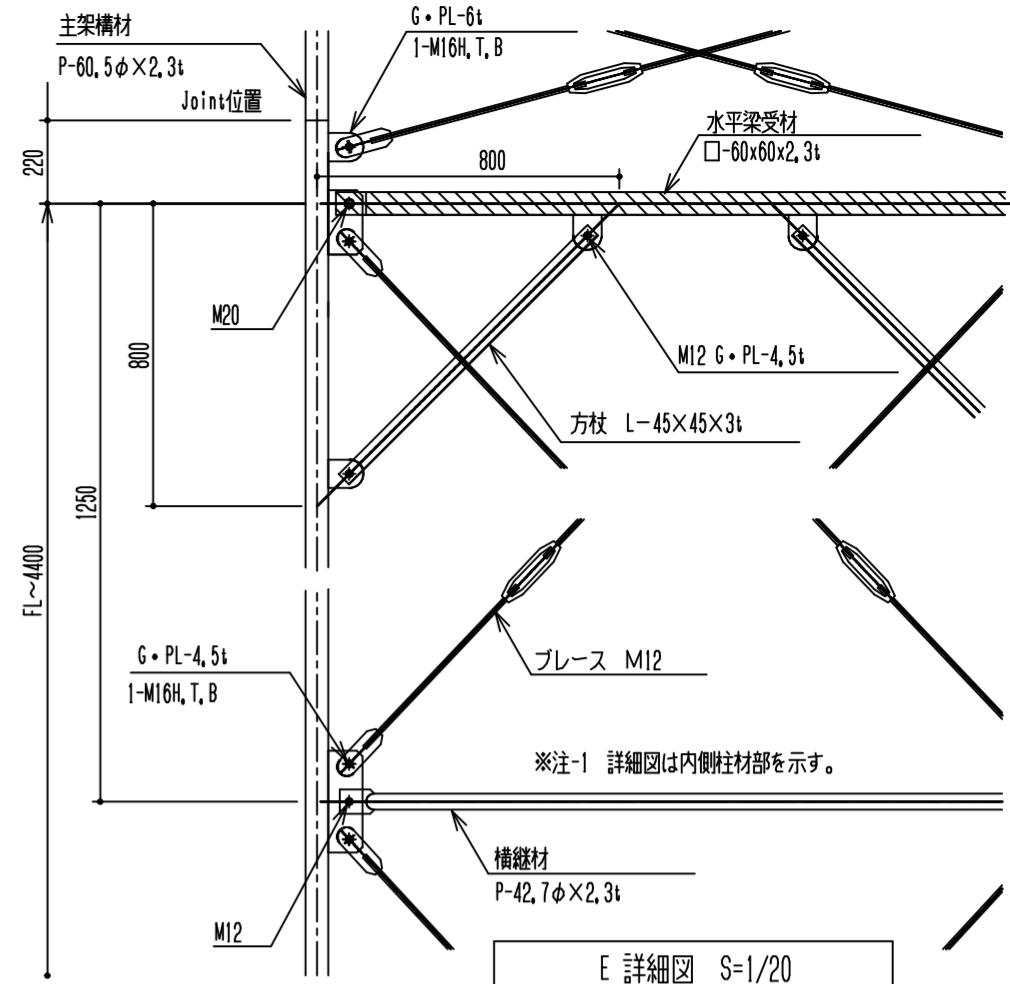
B 詳細図 S=1/20



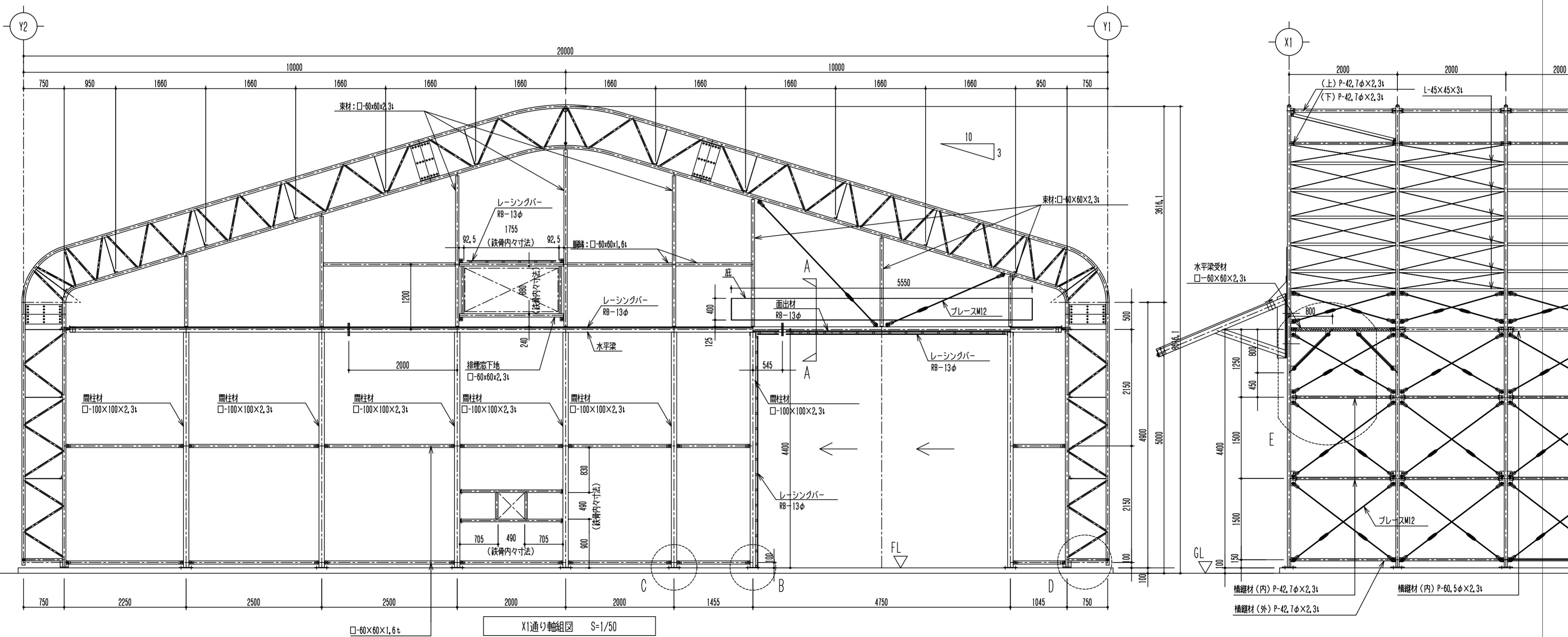
C 詳細図 S=1/20



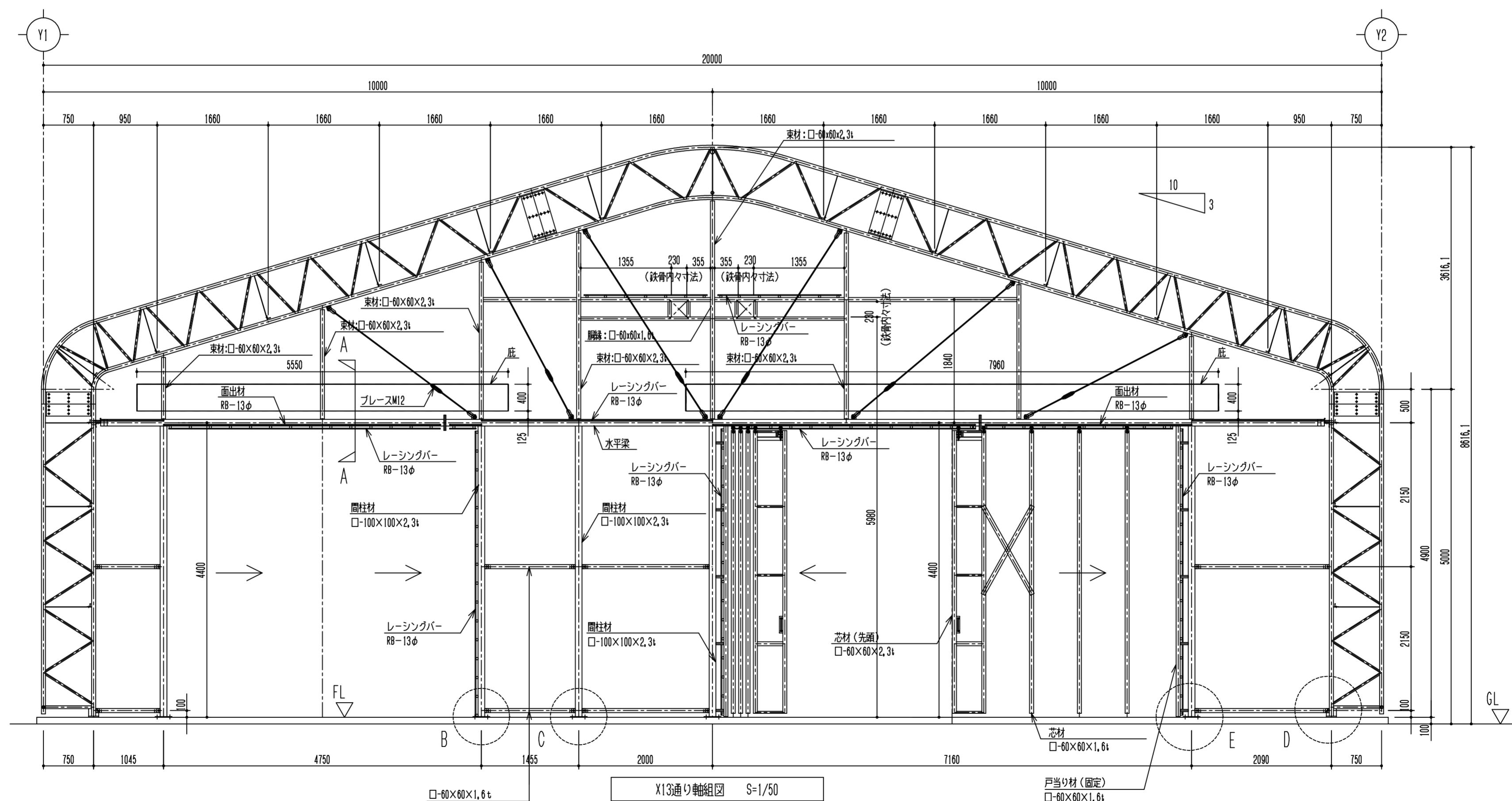
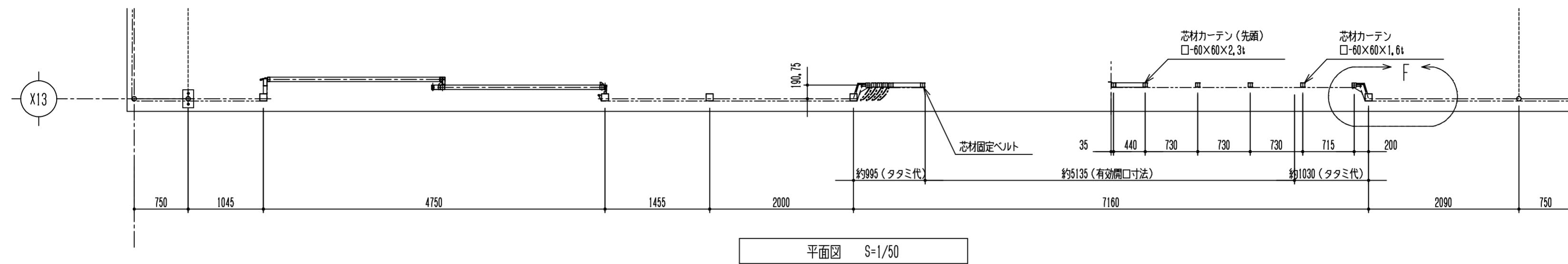
D 詳細図 S=1/20

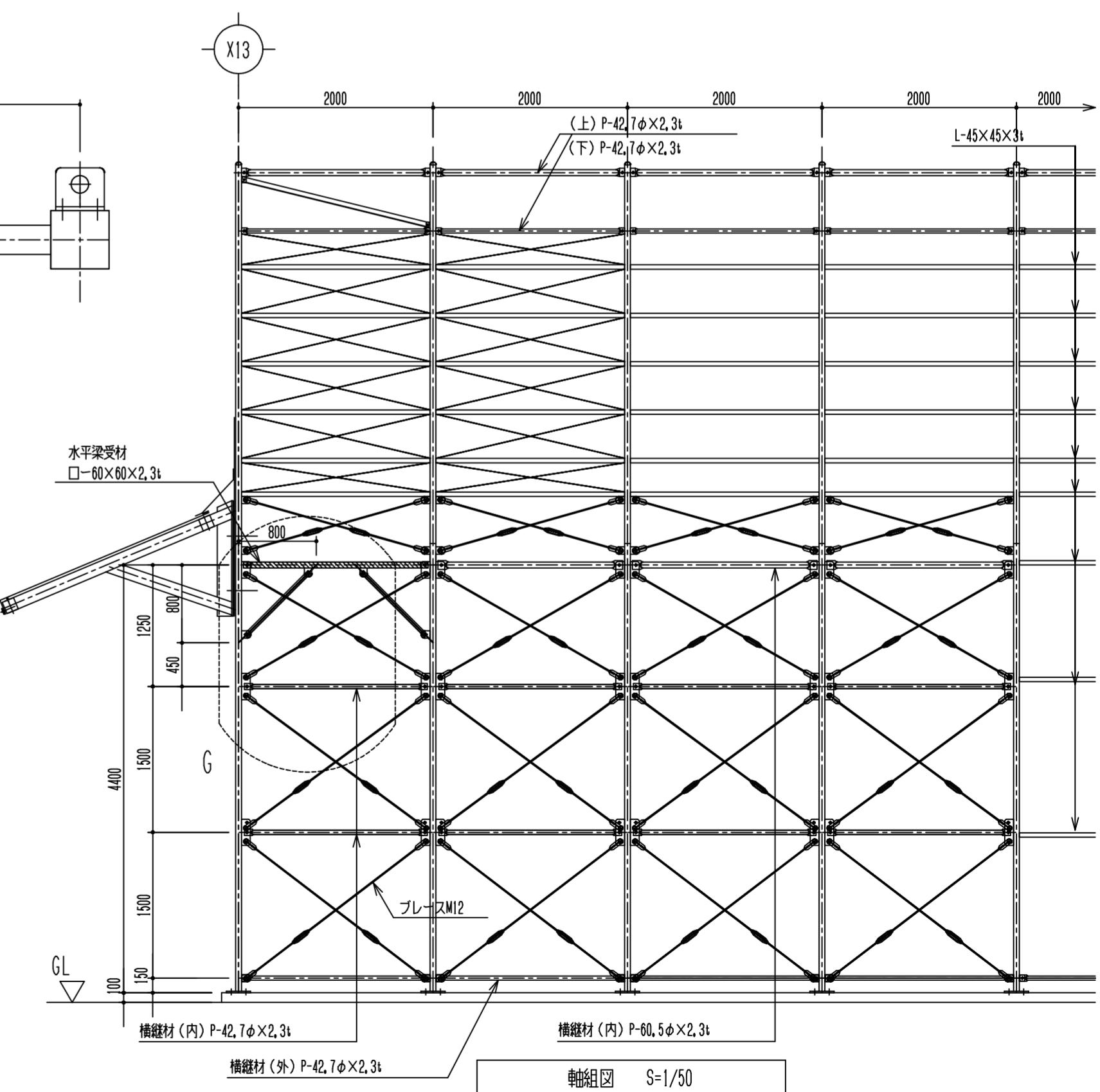
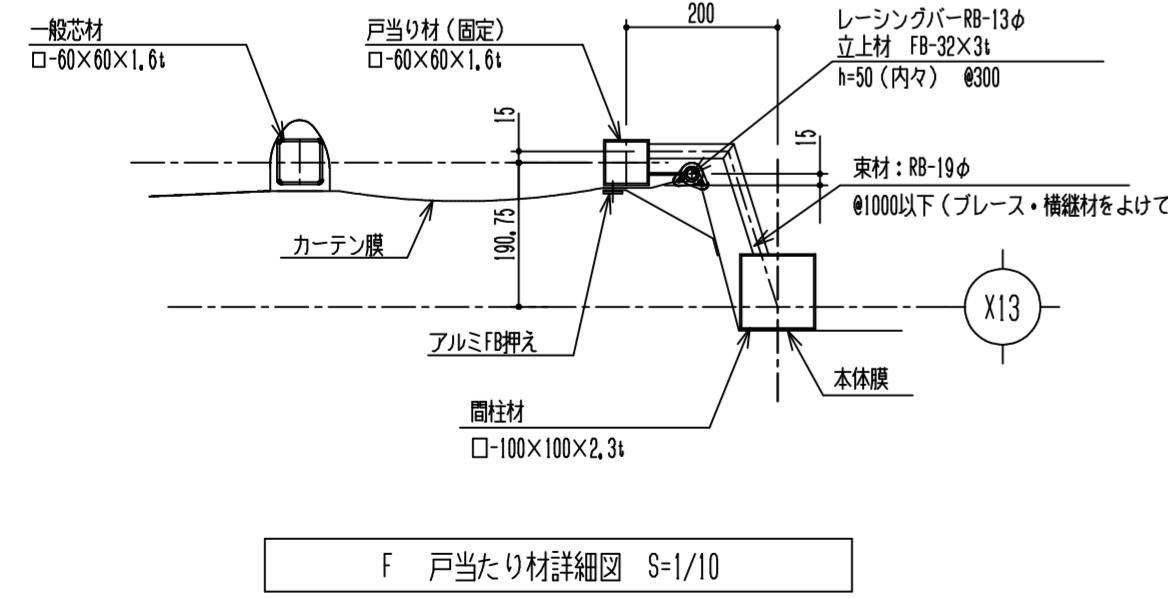
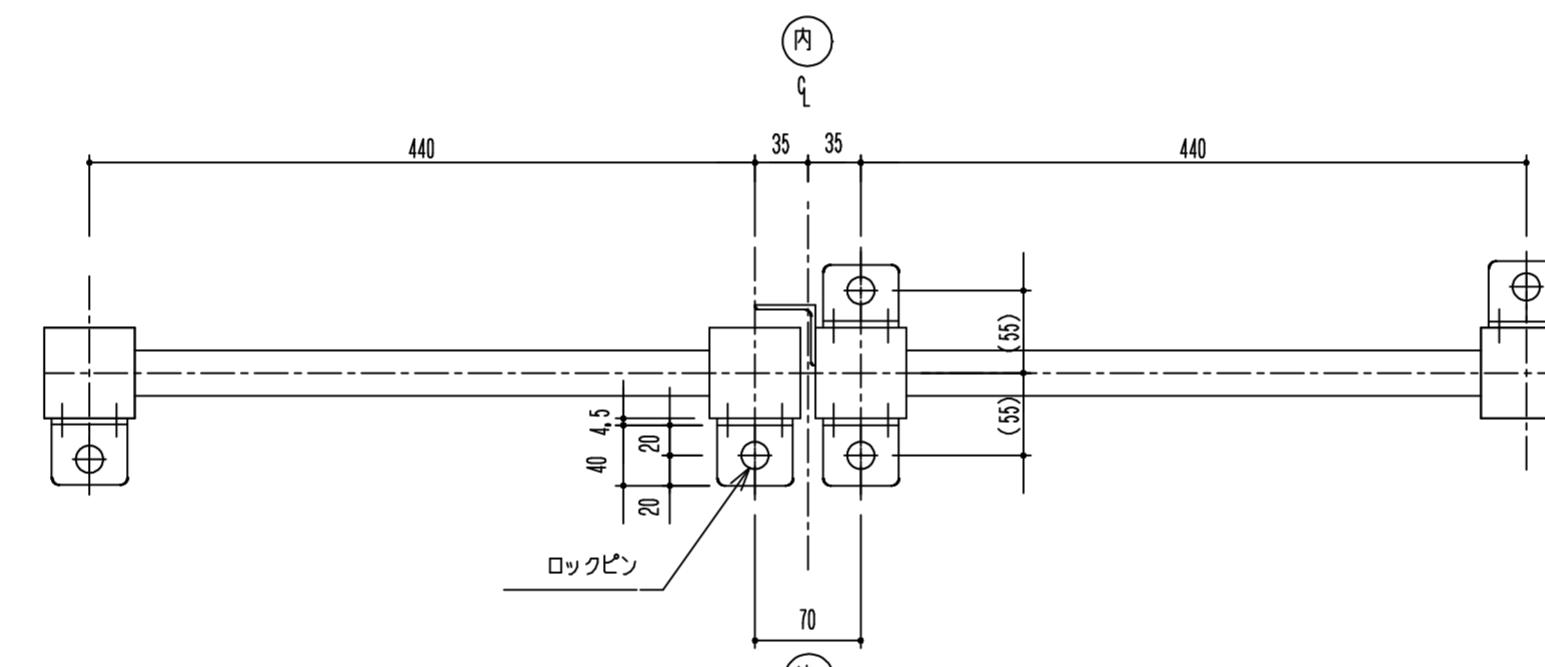
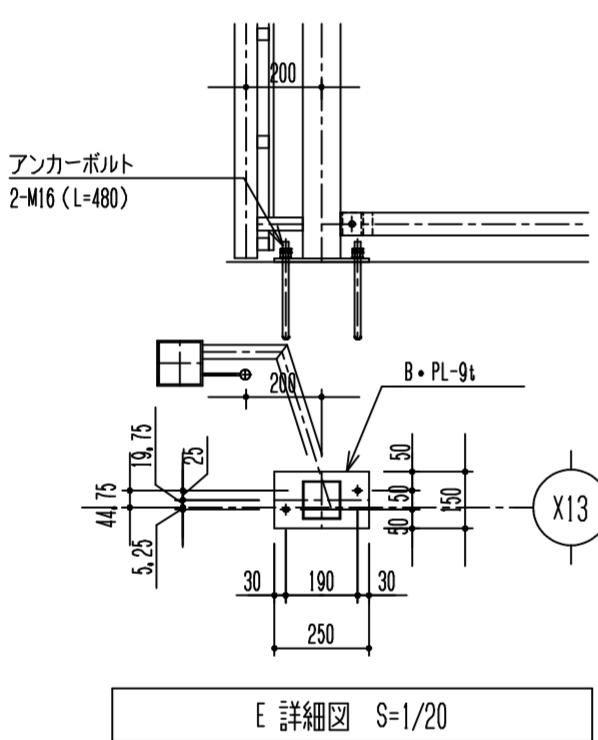
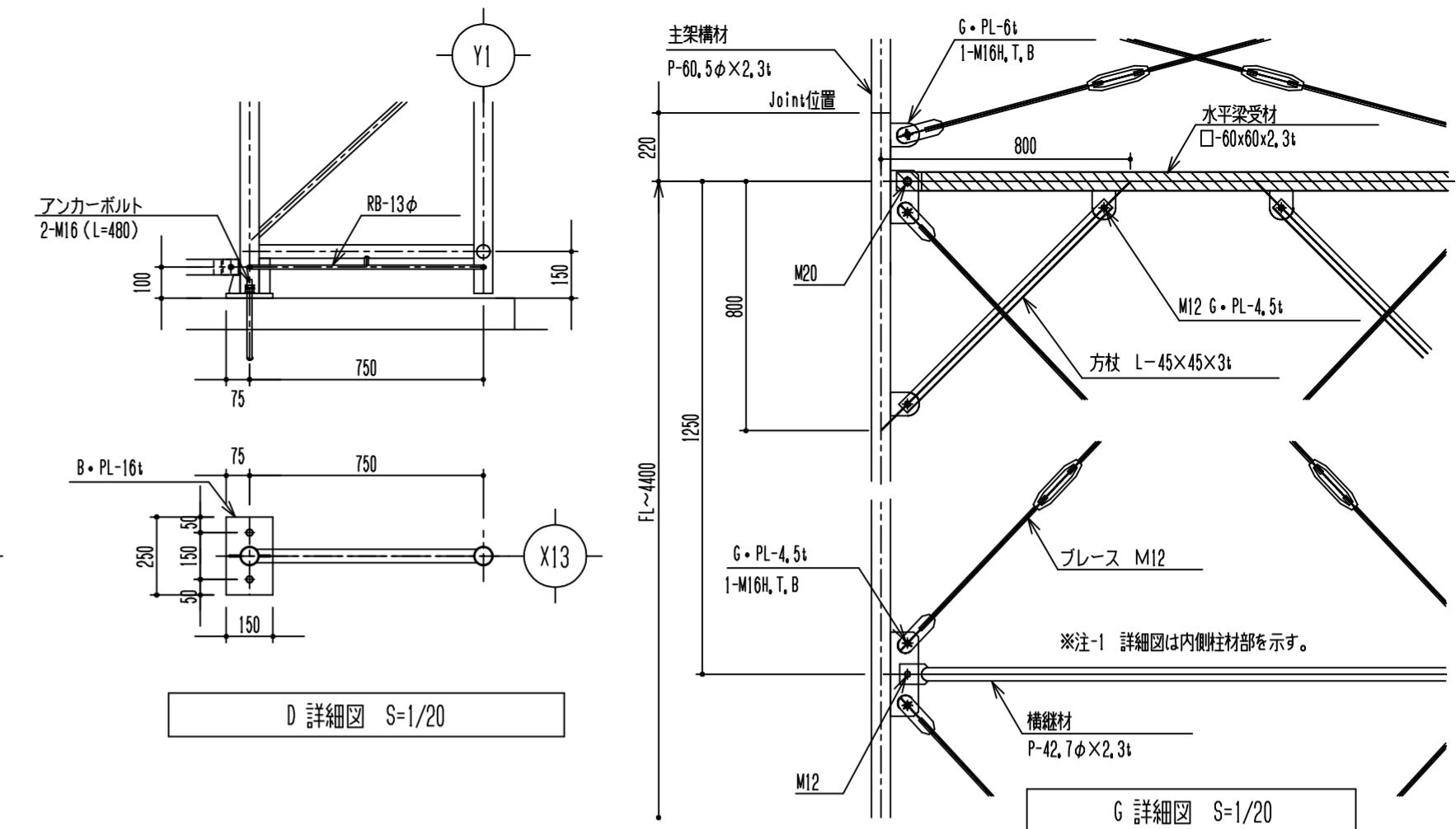
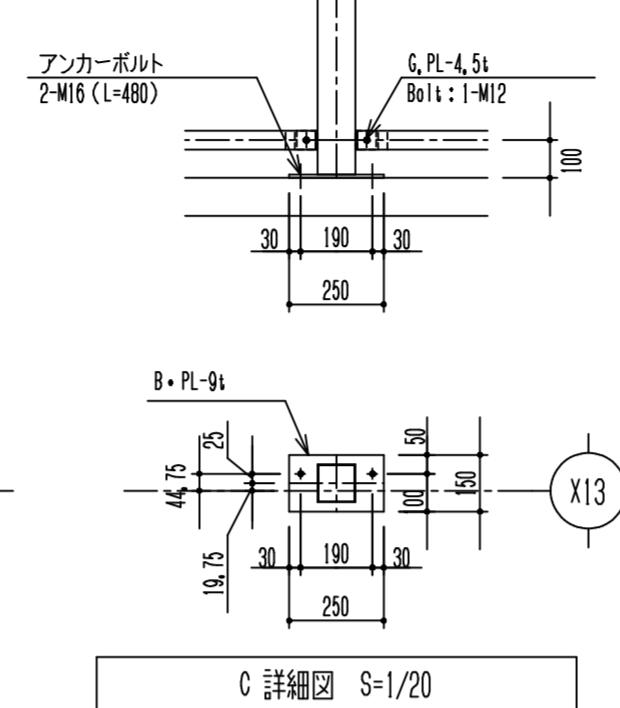
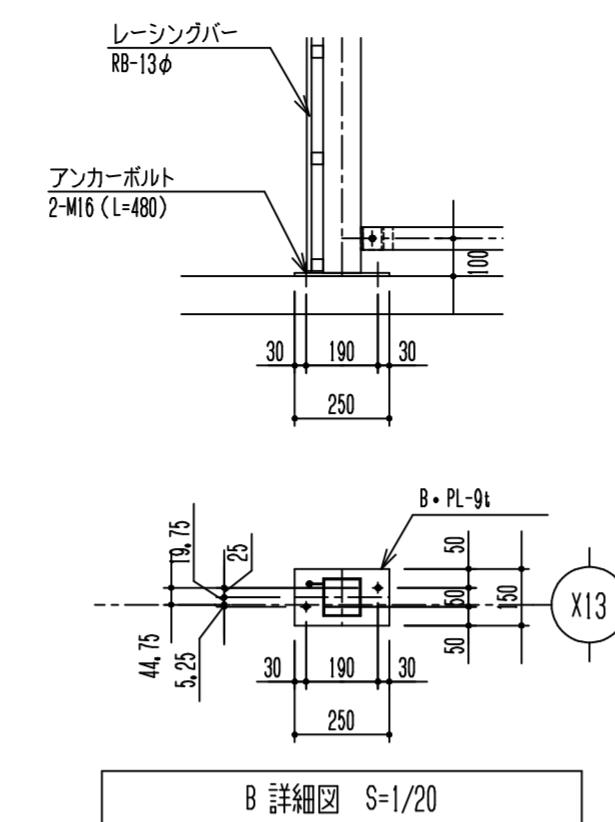
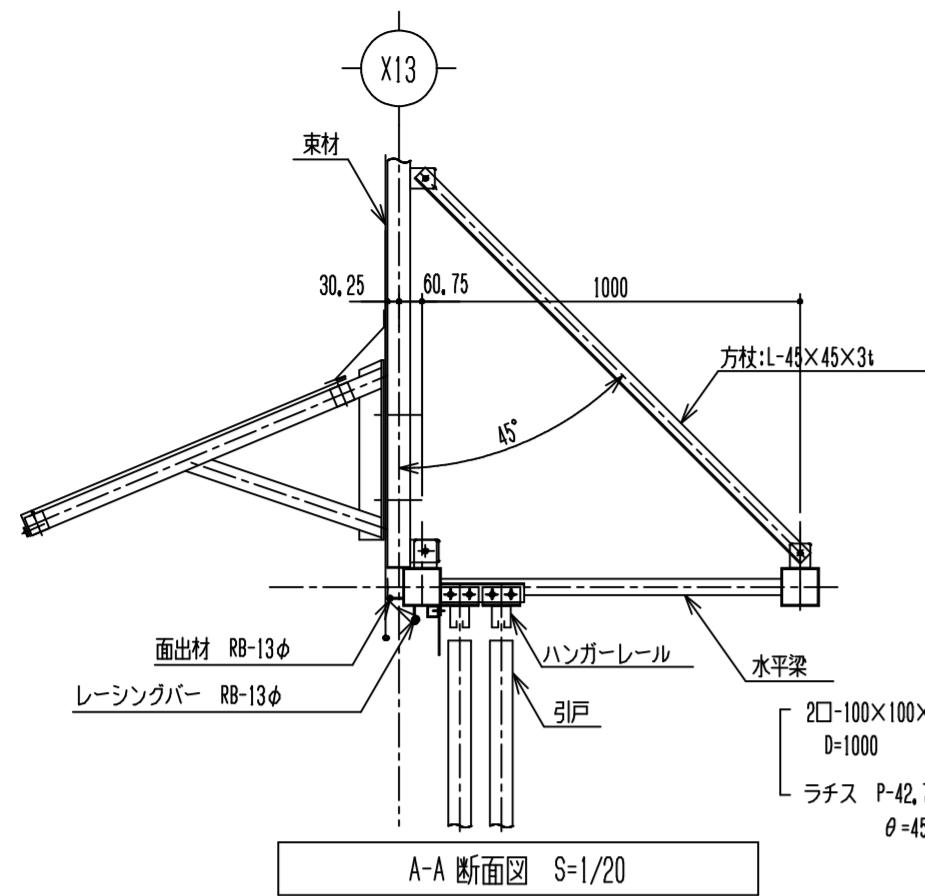


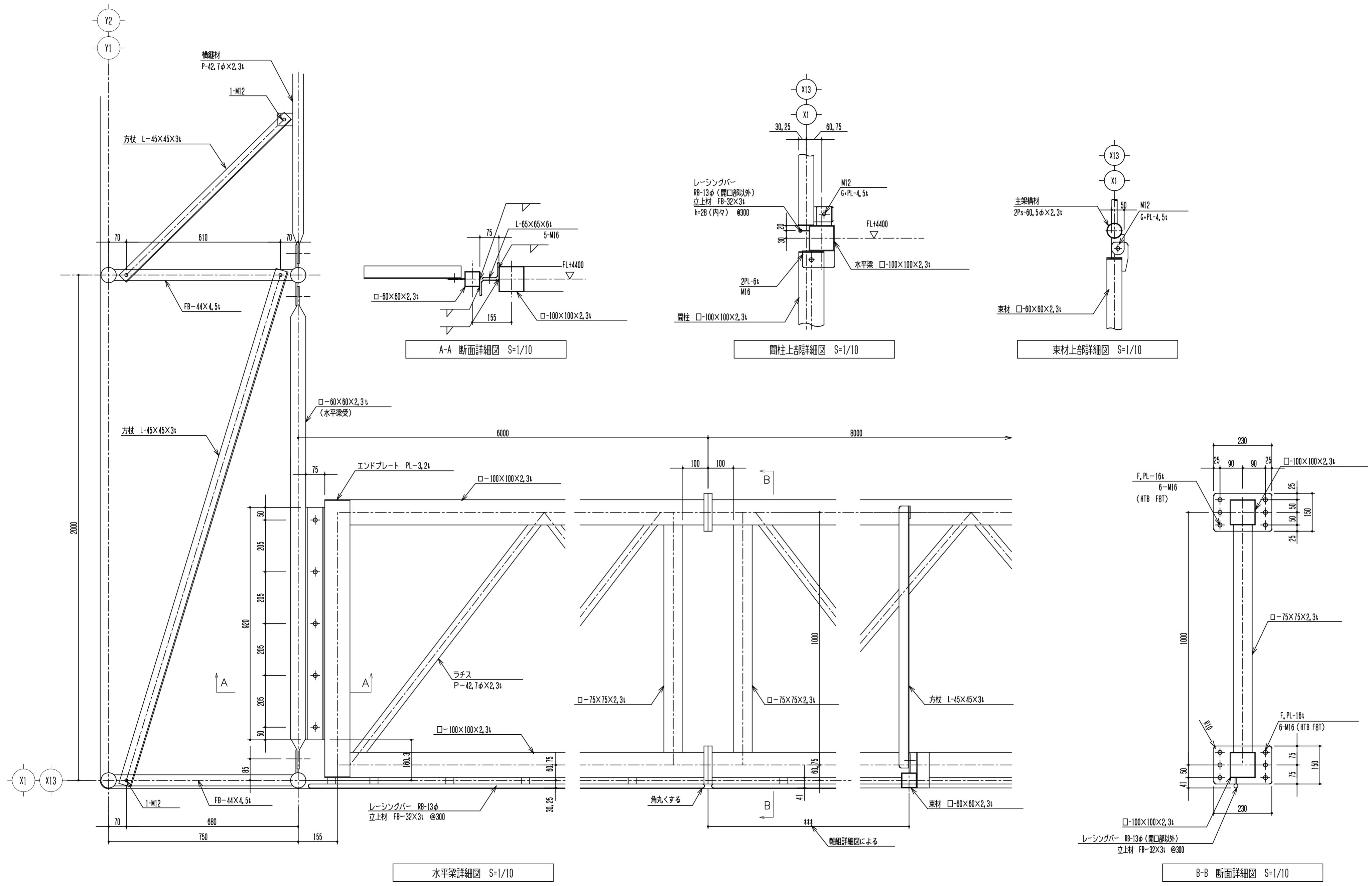
E 詳細図 S=1/20

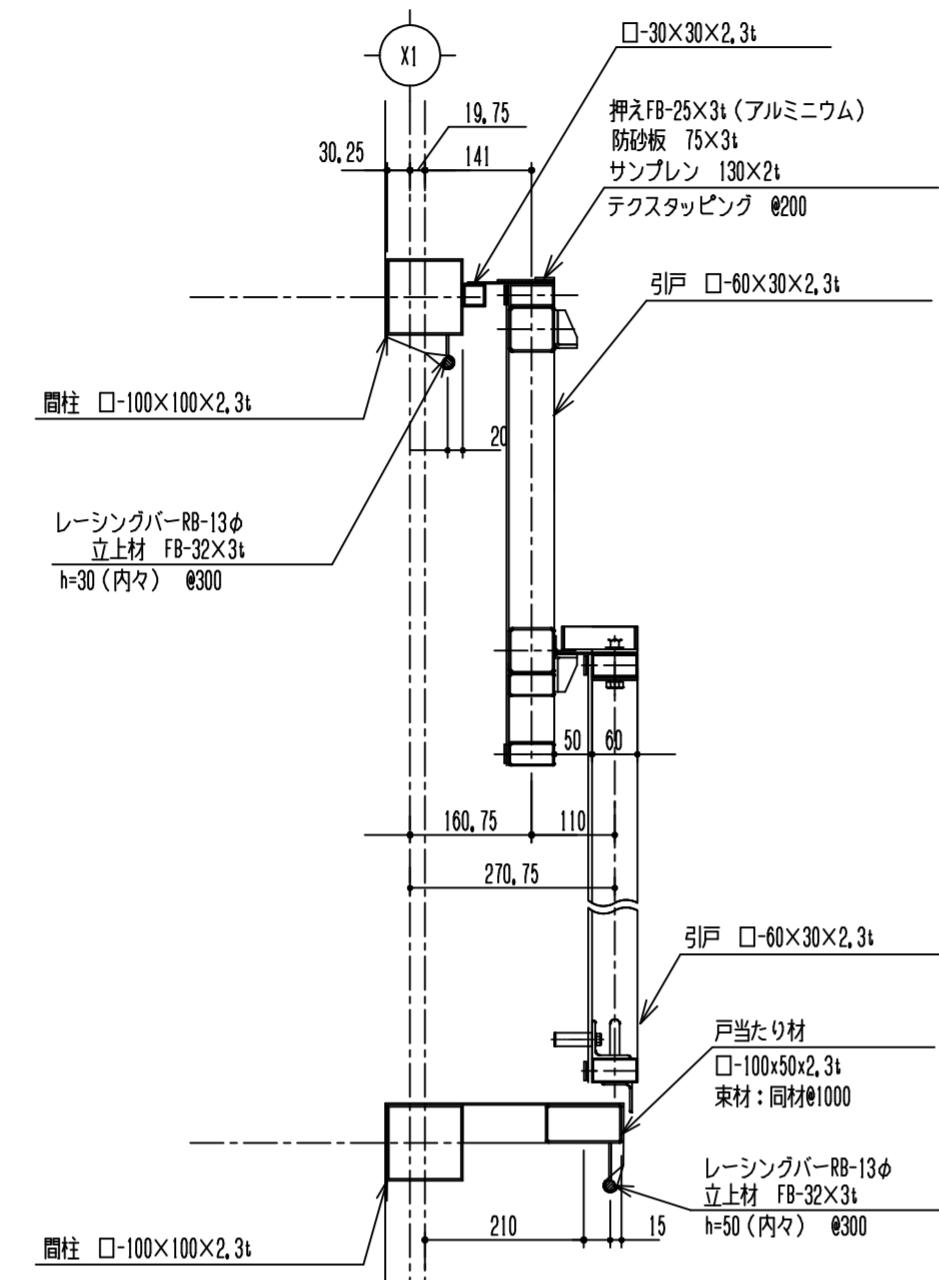


□-60×60×1.6 t

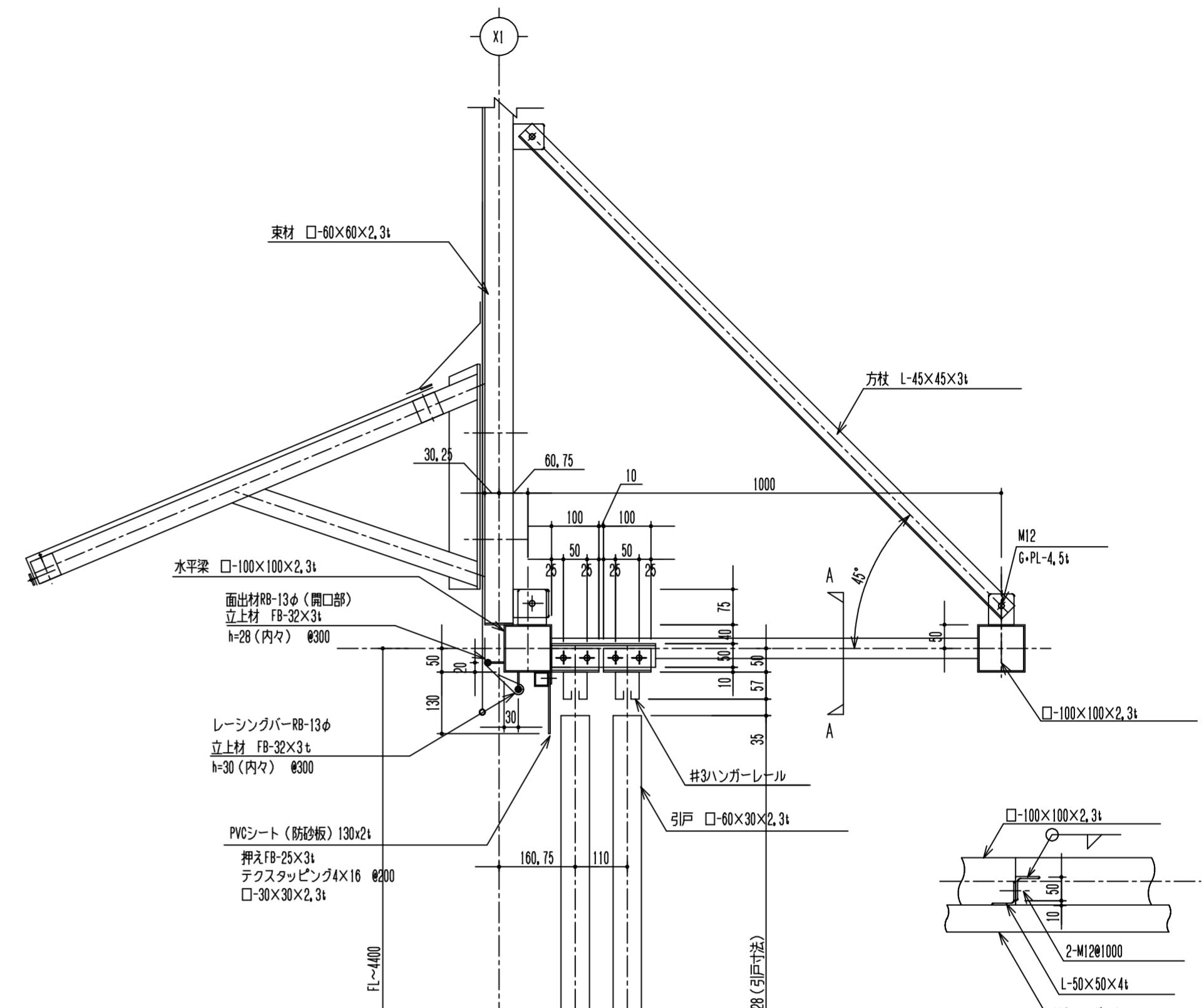




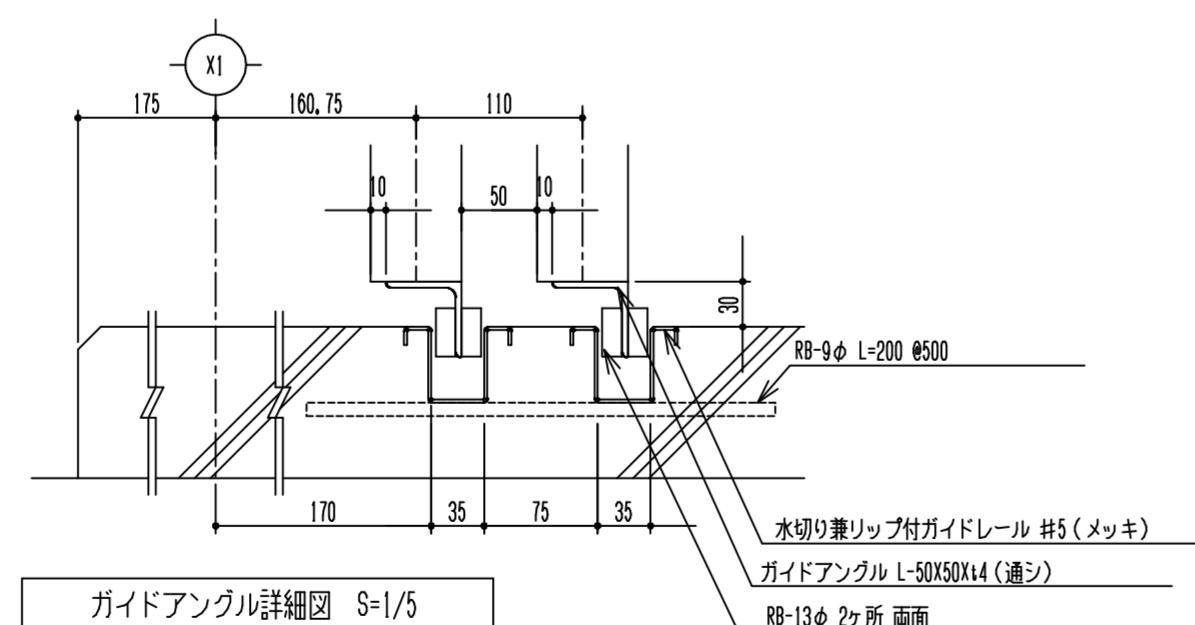




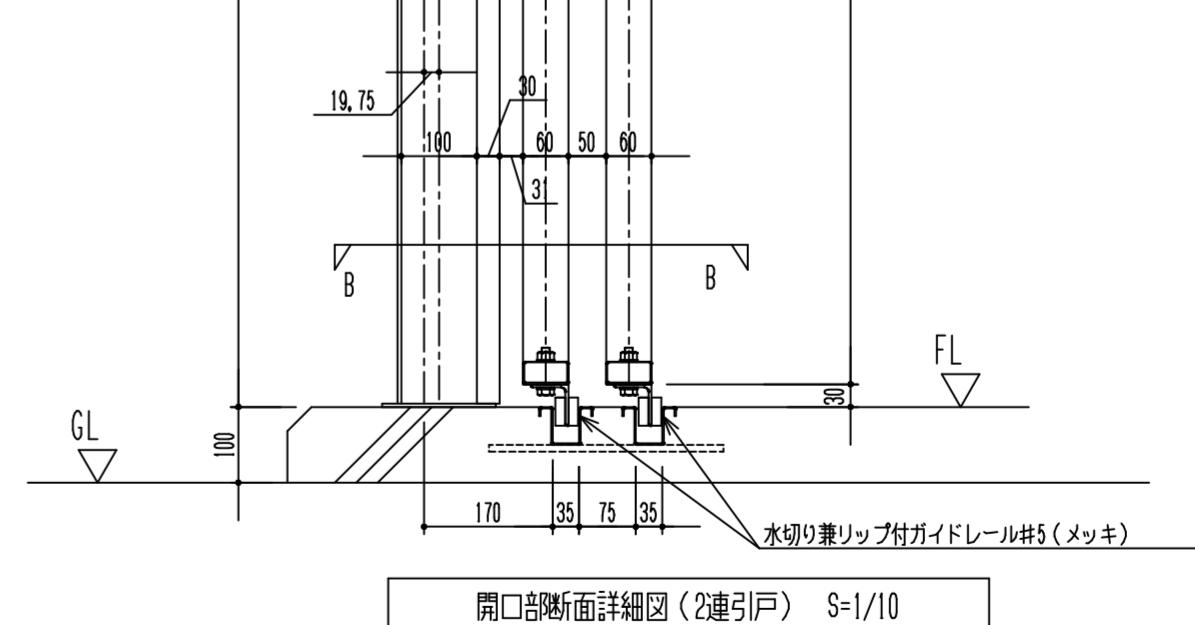
B-B 断面詳細図 S=1/1



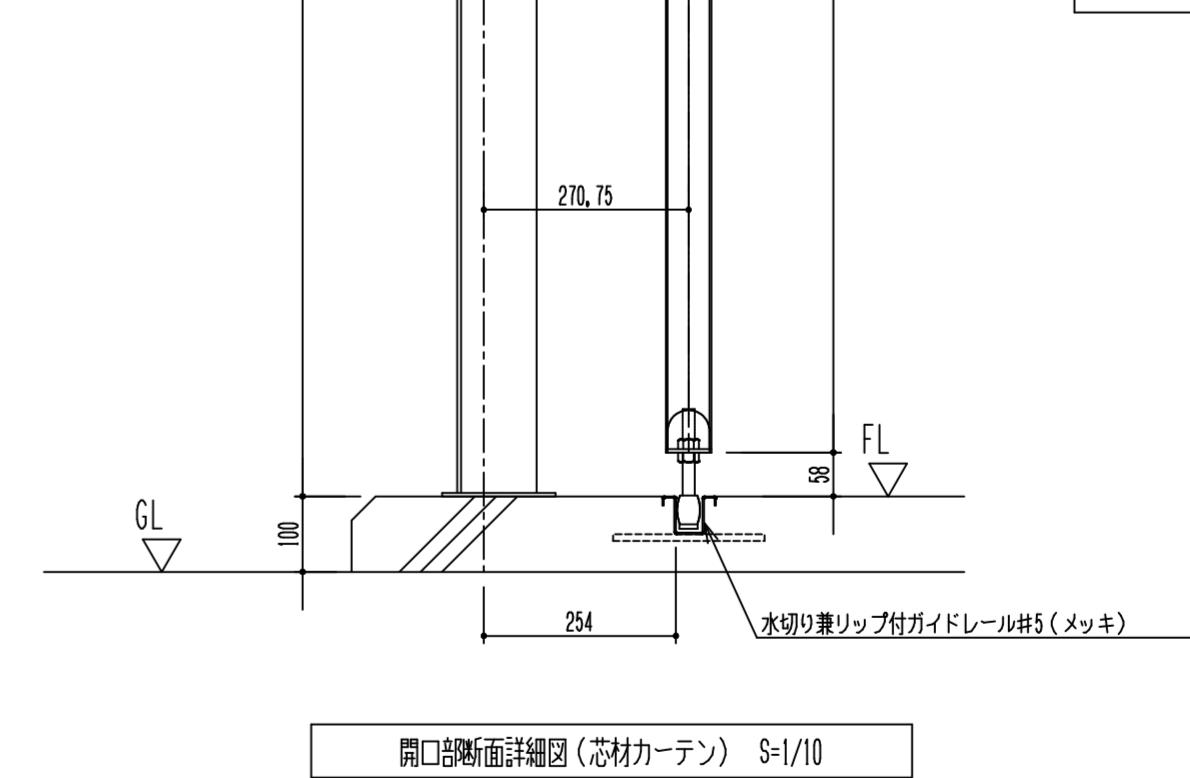
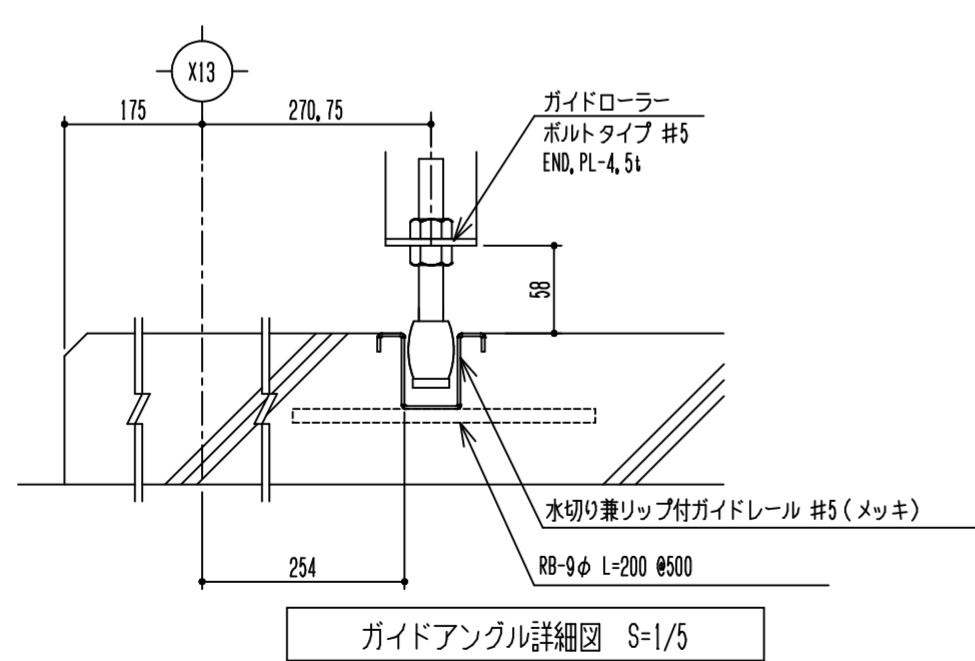
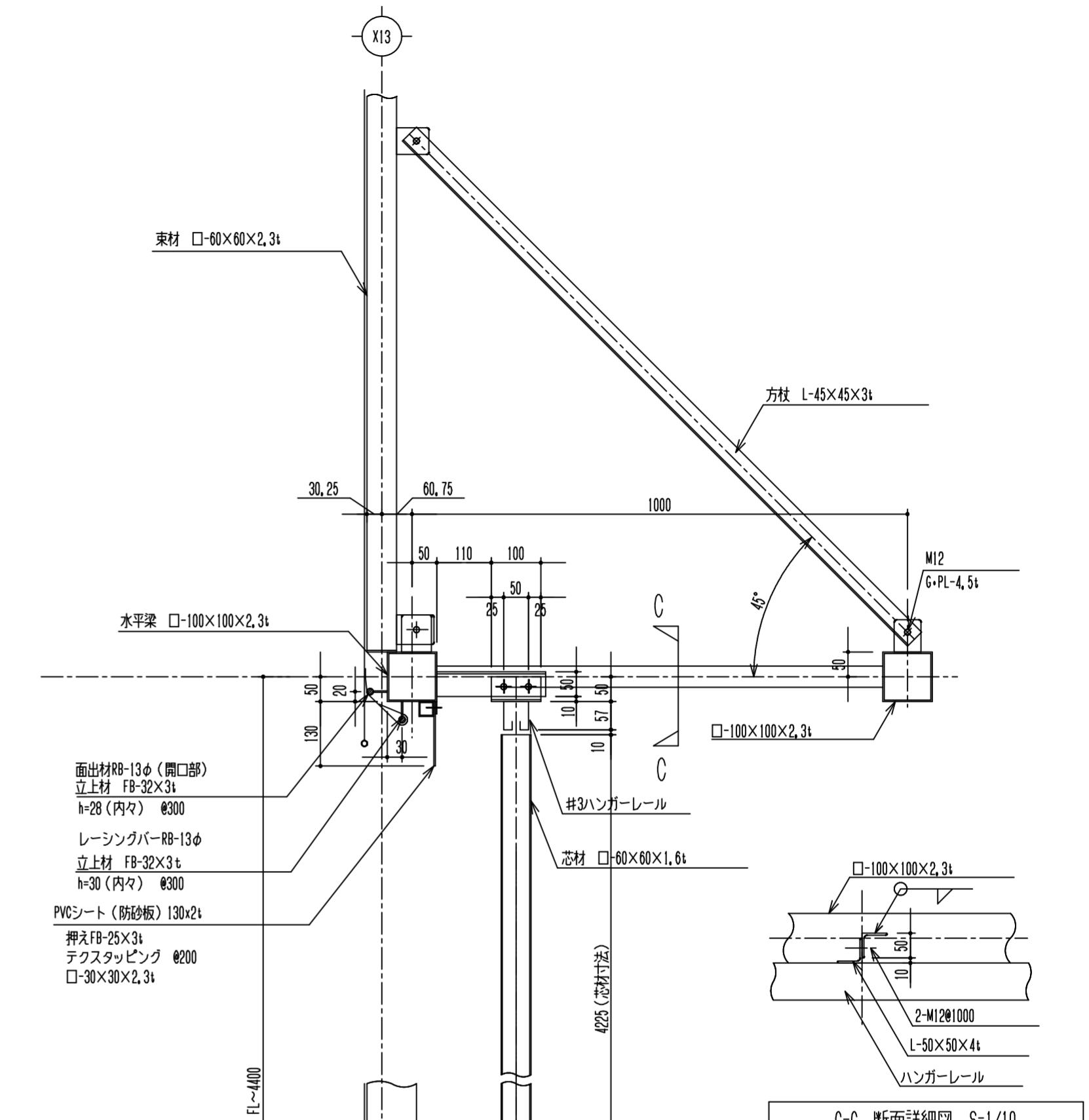
A-A 断面詳細図 S=1/10

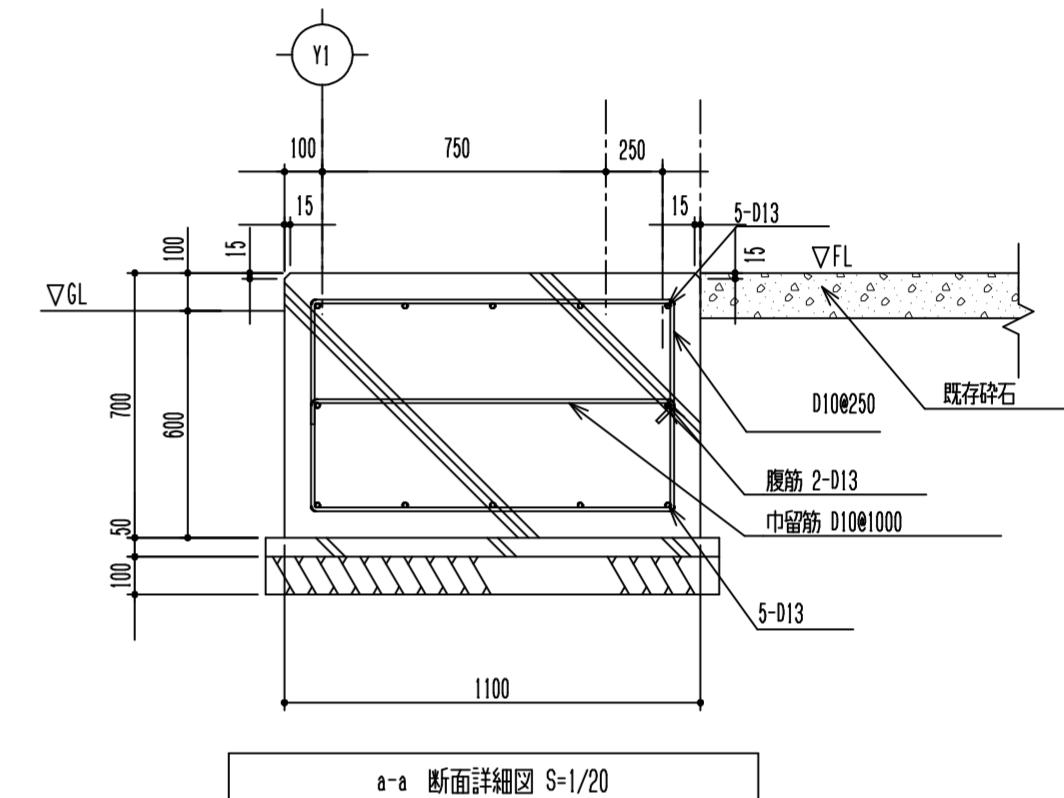
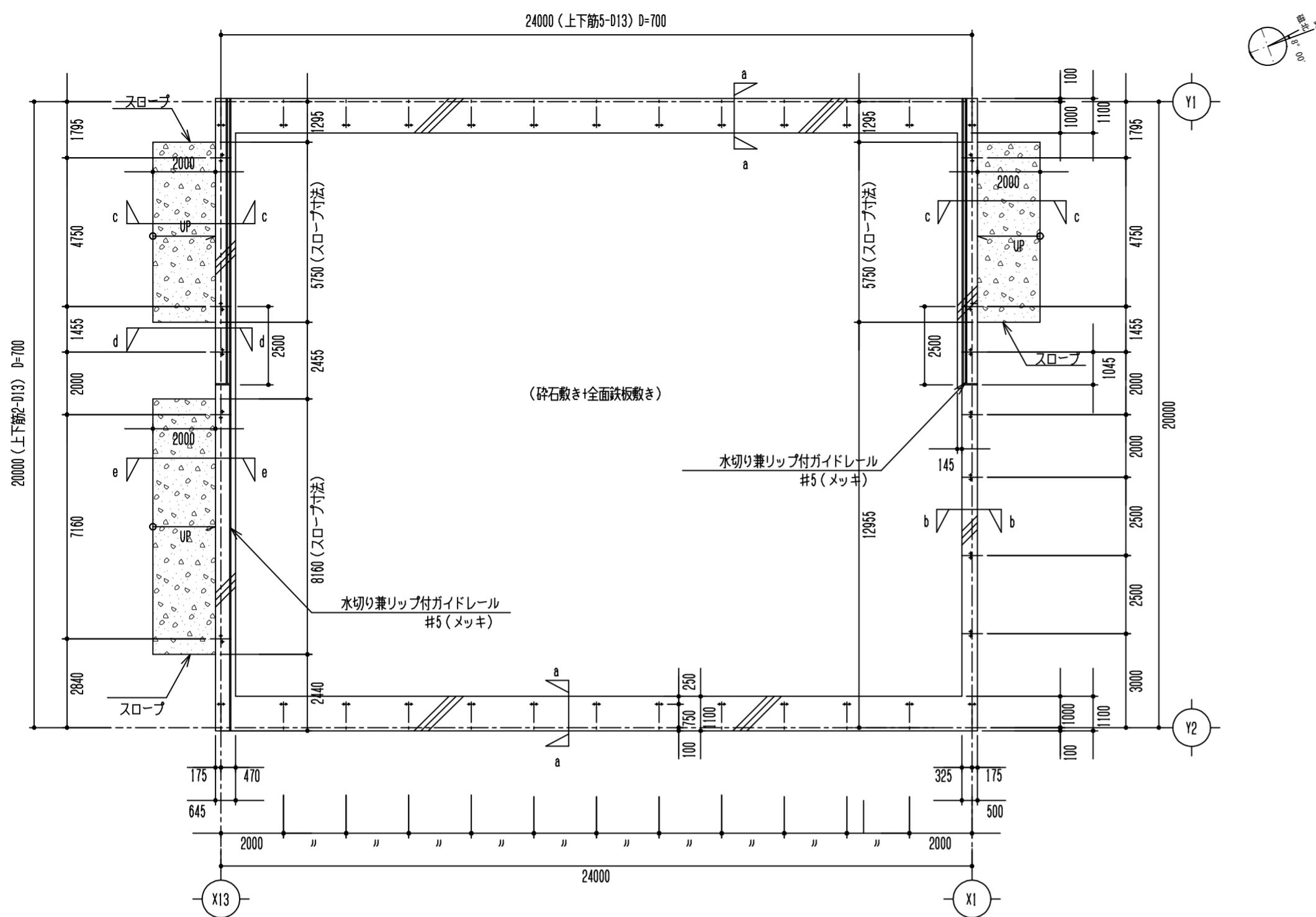


ガイドアングル詳細図 S-1



開口部断面詳細図（2連引戸） S=1/10

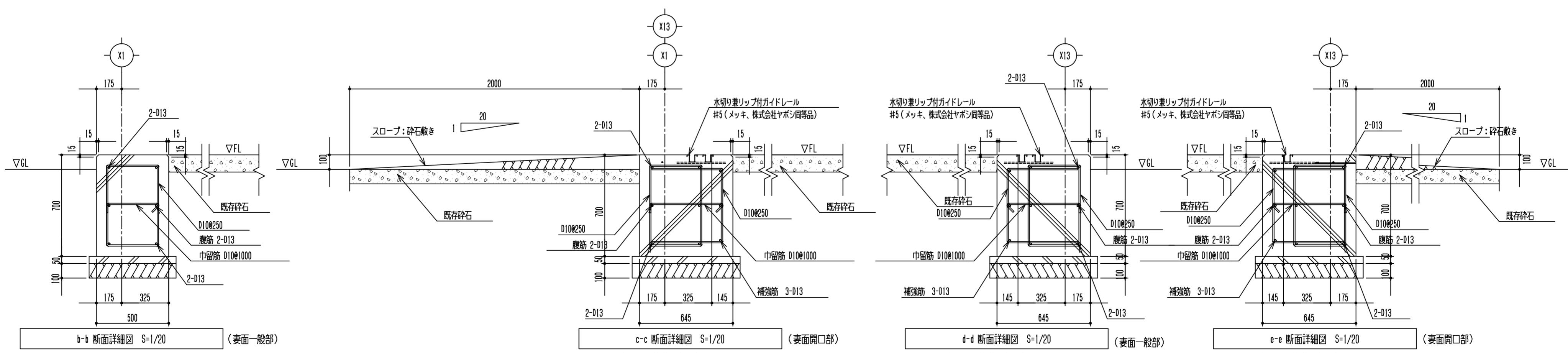




基礎伏図 S=1/15

設計地耐力
長期 30kN/m²
短期 60kN/m²

凍結深度：600mm想定



b-b 断面詳細図 S=1/20 (妻面一般部)

c-c 断面詳細図 S=1/20 (妻面開口部)

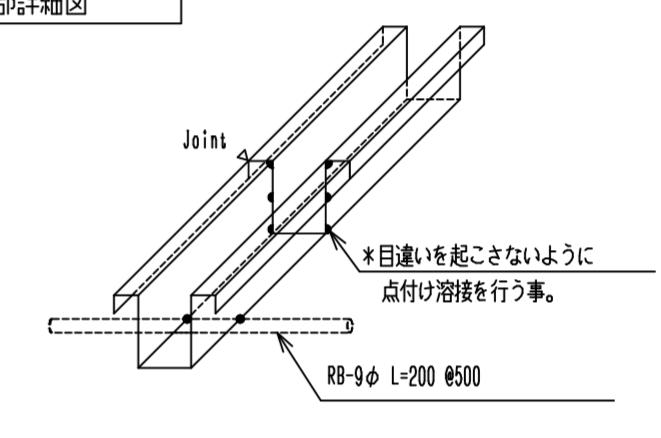
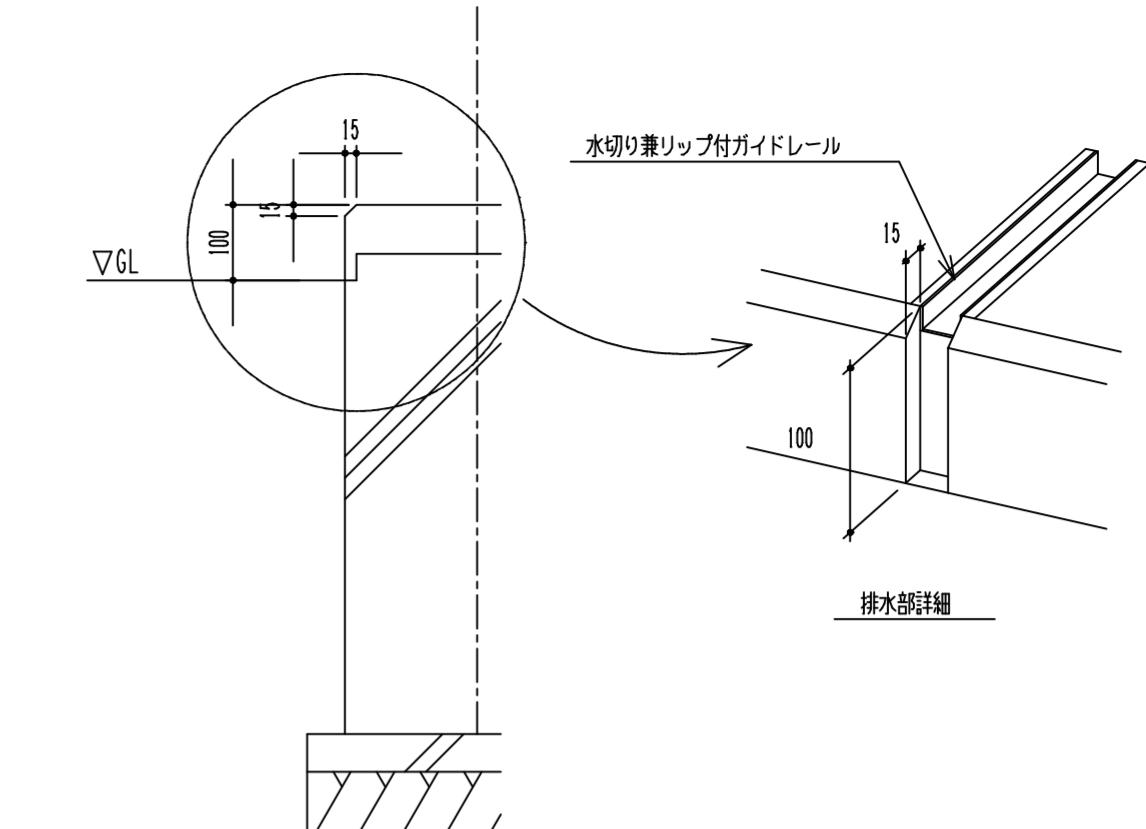
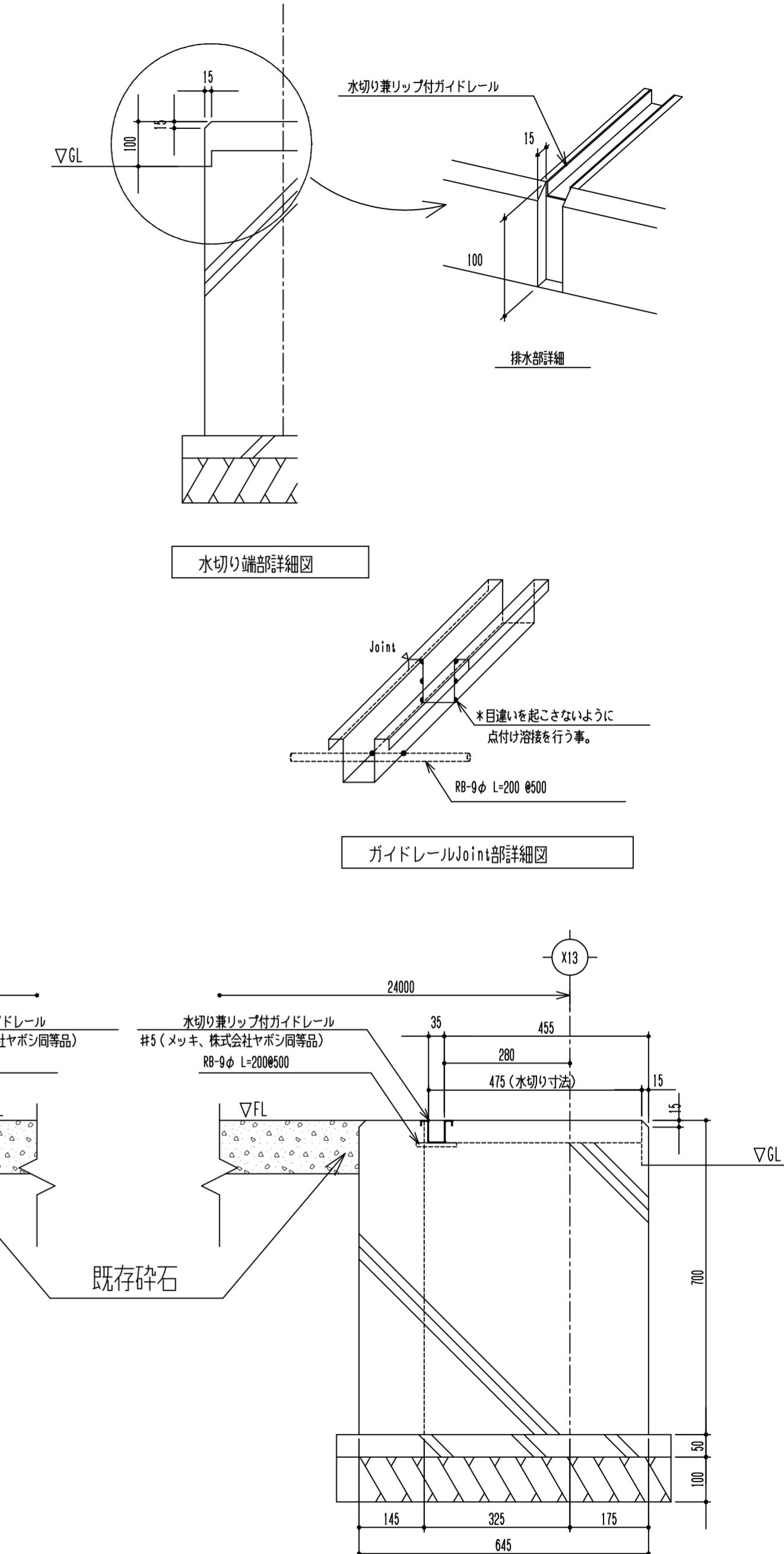
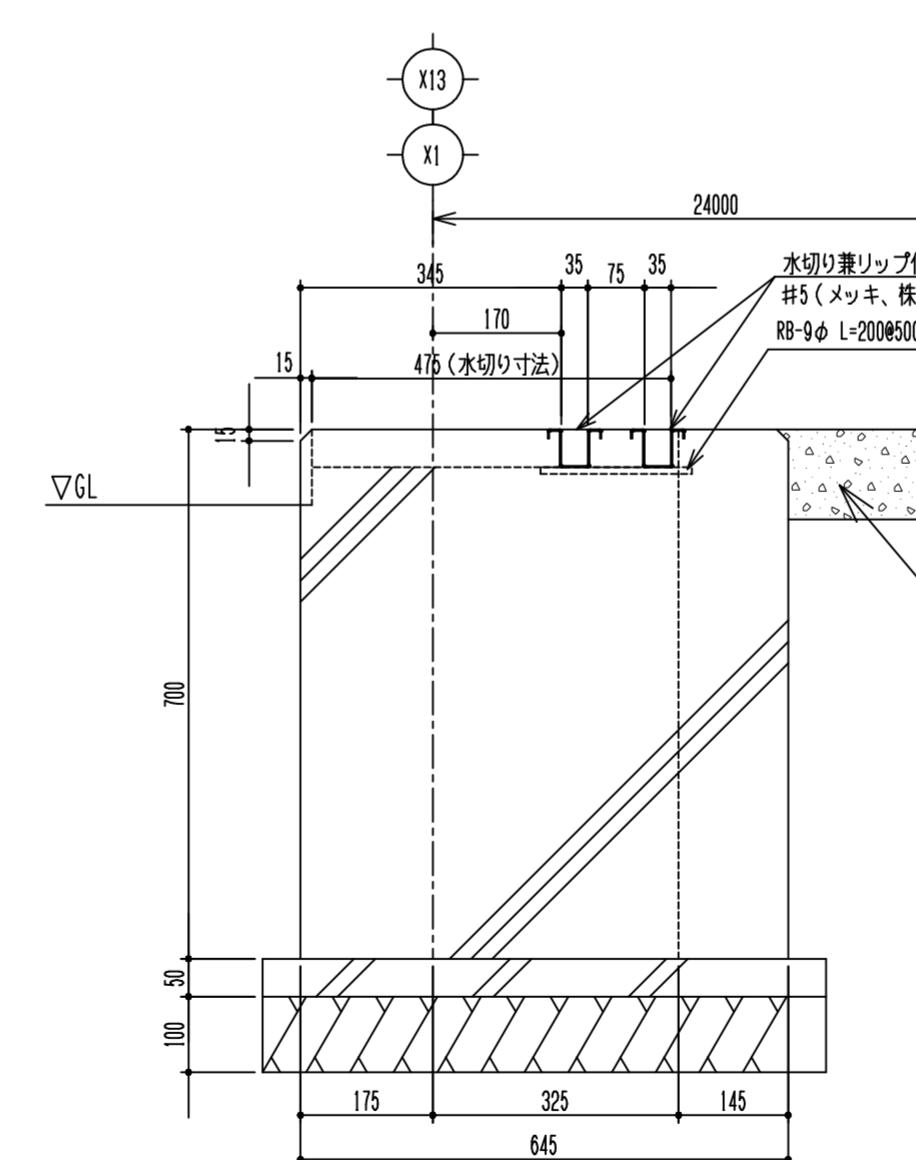
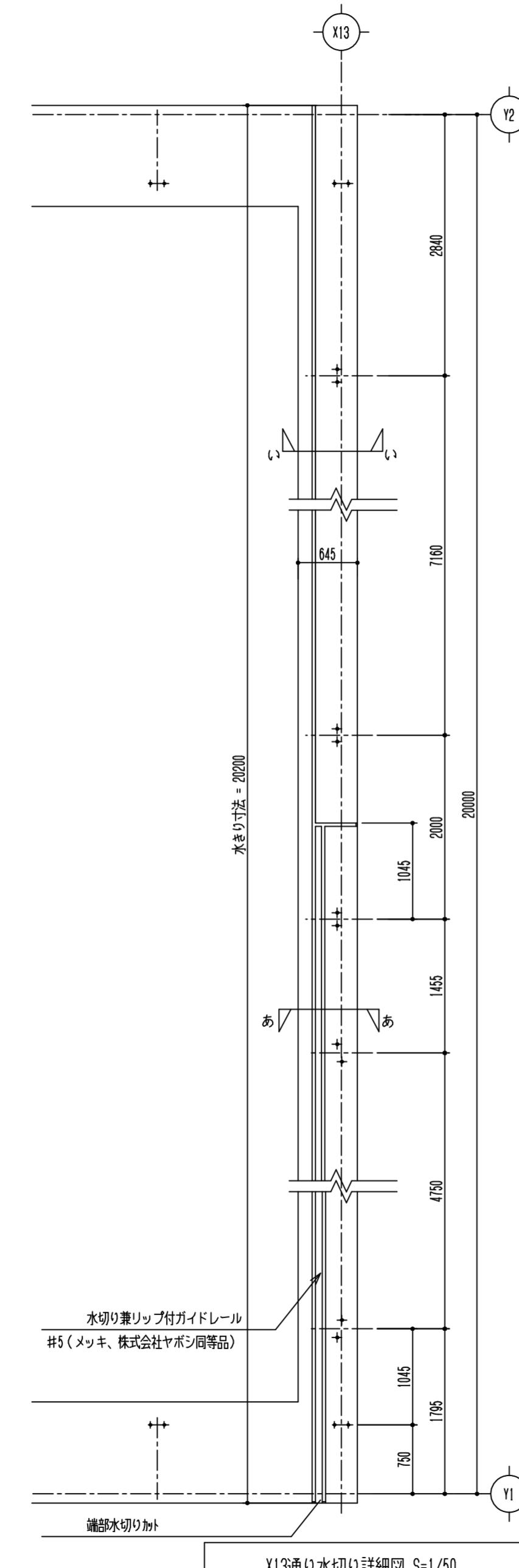
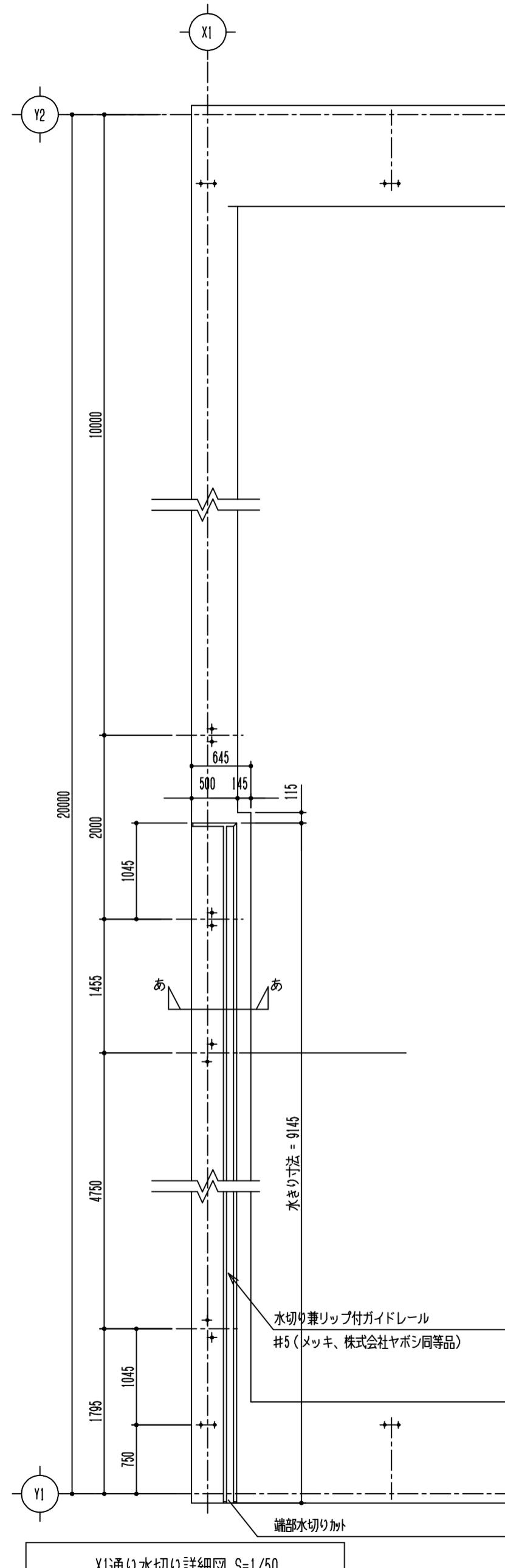
*水切りは基礎工事に含む

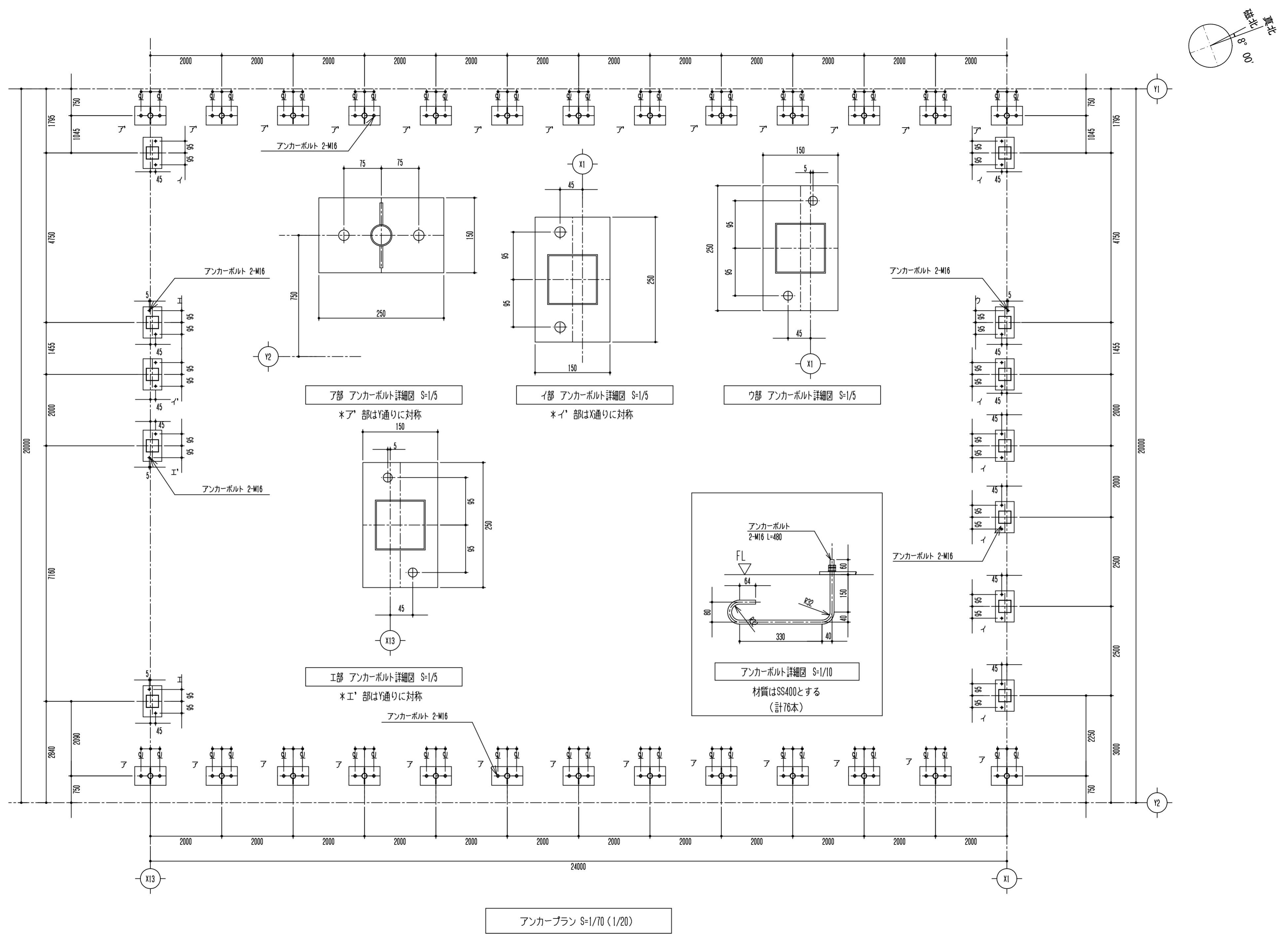
d-d 断面詳細図 S=1/20 (妻面一般部)

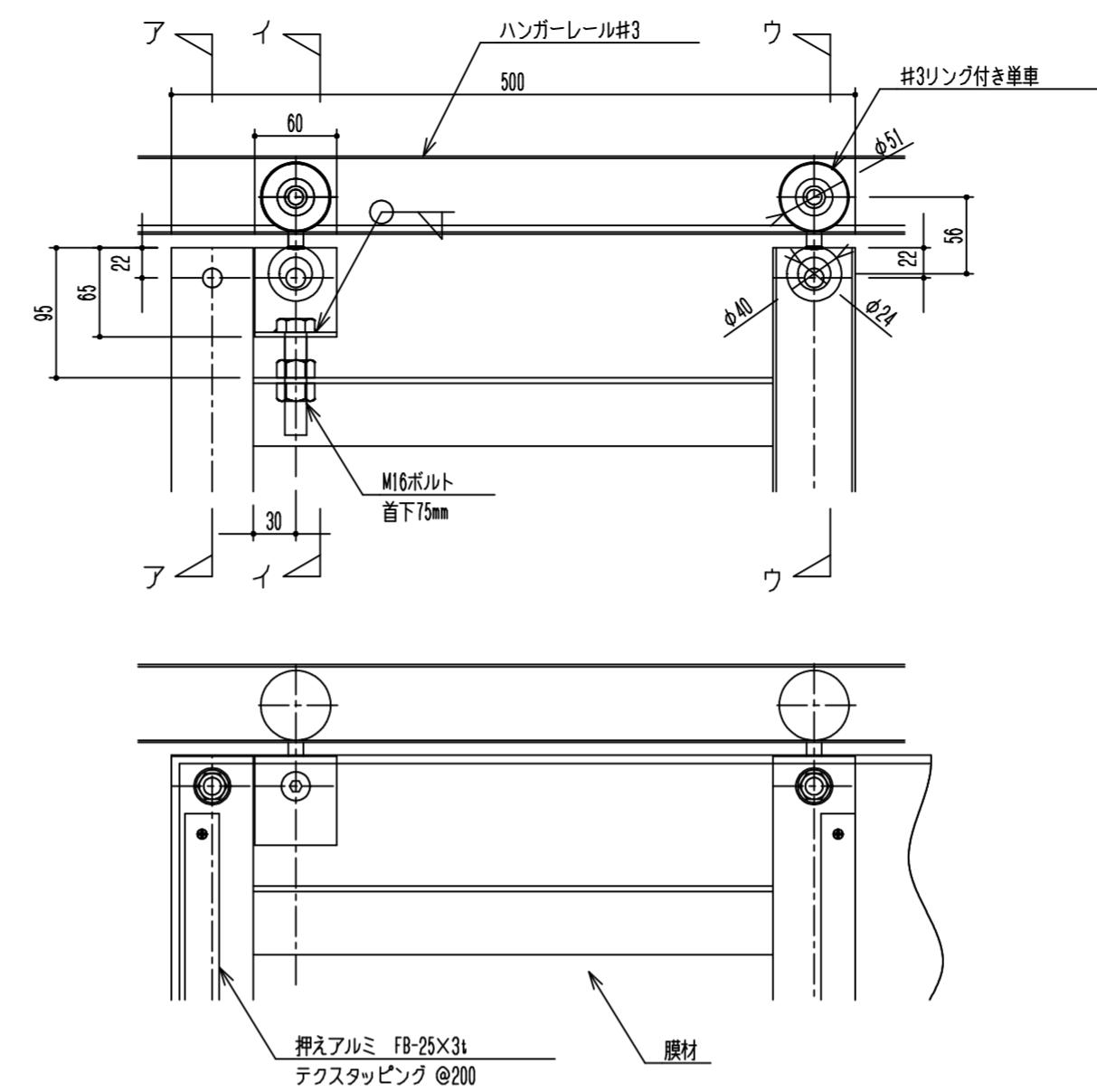
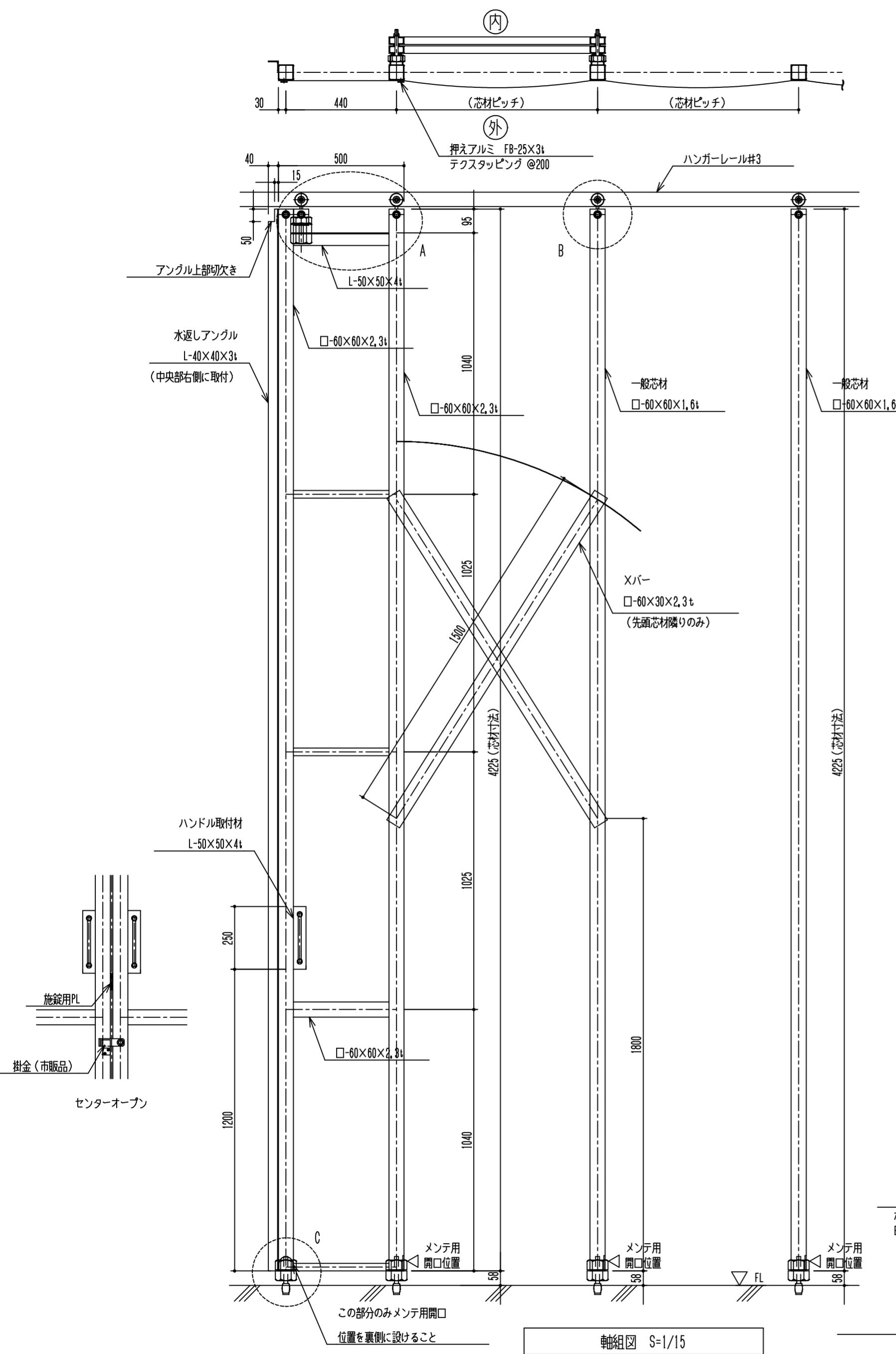
*水切りは基礎工事に含む

e-e 断面詳細図 S=1/20

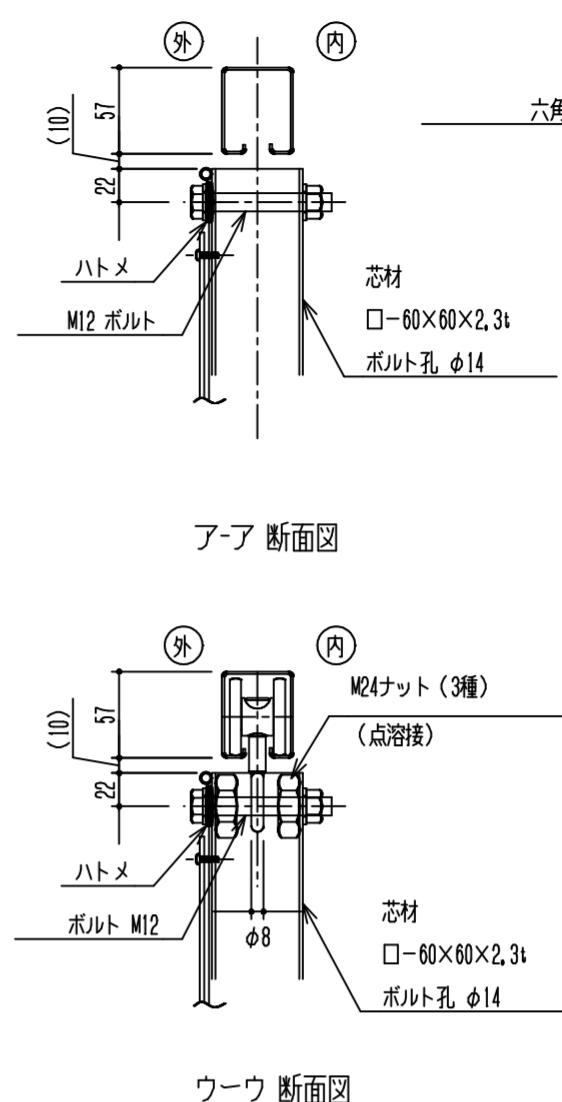
*水切りは基礎工事に含む



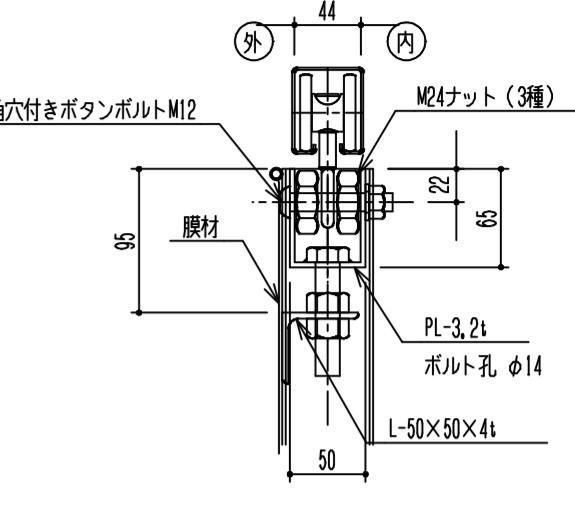




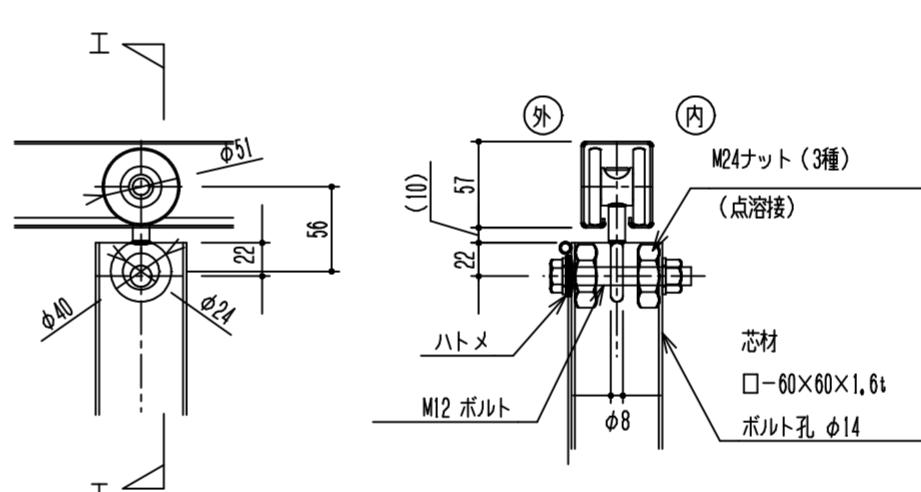
A部 詳細図 S=1/5



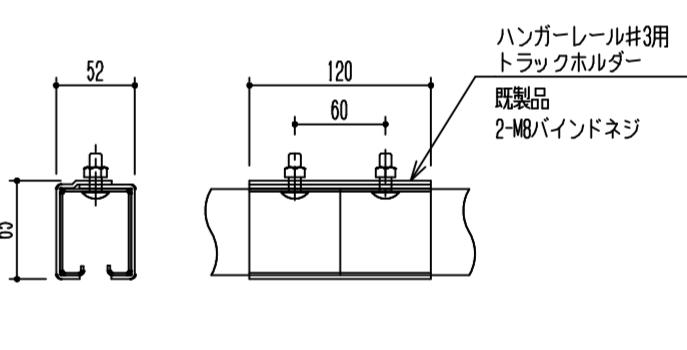
ウーラ 断面図



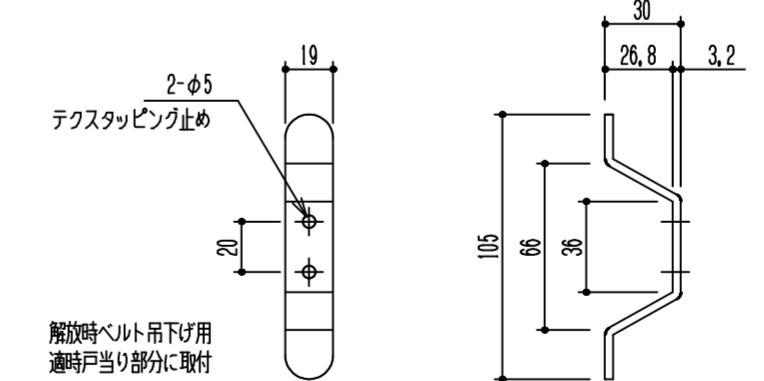
イ-イ 断面図



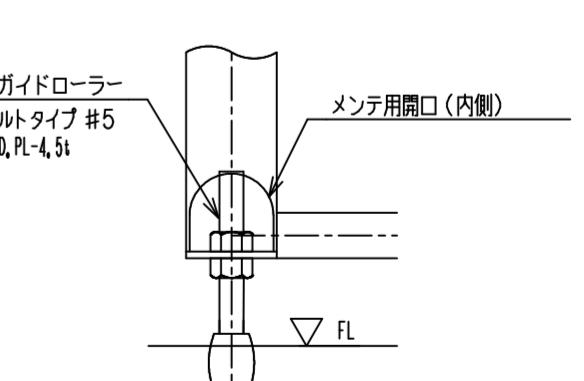
工-工 断面图



ハンガーレールジョイント部 S=1/5

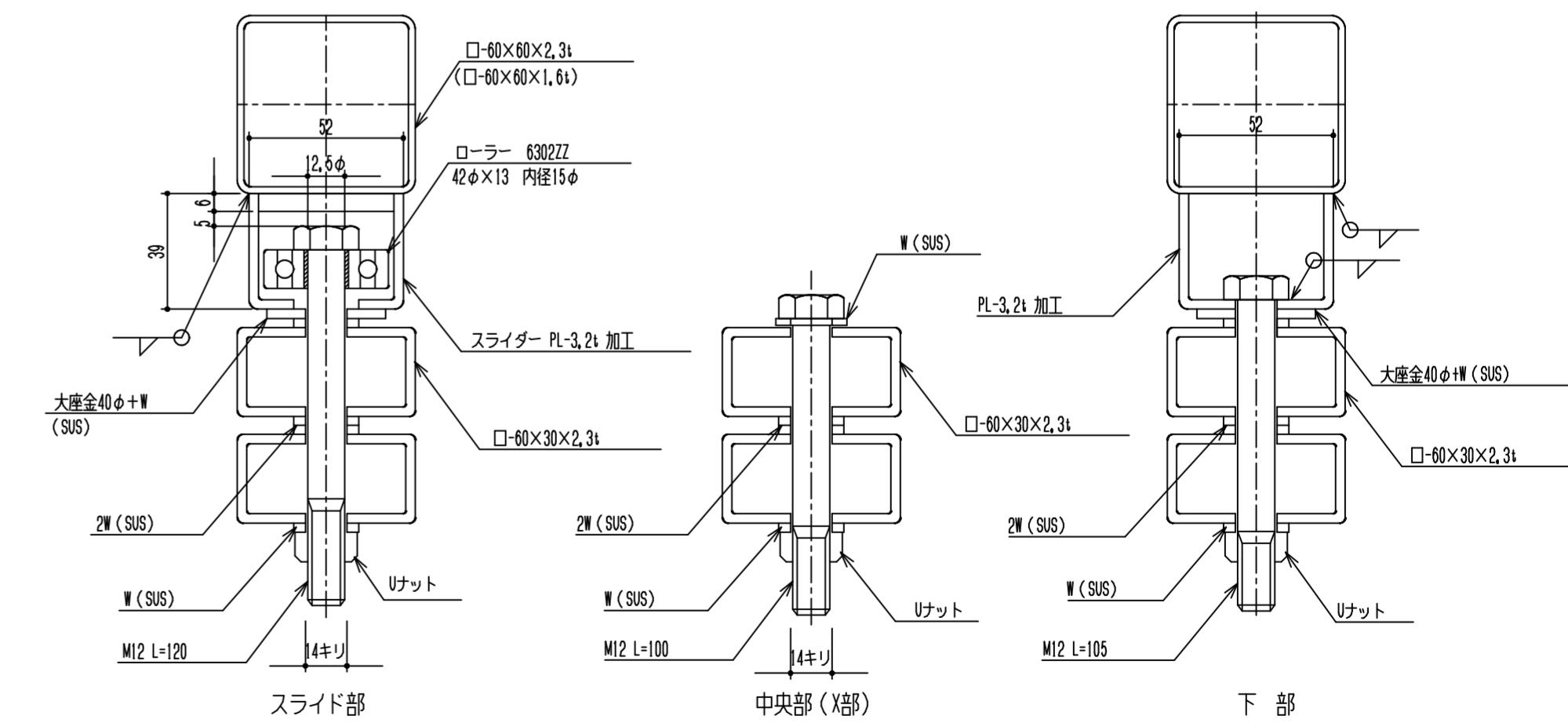
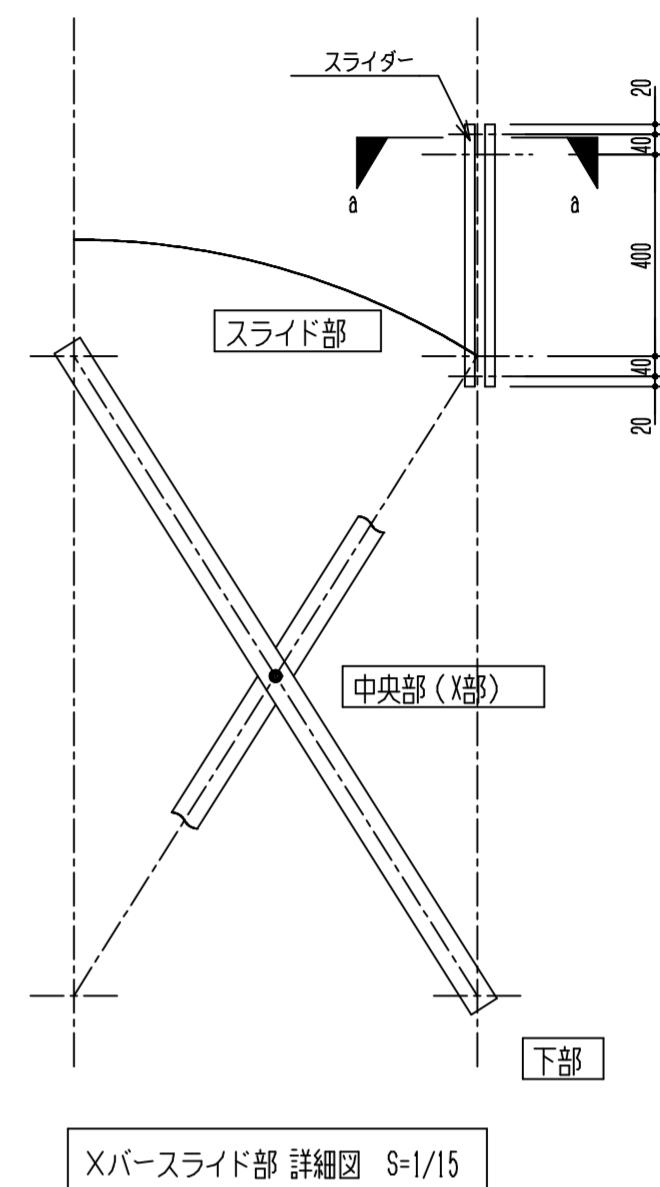
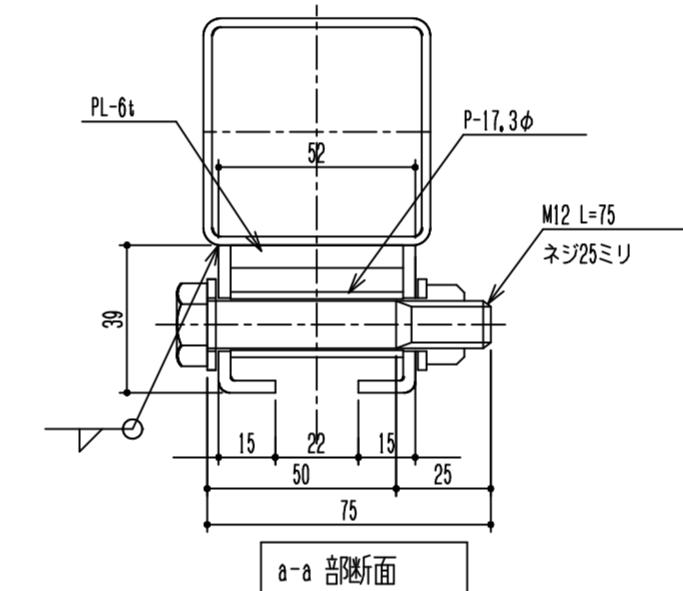
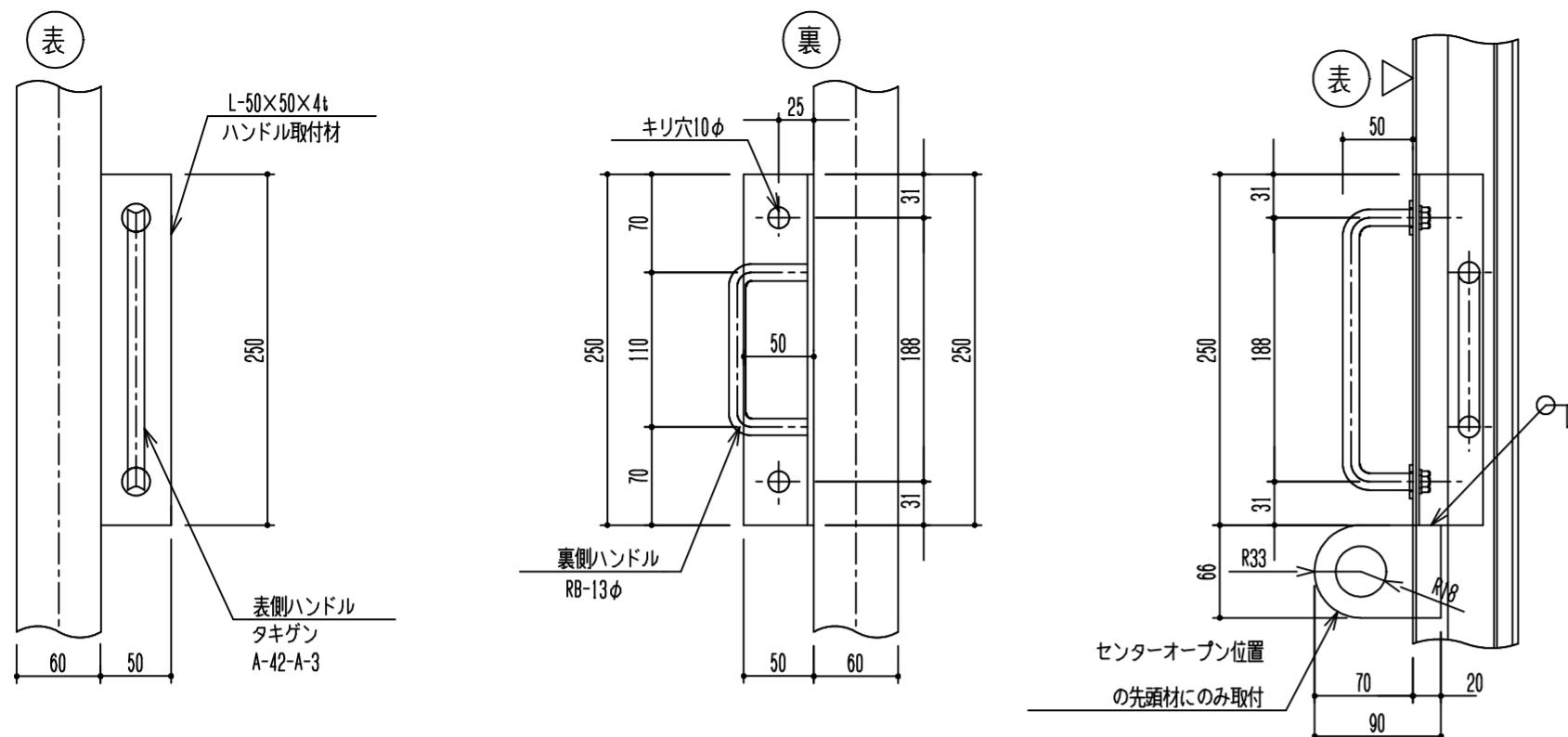


ベルトフック $S=1/3$

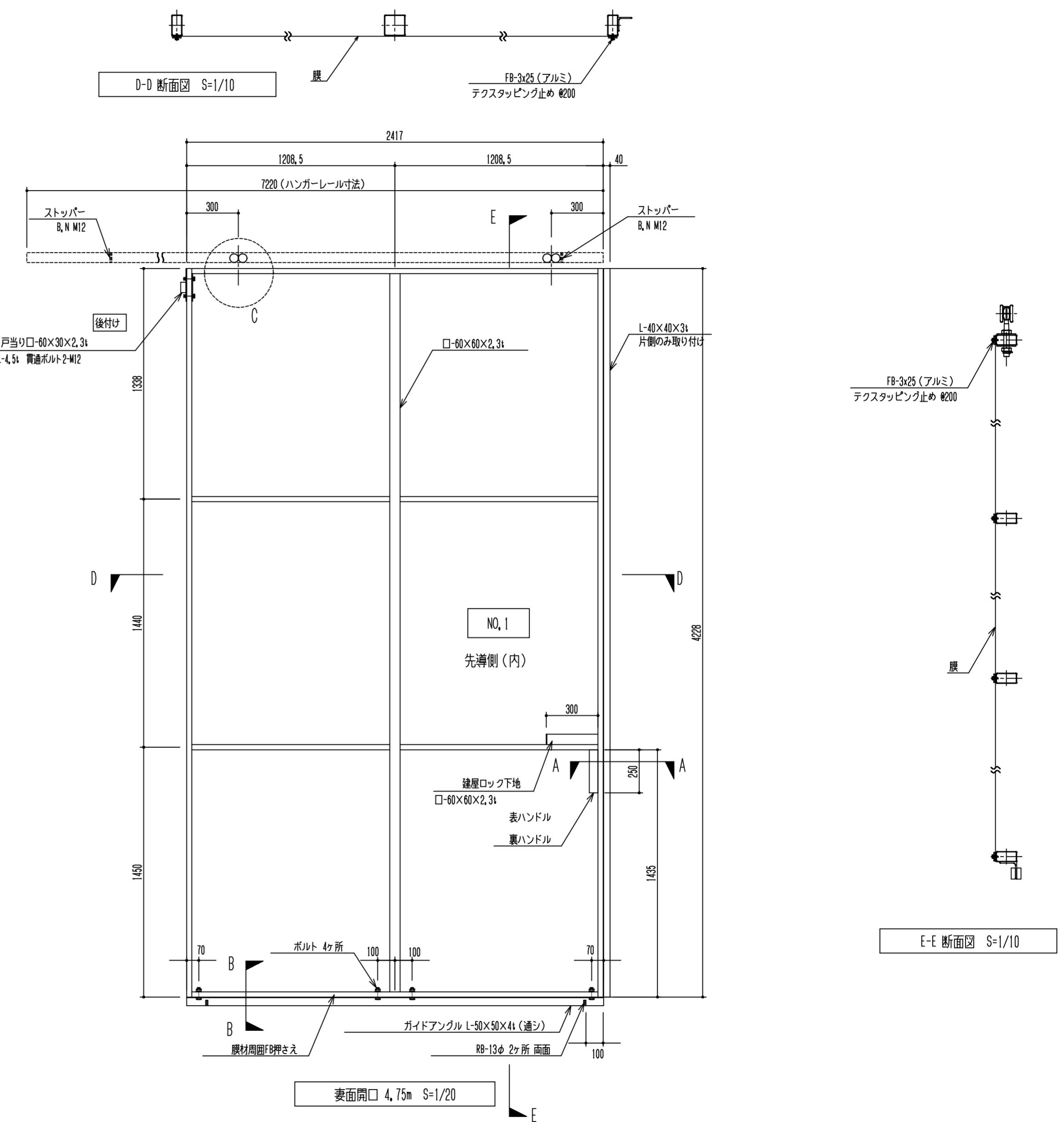
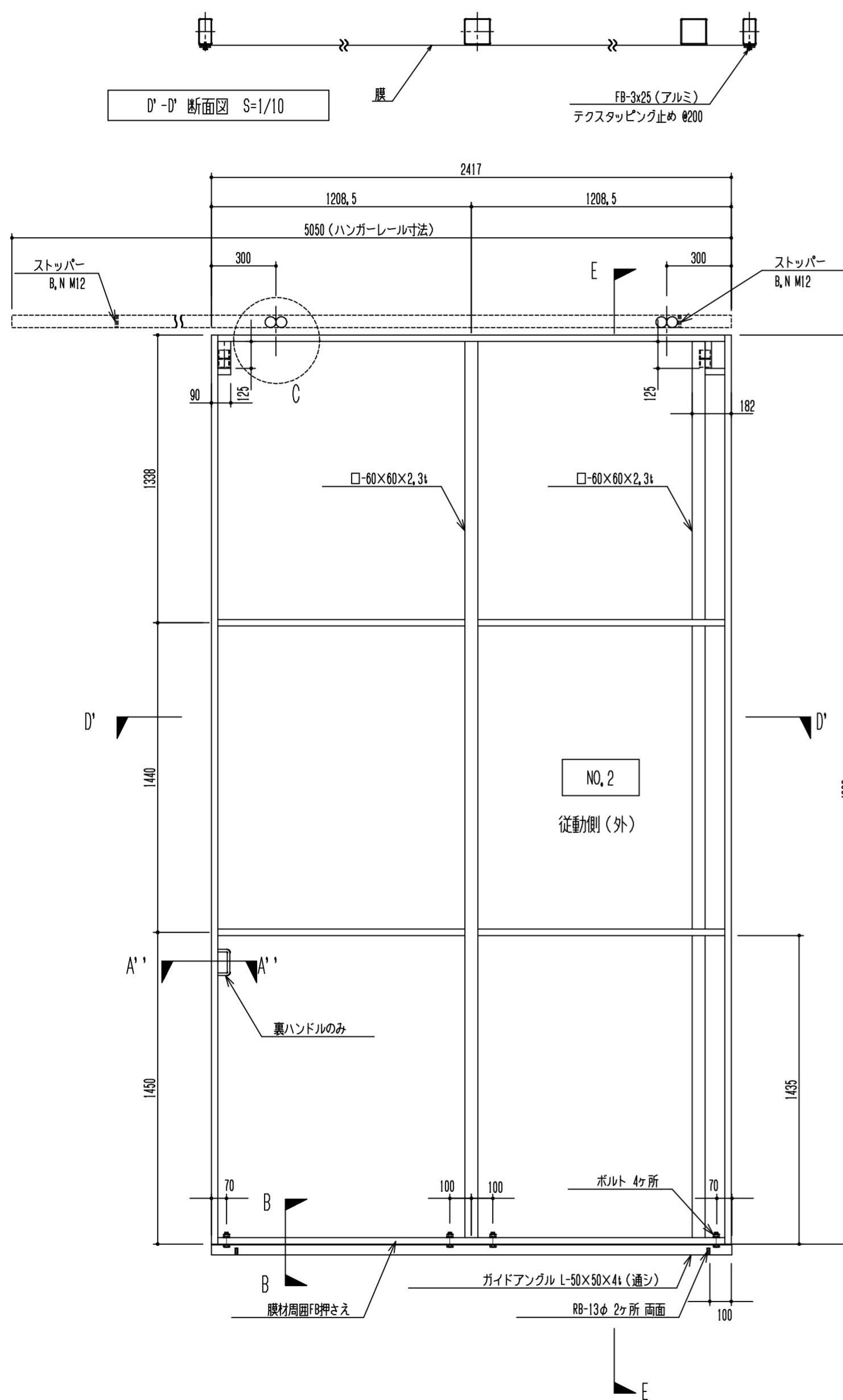


0部 詳細図 S=1/5

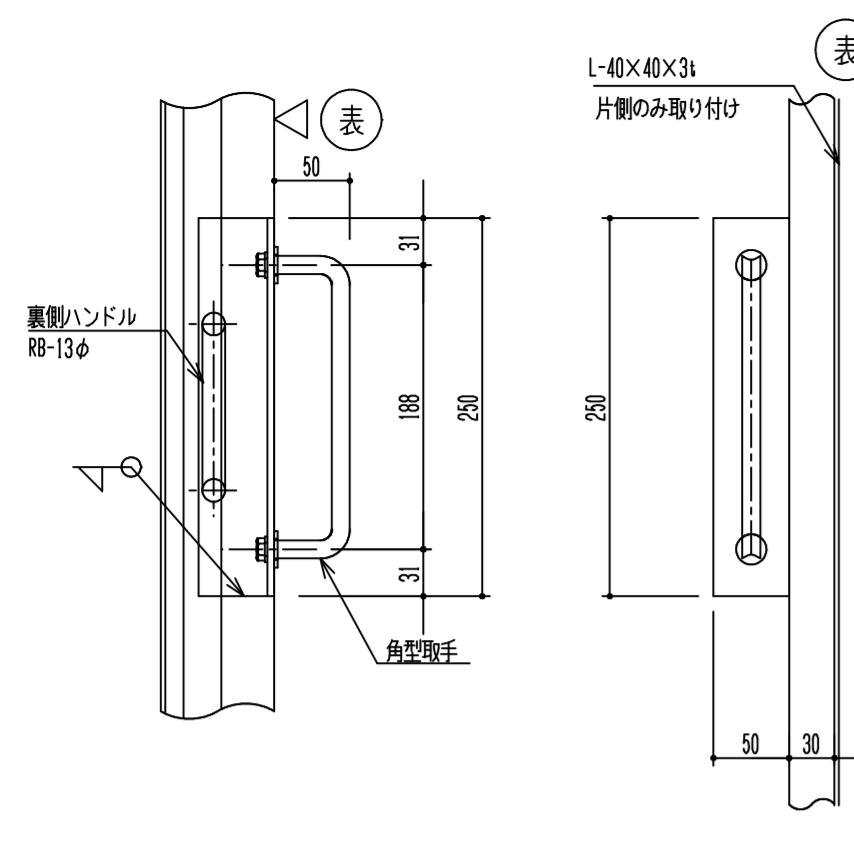
※表記のない部材は□-60×30×2, 3t
※芯材ピッチは軸組図参照



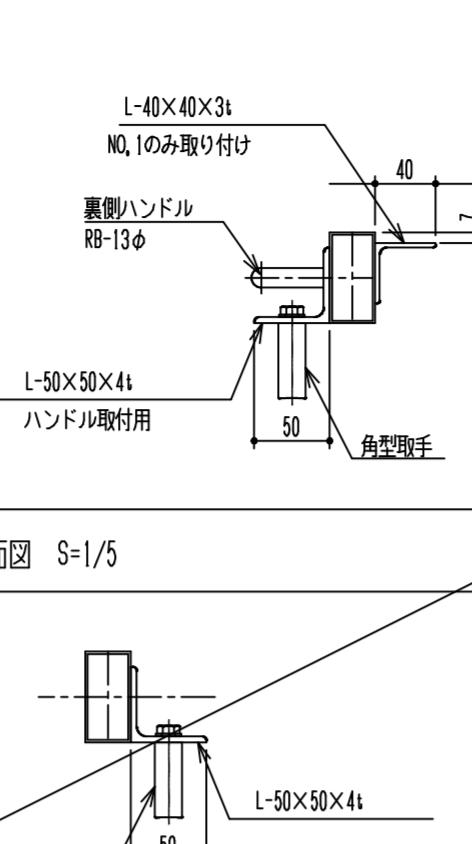
断面詳細図 S=1/2



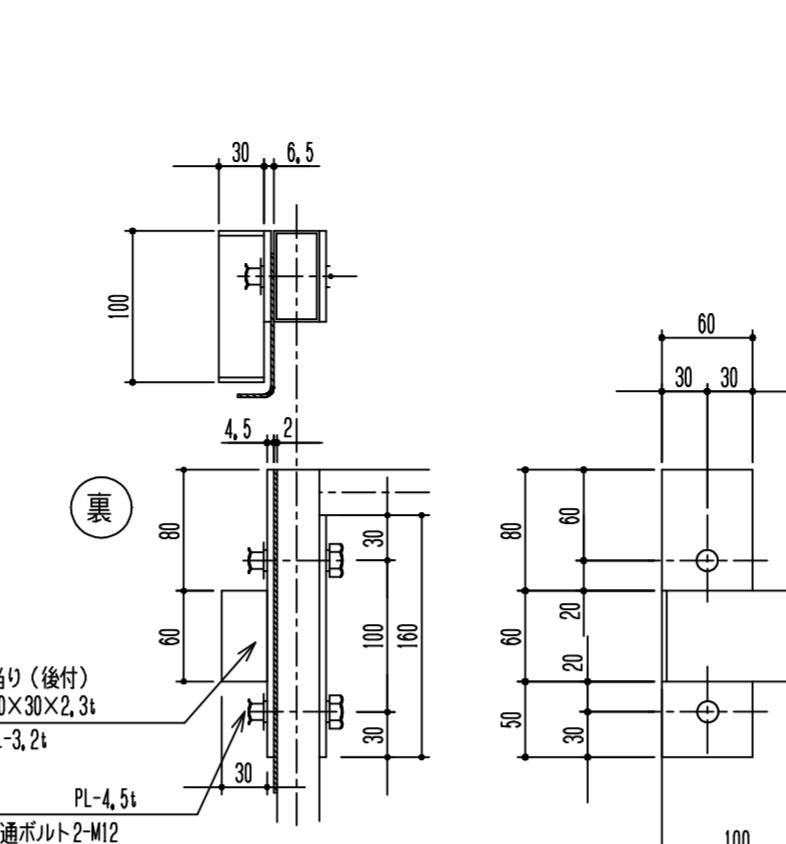
表側ハンドル詳細図 S=1/5



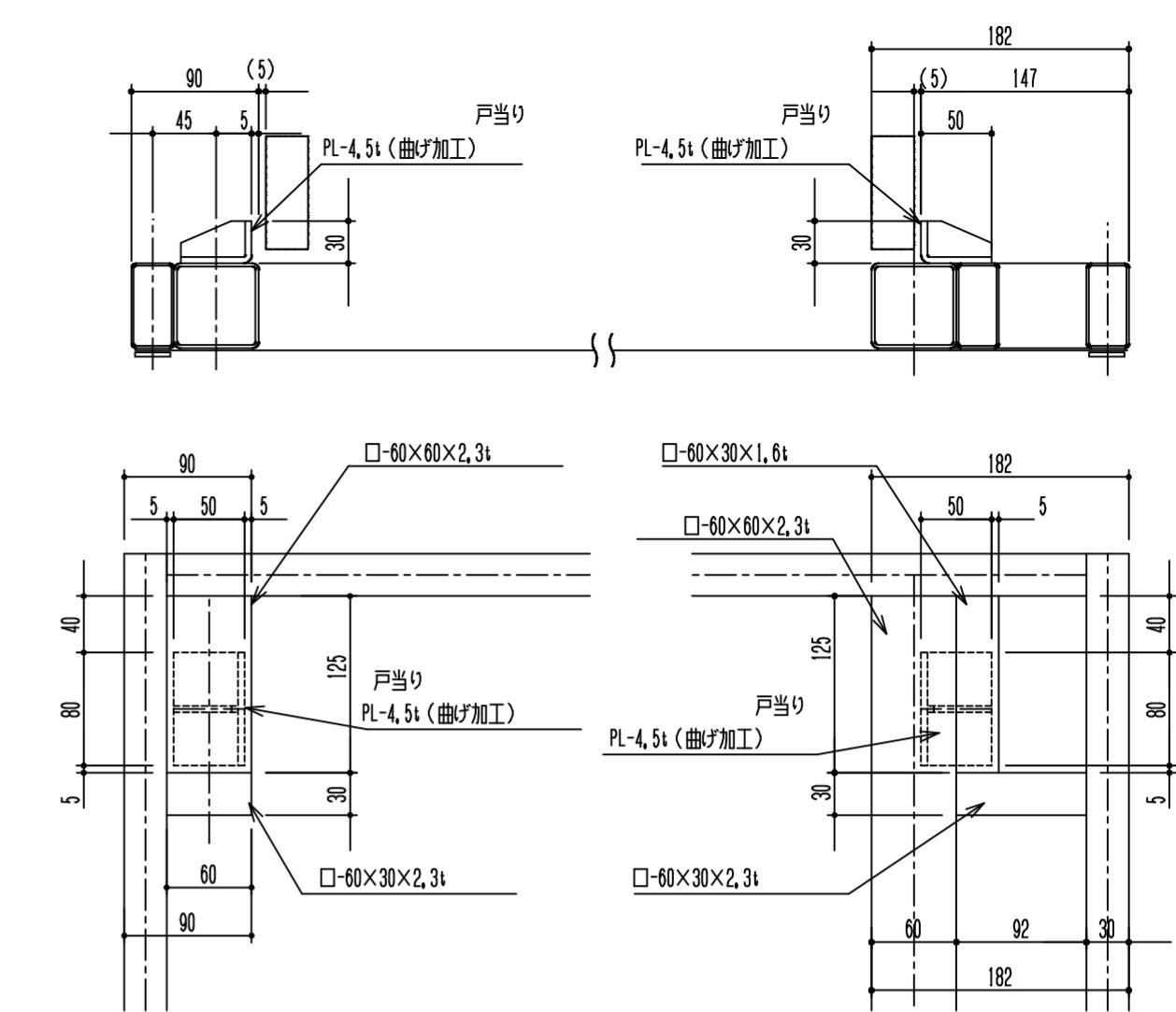
A-A 断面図 S=1/5



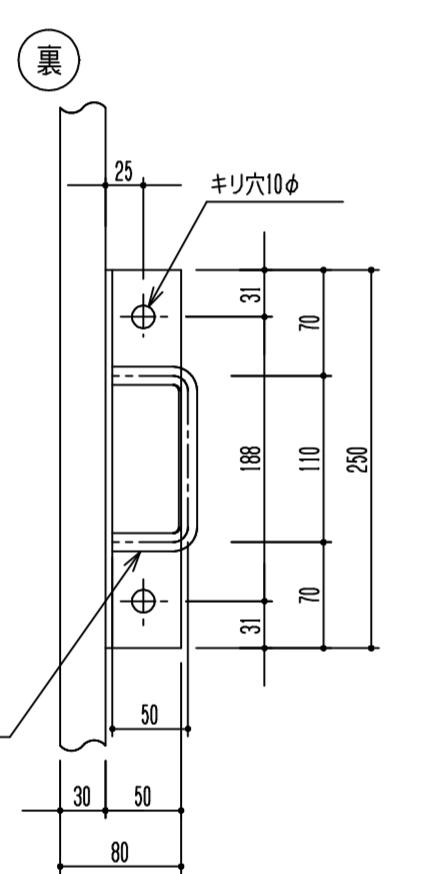
戸当たり(先導側)詳細図 S=1/5



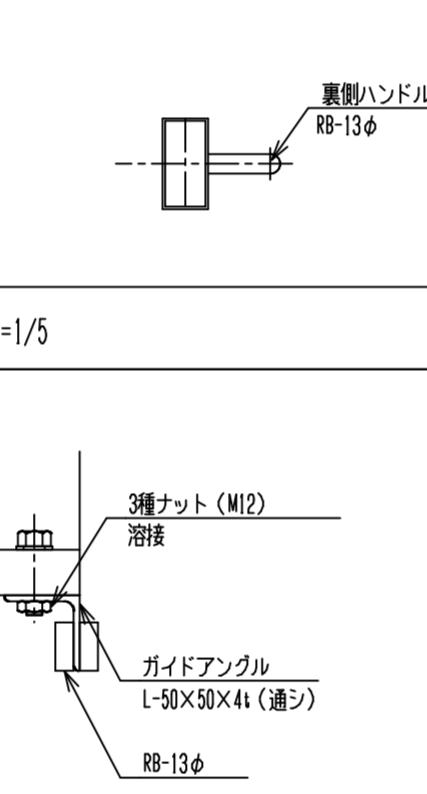
戸当たり(従動側)詳細図 S=1/5



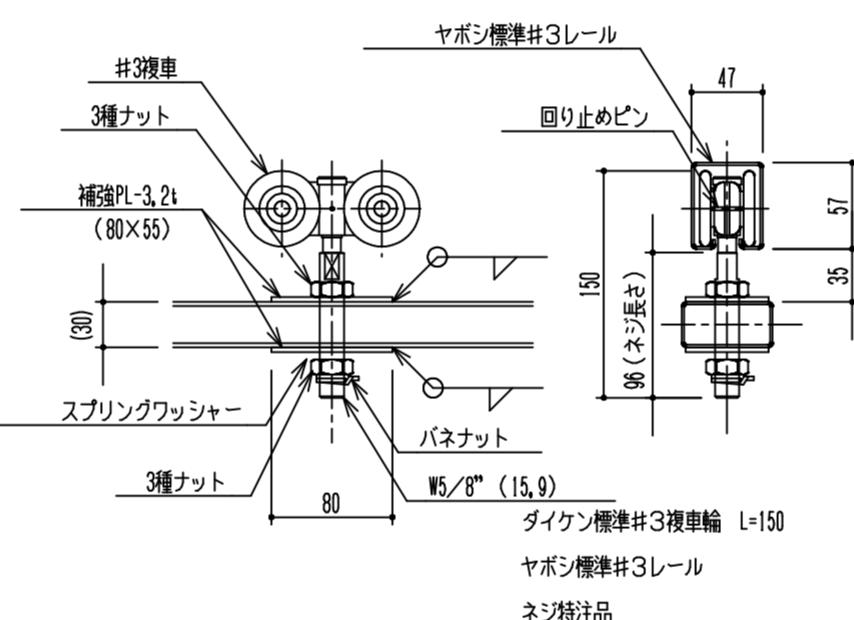
裏側ハンドル詳細図 S=1/5



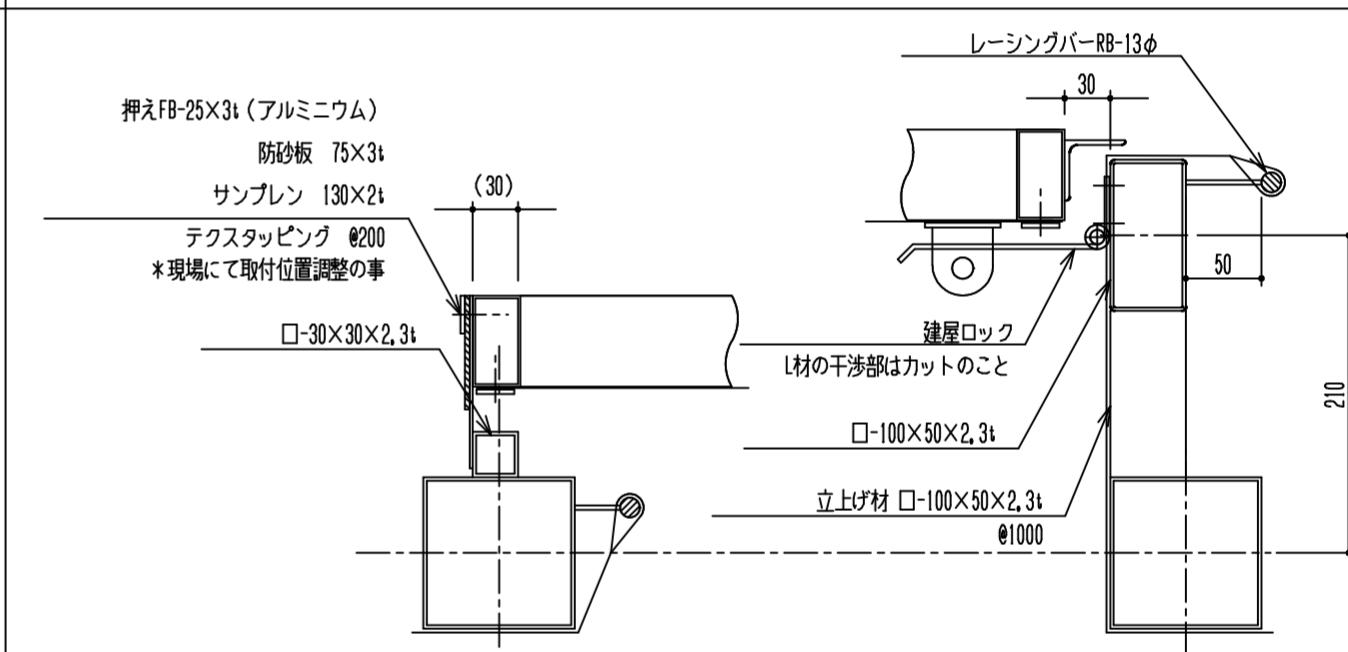
A'-A' 断面図 S=1/5



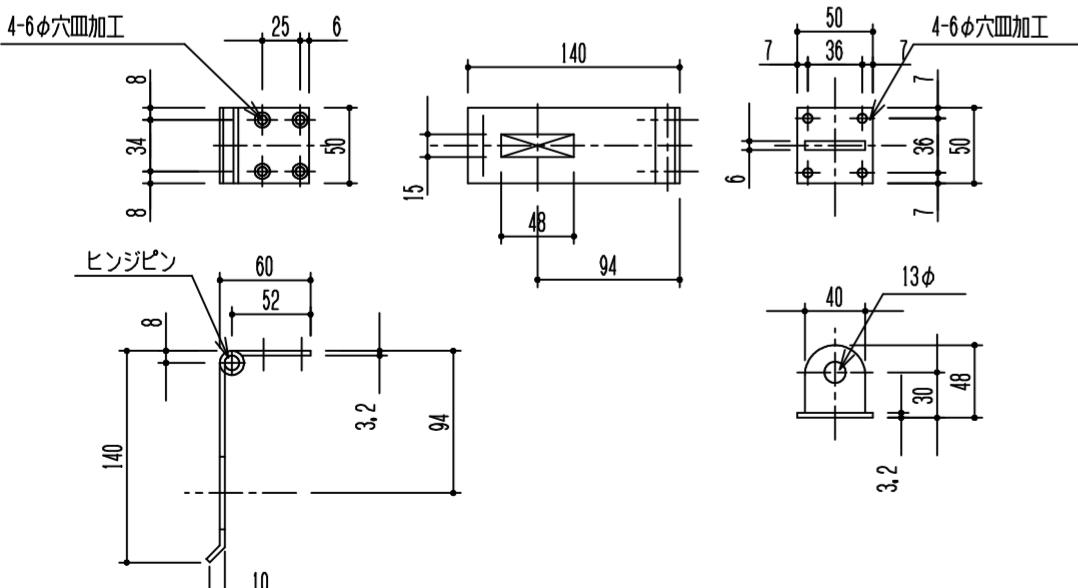
C 詳細図 S=1/5



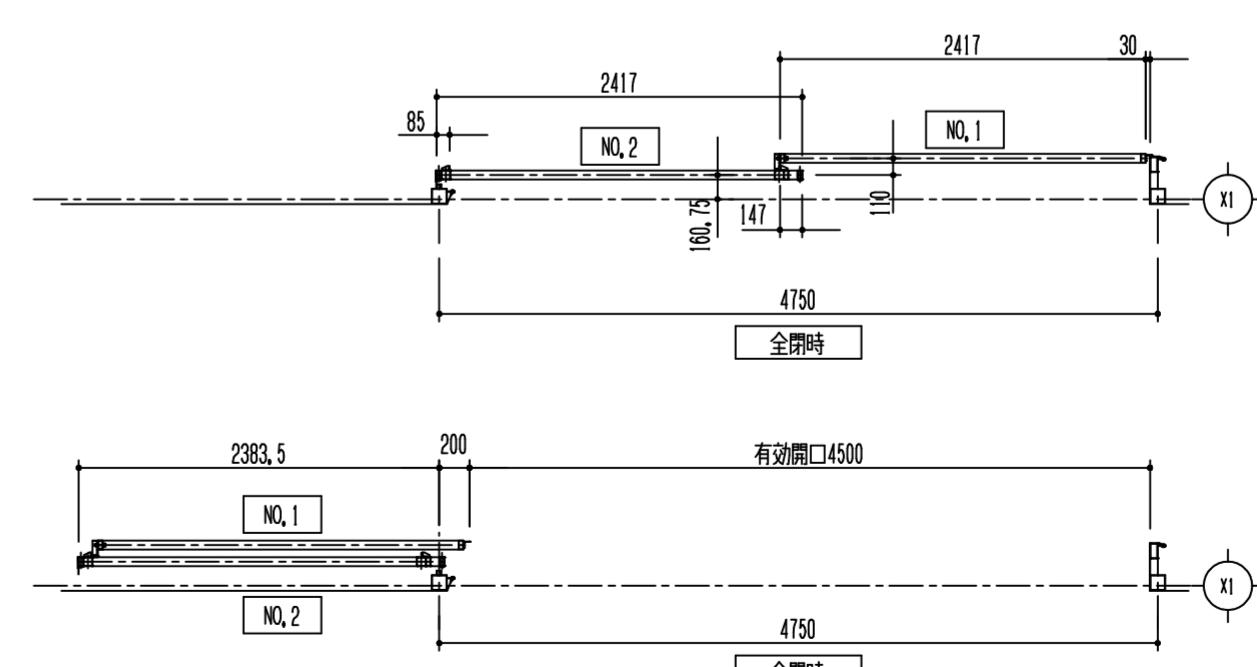
引戸端部納まり 詳細図 S=1/5



建屋ロック詳細図 S=1/5 (片引戸)



引戸 開閉時 S=1/50

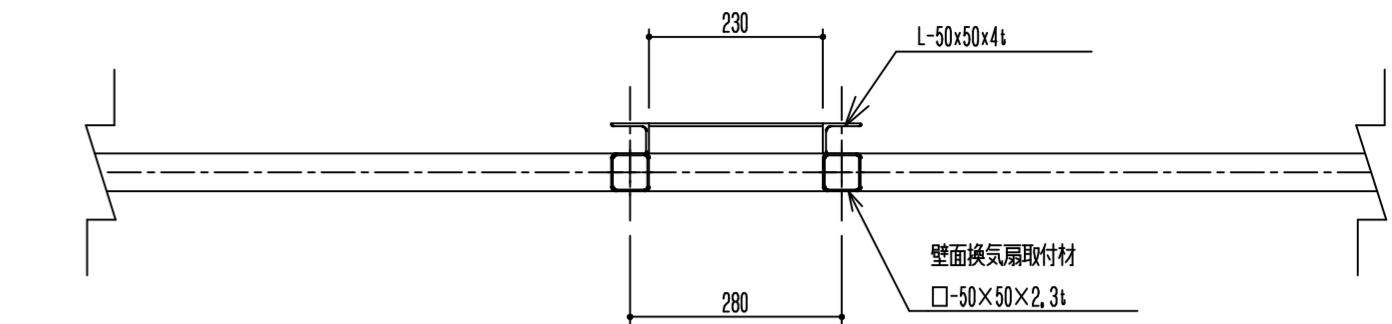


概要		軸組図(妻面仕様) S=1/30	軸組図(妻面仕様) S=1/30	B-B 断面図 S=1/2
姿 図				
	数 量	1 セット		
	有効寸法	W1590 × H770		
	硝 子	<ul style="list-style-type: none"> □ 納入りフロートガラス 6.8mm □ 納入り型板ガラス 6.8mm □ フロートガラス 3.0mm ■ 型板ガラス 4.0mm 		
	そ の 他	サッシ(外倒し窓YKKap EXIMA31) 半外付型		
	備 考	露出ワンタッチ式オペレーター (向かって右側、FL+1200の位置)		
	C 詳細図 S=1/2			

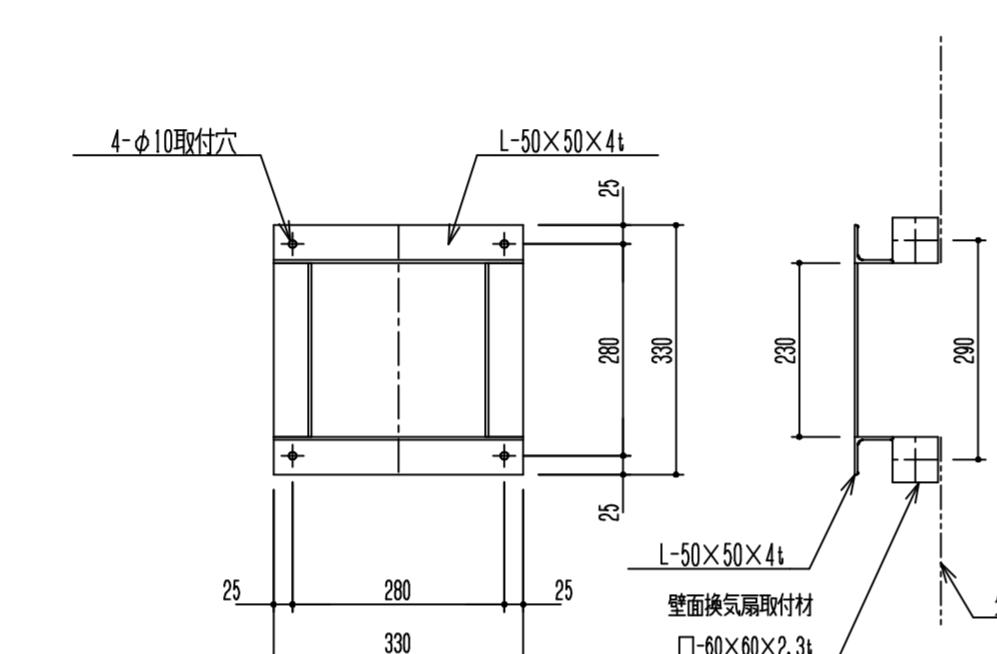
壁付換気扇 下地仕様

三菱電機 産業用有圧換気扇 低騒音形 排気専用	
型 名	EWF-20YSA2
電 源	単相 100V
公称出力	15W
電流 (50Hz/60Hz)	0.31A / 0.3A

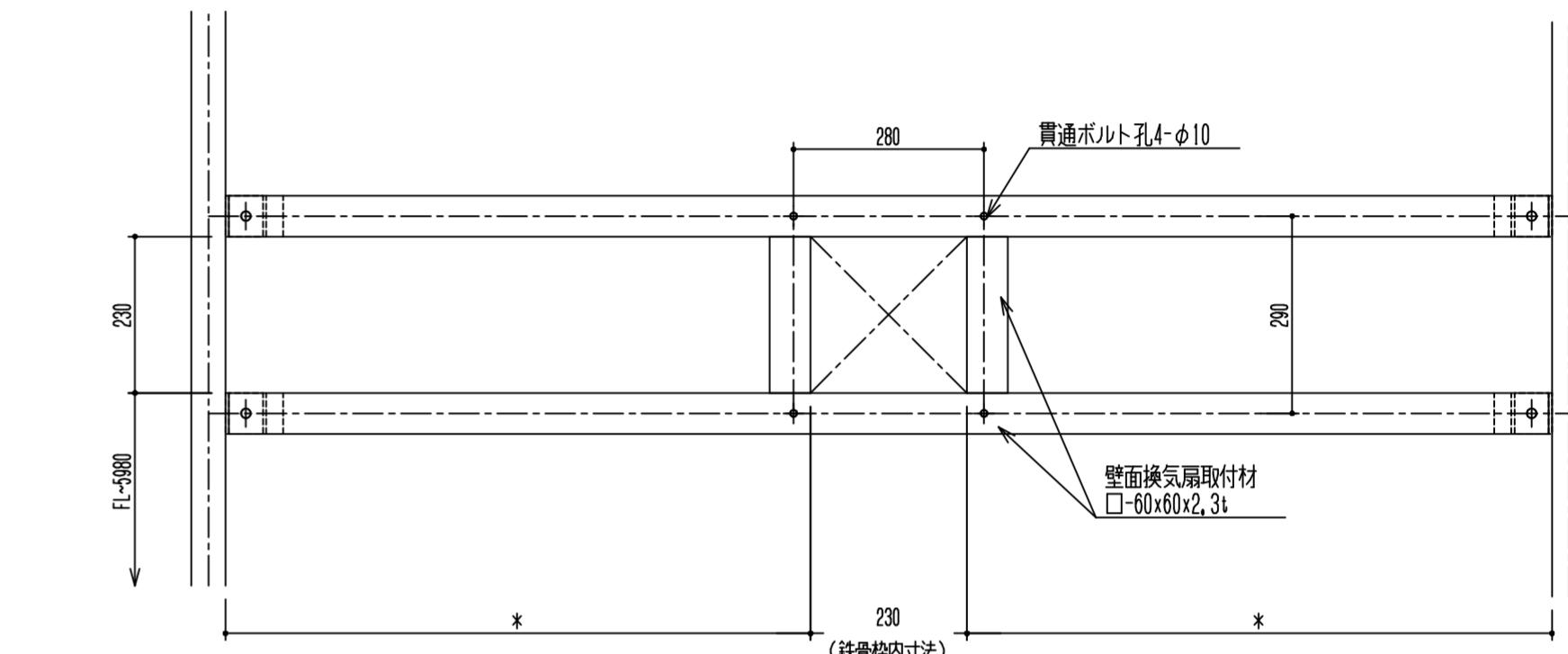
色調：マンセル7.65Y7.6/0.7 (SUS製は地)



平面 詳細図 S=1/10



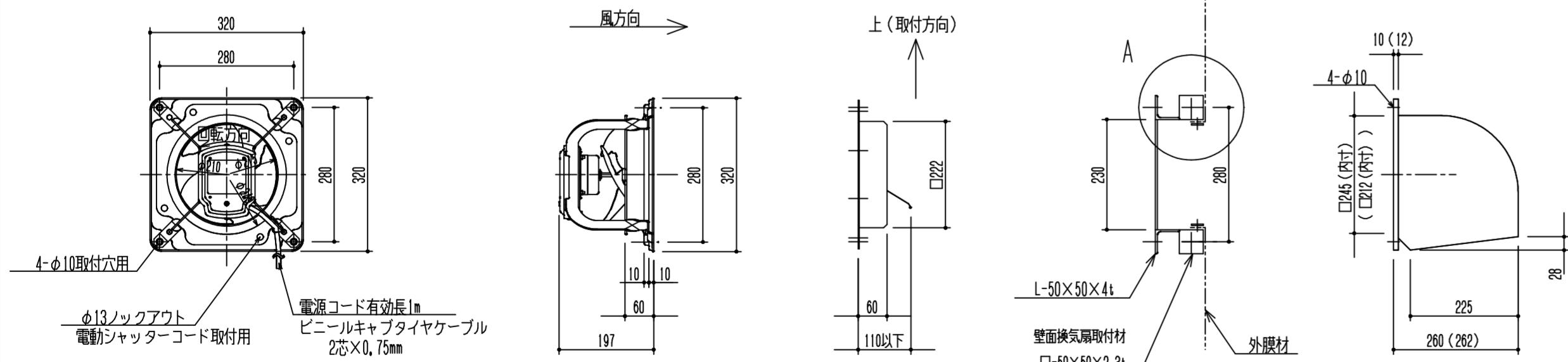
断面図



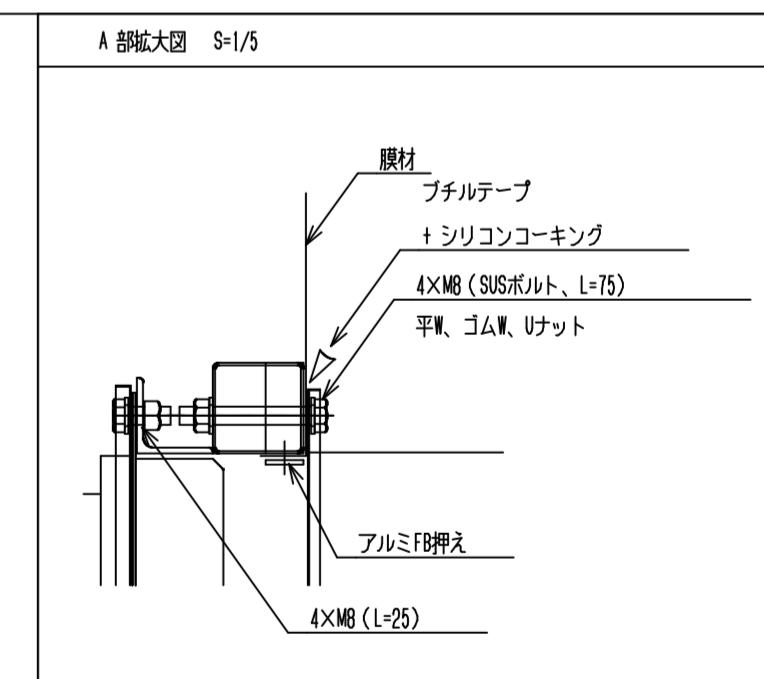
*寸法は軸組図参照のこと

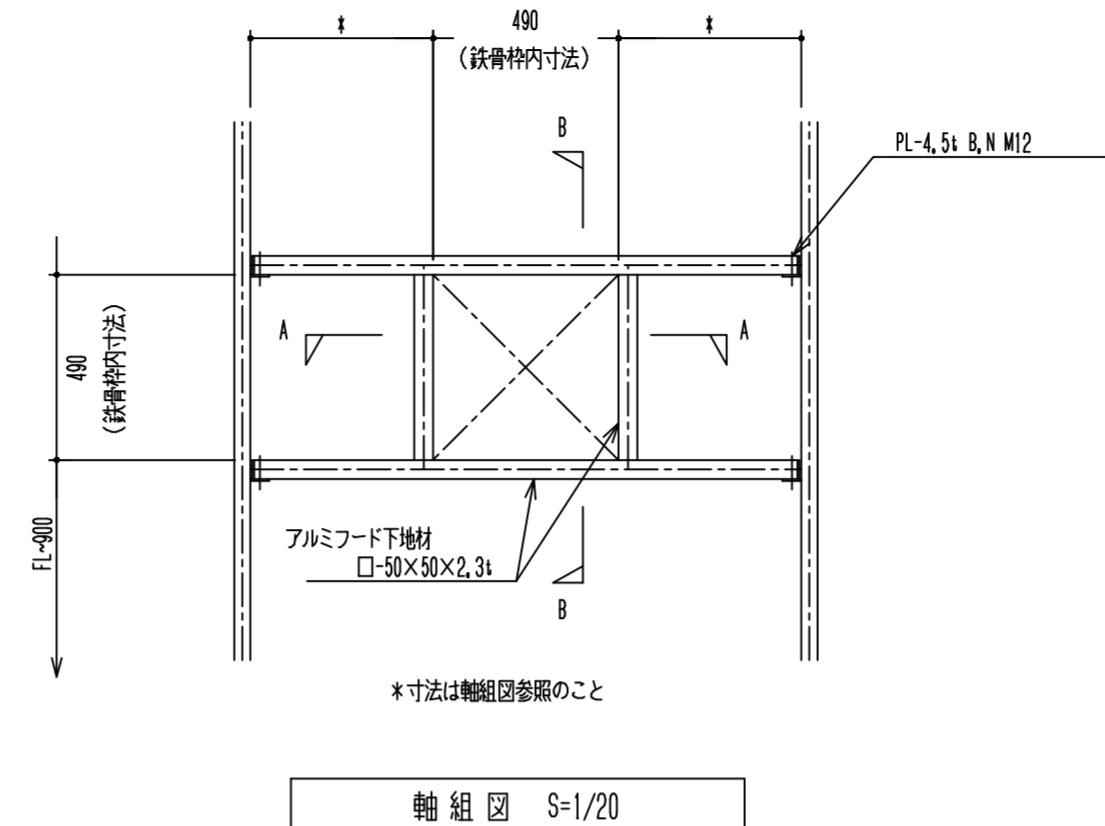
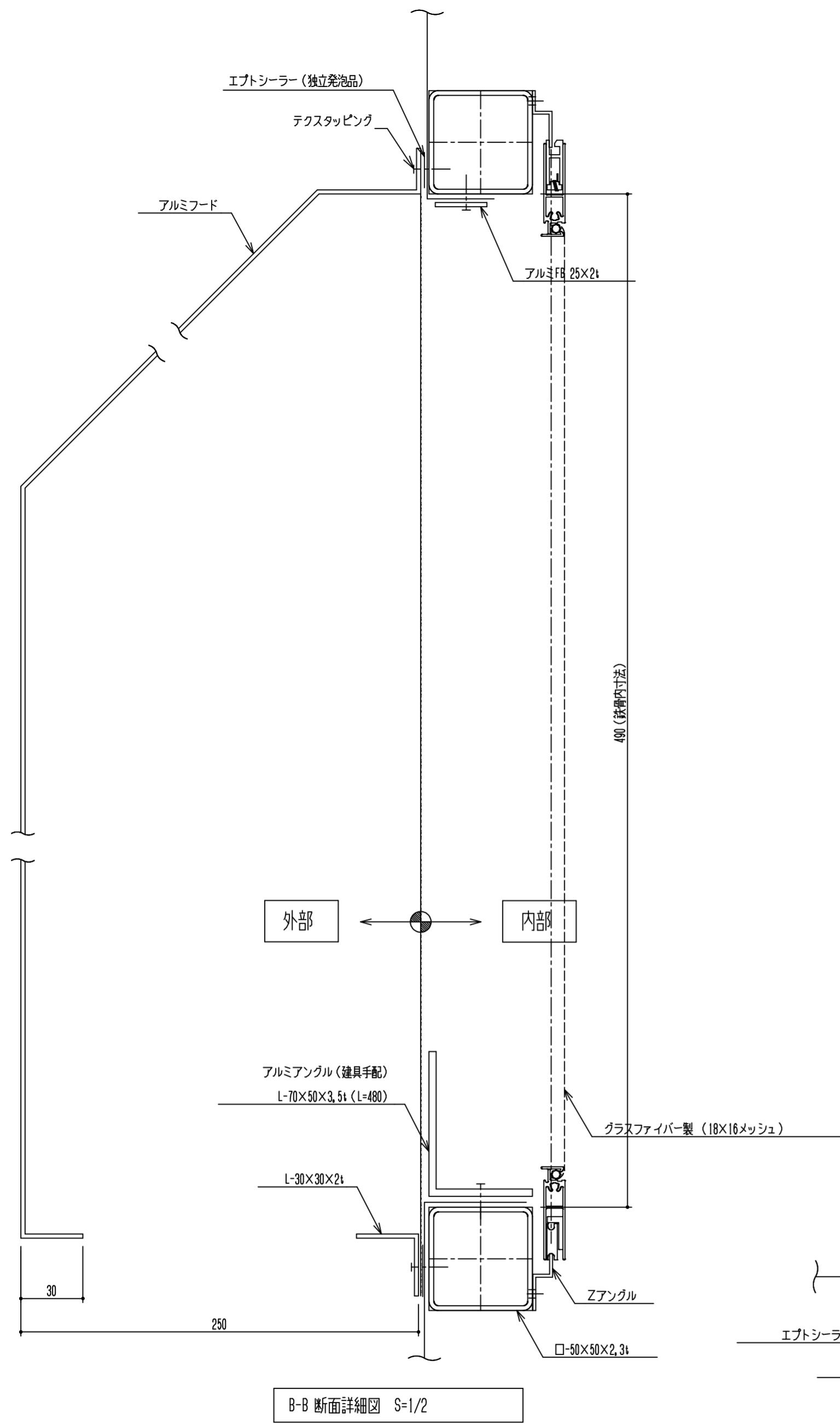
軸組図 S=1/10

取付図 S=1/10



※防火仕様 W-20TDBM, W20-SDBMのときは（ ）内寸法とす





アルミフード	
数量	1ヶ
材料	アルミ t=2mm/m板 (A1100-H24)
表面処理	シリバーアルマイト (9μ)

